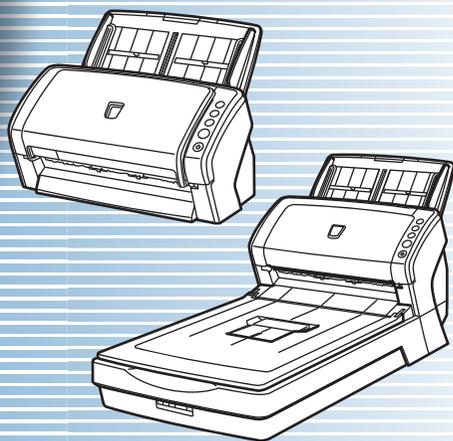


fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z

イメージスキャナ

オペレーターガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、本製品の基本的な操作および取り扱い方法について説明しています。スキャナの設置、接続、およびソフトウェアのインストールについては、スタートアップガイドを参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

各部の名称と働きおよび基本的な操作について説明しています。

スキャナをお使いになる前に

原稿をスキャナにセットする方法について説明しています。

原稿のセット方法

スキャナドライバの設定項目について説明しています。

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法について説明しています。

操作パネルの操作方法

いろいろな原稿を読み取る方法について説明しています。

いろいろな読み取り方

清掃方法について説明しています。

日常のお手入れ

消耗品の交換について説明しています。

消耗品の交換

トラブルの対処方法など、困ったときの対処方法について説明しています。

困ったときには

Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナの動作設定

付録

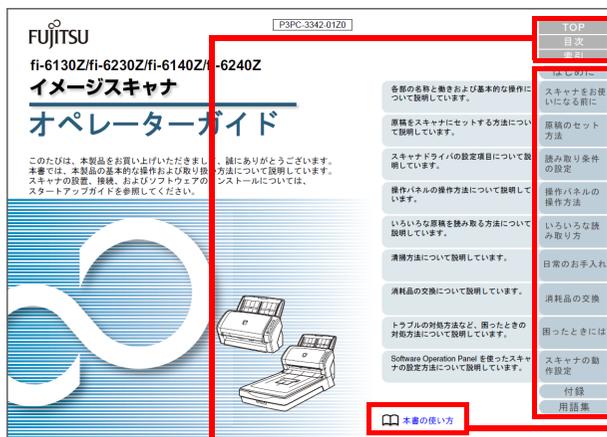
用語集

本書の使い方

本書の使い方について説明します。

- 本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
 - 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
 - キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。
 - 本文中の青字 / ツメ / 目次 / 索引など（マウスがリンク選択時の形状（ など）に変わる箇所）をクリックすると、参照先に移動します。
- 共通ページ

各章の先頭ページに移動します。
このツメは全ページにあります。



TOP : 表紙ページに移動します。
目次 : 目次ページに移動します。
索引 : 索引ページに移動します。
このツメは全ページにあります。

本書の使い方ページに移動します。
本文中の青字をクリックすると、参照先に移動します。

- 目次ページ

目次	TOP
はじめに	5
本書をお使いになる前に	5
第1章 スキャナをお使いになる前に	15
1.1 特徴	16
1.2 各部の名称と働き	17
1.3 電源の投入/切断	24
1.4 ADF の説明	25
1.5 ドキュメントカバの説明	26
1.6 ADF 機能シートの設定	27
1.7 大文字の調整	28
1.8 省電力モードからの復帰	32
1.9 読み取り条件の決め	33
1.10 スキャナの動作設定	34

クリックしたタイトルのページに移動します。

- 索引ページ

索引	TOP
A	
A3 キヤリアートの挿入	132
A3 キヤリアートの取除	134
ADF 機能シートの設定	27
ADF の説明	25
ADF の動作	41
ADF の調整 (カラーレジスタレーションによる場合)	109
ADF の調整 (解像度による場合)	110
ADF の閉じ方	25
E	
文書法に適合した電子文書の作成	196
IGIS ドライブ	55
[ScanTop] オプション	99
Software Operation Panel の説明	153
Software Operation Panel のバック設定	154
T	
TWAIN ドライブ	51
アンインストール手順	195

クリックした索引のページに移動します。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ございます。

本製品の概要

本製品とは、fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z の 4 機種のスキャナのことです。

各機種のスキャナには、両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) が搭載されており、インターフェースは USB をサポートしています。

各機種のスキャナの相違点は、次のとおりです。

機種名	スキャナタイプ		インターフェース		読み取り速度 (*2)
	ADF	フラットベッド (*1)	USB	SCSI	
fi-6130Z	○	-	○	-	毎分 30 枚 /60 面
fi-6230Z	○	○	○	-	毎分 30 枚 /60 面
fi-6140Z	○	-	○	○	毎分 40 枚 /80 面
fi-6240Z	○	○	○	○	毎分 40 枚 /80 面

○ : サポート
 - : 未サポート

*1 : フラットベッドでは、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿を読み取りできません。

*2 : 解像度 300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意 (紙)	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。
スタートアップガイド (紙、PDF)	設置から運用開始までの手順を説明しています。PDF 版は Setup DVD-ROM で提供されています。
オペレーターガイド (本書) (PDF)	基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイド (PDF)	ScandAll PRO を使用した原稿の読み取り方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
fi-614PR インプリンタ オペレーターガイド (PDF)	本製品のオプションである fi-614PR インプリンタの基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
TWAIN ドライバ取扱説明書 (PDF)	TWAIN ドライバのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

マニュアル	内容
Kofax VRS インストールガイド (PDF) (*1)	Kofax VRS のインストール時の注意事項、Professional 機能などについて説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイド (PDF)	画像処理ソフトウェアオプションのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイド (PDF)	Scanner Central Admin の概要、導入方法、運用方法、保守方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Error Recovery Guide (HTML ヘルプ)	エラーが発生した場合に、スキャナの状態と対処方法を表示します。また、消耗品の交換方法なども動画で説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
スキャナドライバヘルプ	各スキャナドライバの使い方や設定方法などを説明しています。各スキャナドライバから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションの使い方や設定方法などを説明しています。必要に応じてご使用ください。各アプリケーションから参照できます。

*1：本製品には、Kofax VRS Professional（以降、「Kofax VRS」と呼びます）が添付されています。

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標または商標です。Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。ABBYY™ FineReader™ Engine ©2011 ABBYY. OCR by ABBYY ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。Kofax および VRS は、Kofax, Inc. の登録商標または商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地

(ソリッドスクエア東館)

TEL:044-540-4538

© PFU LIMITED 2011

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

本書では、警告表示とは別に、説明文中に次の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項を記載しています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスを記載しています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
<ul style="list-style-type: none">● Windows® XP Home Edition● Windows® XP Professional● Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP (*1)
<ul style="list-style-type: none">● Windows Server® 2003, Standard Edition● Windows Server® 2003, Standard x64 Edition● Windows Server® 2003 R2, Standard Edition● Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003 (*1)
<ul style="list-style-type: none">● Windows Vista® Home Basic (32/64bit)● Windows Vista® Home Premium (32/64bit)● Windows Vista® Business (32/64bit)● Windows Vista® Enterprise (32/64bit)● Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	Windows Vista (*1)
<ul style="list-style-type: none">● Windows Server® 2008 Standard (32/64bit)● Windows Server® 2008 R2 Standard (64bit)	Windows Server 2008 (*1)
<ul style="list-style-type: none">● Windows® 7 Home Premium (32/64bit)● Windows® 7 Professional (32/64bit)● Windows® 7 Enterprise (32/64bit)● Windows® 7 Ultimate (32/64bit)	Windows 7 (*1)

名称	本文中の表記
<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft® Office SharePoint® Portal Server 2003 ● Microsoft® Office SharePoint® Server 2007 ● Microsoft® SharePoint® Server 2010 	SharePoint Server
ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in	ScanSnap mode
ScanSnap A3 キャリアシート	A3 キャリアシート

*1: すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例: 「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。

本書に掲載している画面

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、および ScandAll PRO（画像読み取り用アプリケーション）のものです。

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

目次

本書の使い方	2
はじめに	3
本書をお読みになる前に	5
第 1 章 スキャナをお使いになる前に	15
1.1 特長	16
1.2 各部の名称と働き	18
fi-6130Z/fi-6140Z の場合	18
fi-6230Z/fi-6240Z の場合	21
1.3 電源の投入 / 切断	25
電源の投入	25
電源の切断	25
1.4 ADF の開閉	26
ADF の開け方	26
ADF の閉じ方	26
1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]	27
ドキュメントカバーの開け方	27
ドキュメントカバーの閉じ方	27
1.6 ADF 給紙シュートの設定	28
1.7 スタッカーの設定	29
fi-6130Z/fi-6140Z の場合	29
fi-6230Z/fi-6240Z の場合	32
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	33
1.9 読み取り操作の流れ	34

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.10	画像読み取り用アプリケーションの紹介	38
1.11	スキャナ集中管理機能の紹介	39
第 2 章	原稿のセット方法	40
2.1	ADF での原稿のセット	41
	原稿の準備	41
	原稿のセット方法	42
2.2	フラットベッドでの原稿のセット [fi-6230Z/fi-6240Z]	43
2.3	ADF で読み取りできる原稿	44
	原稿のサイズ	44
	読み取りできる原稿の条件	44
	セットできる原稿の枚数	47
	穴を開けてはいけない領域	48
	マルチフィードを正しく検出するための条件	48
	混載条件	50
	自動用紙サイズ検出を行うための条件	52
	A3 キャリアシートを使用する場合の条件	53
第 3 章	読み取り条件の設定	54
3.1	TWAIN ドライバの場合	55
	解像度	56
	給紙	56
	用紙サイズ	56
	画像タイプ	56
	[読取] ボタン	56
	[プレビュー] ボタン	57
	[閉じる] / [了解] ボタン	57
	[リセット] ボタン	57
	[ヘルプ] ボタン	57

[バージョン情報] ボタン	57
[オプション] ボタン	57
[詳細] ボタン	58
[管理] ボタン	58
[参照] ボタン	58
3.2 ISIS ドライバの場合	59
「メイン」タブ	60
「レイアウト」タブ	60
「画像処理」タブ	61
「用紙処理」タブ	62
「ガンマ」タブ	62
「ドロップアウトカラー」タブ	63
「圧縮」タブ	63
「インプリンタ」タブ	64
「ブランクページスキップ」タブ	64
「バージョン情報」タブ	65
第 4 章 操作パネルの操作方法	66
4.1 操作パネルをお使いになる前に	67
操作パネルの名称と働き	67
ファンクションナンバーディスプレイの表示内容	68
第 5 章 いろいろな読み取り方	69
5.1 読み取り方一覧	70
5.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り	71
両面を一度に読み取りたいとき	71
幅の違う原稿を読み取りたいとき	72
A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき	73
写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき	76

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

	長尺帳票を読み取りたいとき	79
	本を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]	81
	フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]	83
5.3	読み取り方の変更	85
	指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき	85
	白紙ページをスキップして読み取りたいとき	88
	パンチ穴を除去して読み取りたいとき	90
	明るめに画像を読み取りたいとき	92
	ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき	94
5.4	読み取り後の動作や処理の設定	95
	原稿の傾きを自動で補正したいとき	95
	原稿の向きを自動で補正したいとき	97
	原稿を2分割して読み取りたいとき	99
	マルチイメージ出力したいとき	101
	読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき	103
5.5	読み取り時のスキャナ動作の変更	105
	スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき	105
	マルチフィードを検出したいとき	107
	決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき	109
第6章	日常のお手入れ	112
6.1	清掃用品および清掃が必要な場所	113
	清掃用品	113
	清掃箇所と清掃頻度	114
6.2	スキャナ外部の清掃	115
	fi-6130Z/fi-6140Z の場合	115
	fi-6230Z/fi-6240Z の場合	115

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使
いになる前に原稿のセット
方法読み取り条件
の設定操作パネルの
操作方法いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

6.3	スキャナ内部の清掃	116
	ADF の清掃 (クリーニングペーパーによる場合)	116
	ADF の清掃 (布による場合)	117
	フラットベッドの清掃 [fi-6230Z/fi-6240Z]	120
6.4	A3 キャリアシートの清掃	121
第 7 章	消耗品の交換	122
7.1	消耗品と交換周期	123
7.2	ブレーキローラの交換	124
7.3	ピックローラの交換	126
第 8 章	困ったときには	129
8.1	原稿づまりが発生したときは	130
8.2	操作パネルのエラー表示	131
	一時的エラー	132
	装置異常	133
8.3	困ったときには	136
	電源が投入されない	137
	ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える	138
	読み取りが開始されない	139
	白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる	140
	文字や線の読み取り結果が良くない	141
	画像がゆがむまたは鮮明ではない	142
	読み取った画像に縦線が出る	143
	スキャナに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常 (「E」またはそのほかの数字や文字) が表示されている	144
	マルチフィードが頻繁に起こる	145
	原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる	147
	原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる	148

	読み取った画像が間延びする.....	149
	読み取った画像の先端または後端に影がある.....	150
	原稿に黒い跡が残る.....	151
	A3 キャリアシートがうまく送られない / つまる.....	152
	A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける.....	154
8.4	サービスセンターに連絡する前に.....	155
	概要.....	155
	エラーの状況.....	156
8.5	装置ラベルの確認.....	157
	ラベルの位置.....	157
第 9 章	スキャナの動作設定.....	158
9.1	Software Operation Panel の起動.....	159
9.2	Software Operation Panel のパスワード設定.....	160
	パスワードの設定.....	160
	「閲覧モード」の設定.....	161
	「閲覧モード」の設定解除.....	162
	パスワードの変更.....	163
	パスワードの設定解除.....	164
	パスワード紛失時の対応.....	165
9.3	設定できる項目.....	166
	装置設定.....	166
	装置設定 2.....	168
9.4	ページカウンタに関する設定.....	172
	ページカウンタの確認およびリセット.....	172
	消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）.....	174

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

9.5	読み取りに関する設定	175
	読み取り開始位置の調整（オフセット設定 / 倍率調整）.....	175
	読み取った画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）・縁消し（FB） [fi-6230Z/fi-6240Z]）.....	177
	指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）.....	179
	読み取り時間の短縮（プレピックモード）.....	180
	給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）.....	181
	読み取った画像の端数の設定（自動用紙サイズ検出時のバウンダリ）.....	182
	原稿を保護する機能の設定（ペーパープロテクション）.....	183
	原稿を保護する機能の感度設定（ペーパープロテクション検知レベル）.....	184
	厚いプラスチックカードを読み取る機能の設定（搬送モード） [fi-6140Z/fi-6240Z].....	185
9.6	マルチフィード検出に関する設定	186
	マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）.....	186
	マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）.....	188
	マルチフィード検出しない範囲の設定（インテリジェントマルチフィード設定）.....	191
9.7	待機時間に関する設定	192
	手挿入モードの待機時間の設定（手挿入タイムアウト）.....	192
	省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）.....	193
9.8	電源投入 / 切断に関する設定	194
	電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）.....	194
付録	195
付 .1	スキャナ基本仕様	196
付 .2	設置諸元	199
付 .3	外形寸法	201
	fi-6130Z/fi-6140Z の場合	201
	fi-6230Z/fi-6240Z の場合	201
付 .4	スキャナのオプション	202
付 .5	ソフトウェアのアンインストール手順	204
付 .6	e- 文書法に適合した電子文書の作成	205

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

修理・お問い合わせ	207
用語集	210
索引	221

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第1章 スキャナをお使いになる前に

この章では、各部の名称と働きおよび基本的な操作方法について説明します。

1.1 特長	16
1.2 各部の名称と働き	18
1.3 電源の投入 / 切断	25
1.4 ADF の開閉	26
1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]	27
1.6 ADF 給紙シュートの設定	28
1.7 スタッカーの設定	29
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	33
1.9 読み取り操作の流れ	34
1.10 画像読み取り用アプリケーションの紹介	38
1.11 スキャナ集中管理機能の紹介	39

1.1 特長

本製品の特長について説明します。
本製品には、次のような特長があります。

高速読み取りを実現

毎分 30 枚 / 60 面 [fi-6130Z/fi-6230Z] (*1)、
毎分 40 枚 / 80 面 [fi-6140Z/fi-6240Z] (*1) の読み取り速度を実現しました。さらに、一度に 50 枚までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

A4 サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿の読み取りを実現

添付の A3 キャリアシートを使用すると、A4 サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿を読み取りできます。A3 キャリアシートは、複数枚まとめて読み取ったり、一般の原稿と同時に読み取ったりできます。

ファンクションナンバーディスプレイを搭載

エラー状況を表示するファンクションナンバーディスプレイが搭載されています。これにより、スキャナの状態を簡単に確認できます。

読み取り前処理を効率化

厚さ・サイズの異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」ができます。読み取り前の原稿仕分け作業を簡略化できます。

マルチフィードによる業務ロスを低減

一度に 2 枚以上の原稿が重なって給紙（マルチフィード）されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されています。厚さ・サイズが異なる原稿を混載読み取りする場合でも、マルチフィードを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

インテリジェントマルチフィード機能を搭載

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼り付けてある場合、その貼り付け位置をスキャナに認識させるインテリジェントマルチフィード機能が搭載されています。スキャナに認識させた貼り付け位置部分は、マルチフィードを検出せずに読み取りを継続できます。さらに、原稿破損防止機能により、大切な原稿の破損を防止できます。

e- 文書法 (*2) の画質要件を満たす画像を生成

2005 年 4 月に施行された e- 文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類（申込書、請求書、検収書など）を、電子化して保存できるようになりました。e- 文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e- 文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

高度な画像処理機能を搭載

原稿に合わせて自動的にカラー / モノクロの出力を行う自動判別機能が搭載されています。

インプリンタを搭載

原稿の管理・照合用途でニーズの高い、インプリンタをオプションとして用意しています。インプリンタを使用して、原稿の読み取り後に印字することで、お客様の使い勝手を大幅に向上します。
なお、インプリンタは fi-6130Z/fi-6140Z の場合に搭載できます。

黒背景読み取りを実現

フラットベッドで黒背景読み取りを行うための、黒色原稿押さえパッドをオプションとして用意しています。黒色原稿押さえパッドを使用して、フラットベッドで読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりできます。
なお、黒色原稿押さえパッドは fi-6230Z/fi-6240Z の場合に使用できません。

スキャナを集中管理

添付のアプリケーション「Scanner Central Admin Agent」を使用することで、複数台のスキャナを集中管理して、スキャナの設定情報やドライバなどをアップデートしたり、スキャナの稼働状況を監視したりできます。

*1： 解像度 300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。

*2： e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどによ

り電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、この法律の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.2 各部の名称と働き

スキャナの各部名称について説明します。

fi-6130Z/fi-6140Z の場合

■前面

サイドガイド

ADF 給紙シュートにセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

ADF（自動給紙機構）

ADF 給紙シュートにセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開きます。

スタッカー

排出された原稿が積み重ねられます。

スタッカーエクステンション1

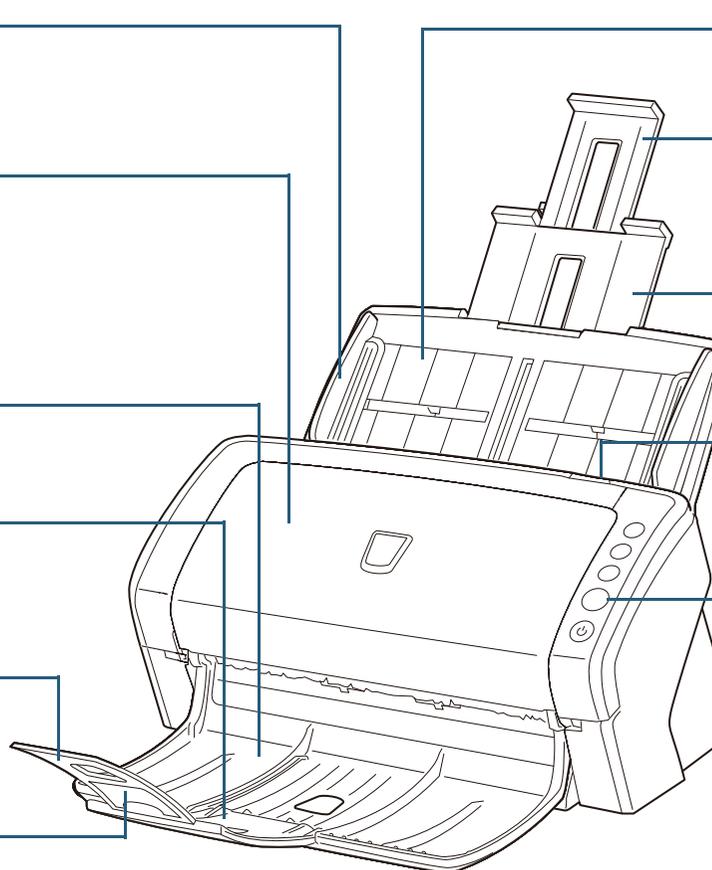
読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。

スタッカーエクステンション2

読み取る原稿の長さに合わせて、手前に起こして使います。

スタッカーエクステンション3

読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。



ADF 給紙シュート

読み取る原稿をセットするための台です。

シュートエクステンション2

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

シュートエクステンション1

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

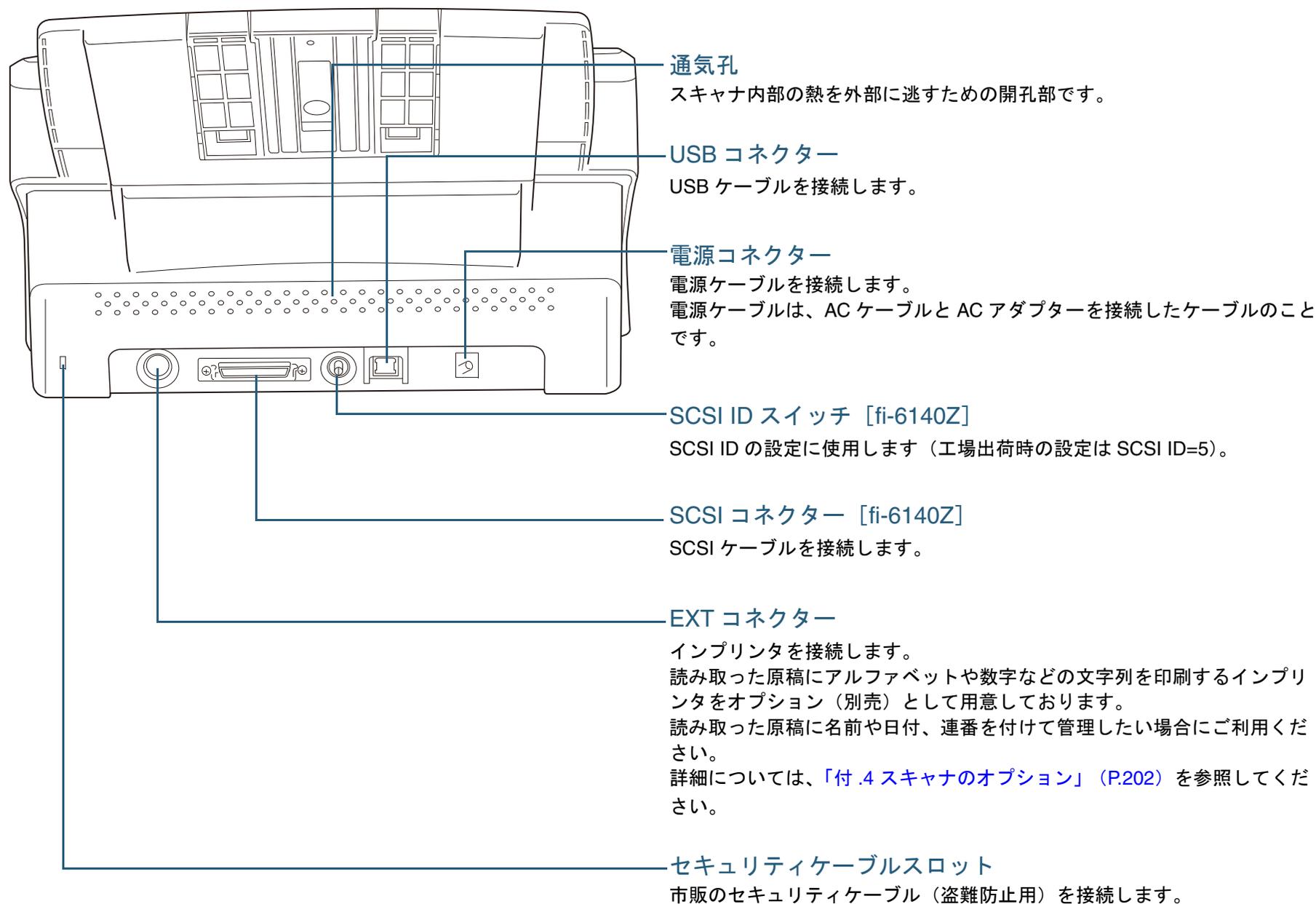
ADF オープンレバー

ADF オープンレバーを手前に引くと、ADFが開きます。

操作パネル

ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Checkランプ（LED）から構成されています。スキャナを操作したり、スキャナの状態を確認したりできます。操作パネルの詳細については、「第4章 操作パネルの操作方法」（P.66）を参照してください。

■背面



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

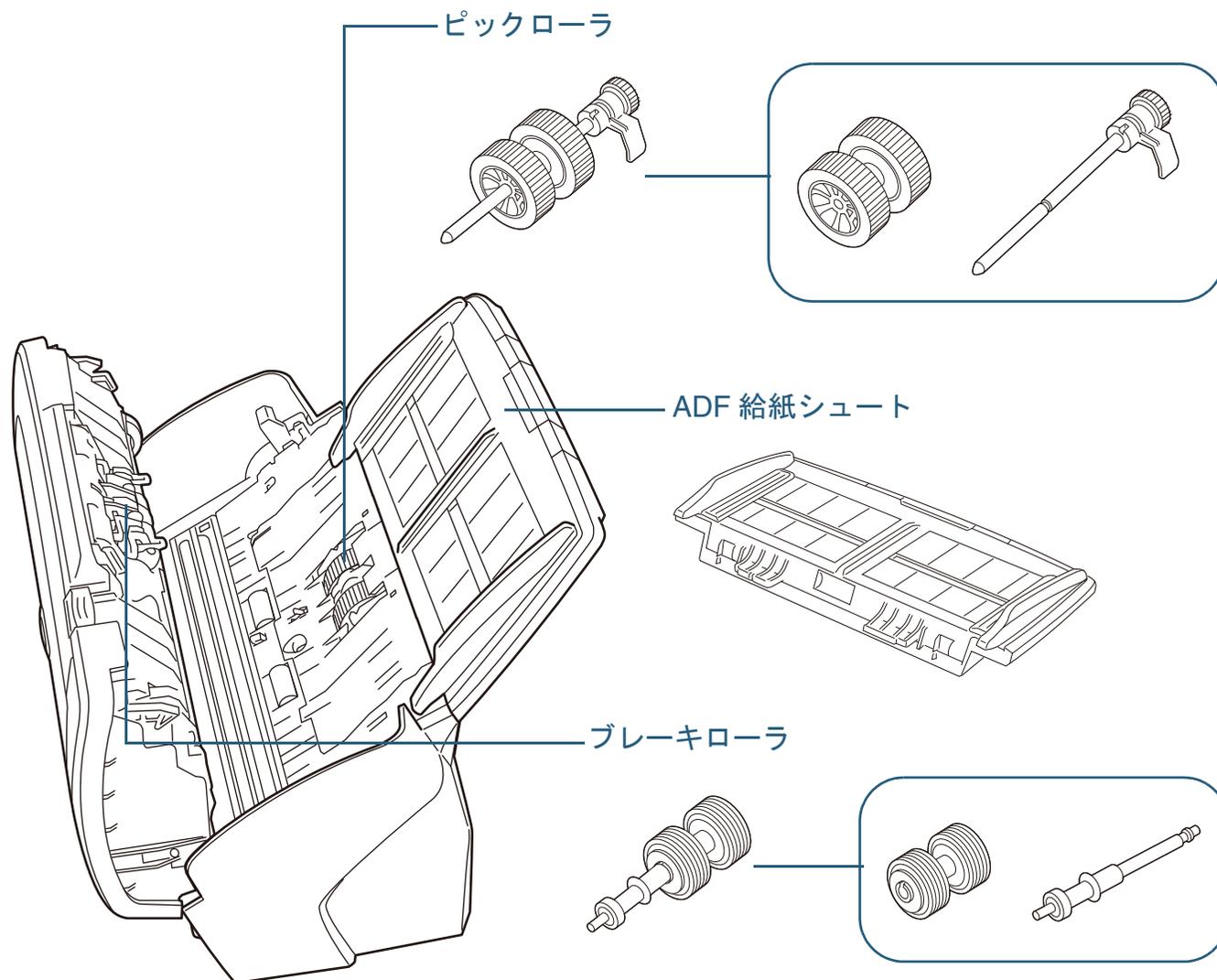
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■取り外し可能部品



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

fi-6230Z/fi-6240Z の場合

■前面

サイドガイド

ADF 給紙シュートにセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

ADF（自動給紙機構）

ADF 給紙シュートにセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開きます。

スタッカー

排出された原稿が積み重ねられます。

スタッカーエクステンション

読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。

フラットベッド

薄い原稿、本などの厚みを持った原稿など ADF で読み取れない原稿を読み取る場合、ガラス面に原稿を置きます。

ADF 給紙シュート

読み取る原稿をセットするための台です。

シュートエクステンション 2

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

シュートエクステンション 1

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

ADF オープンレバー

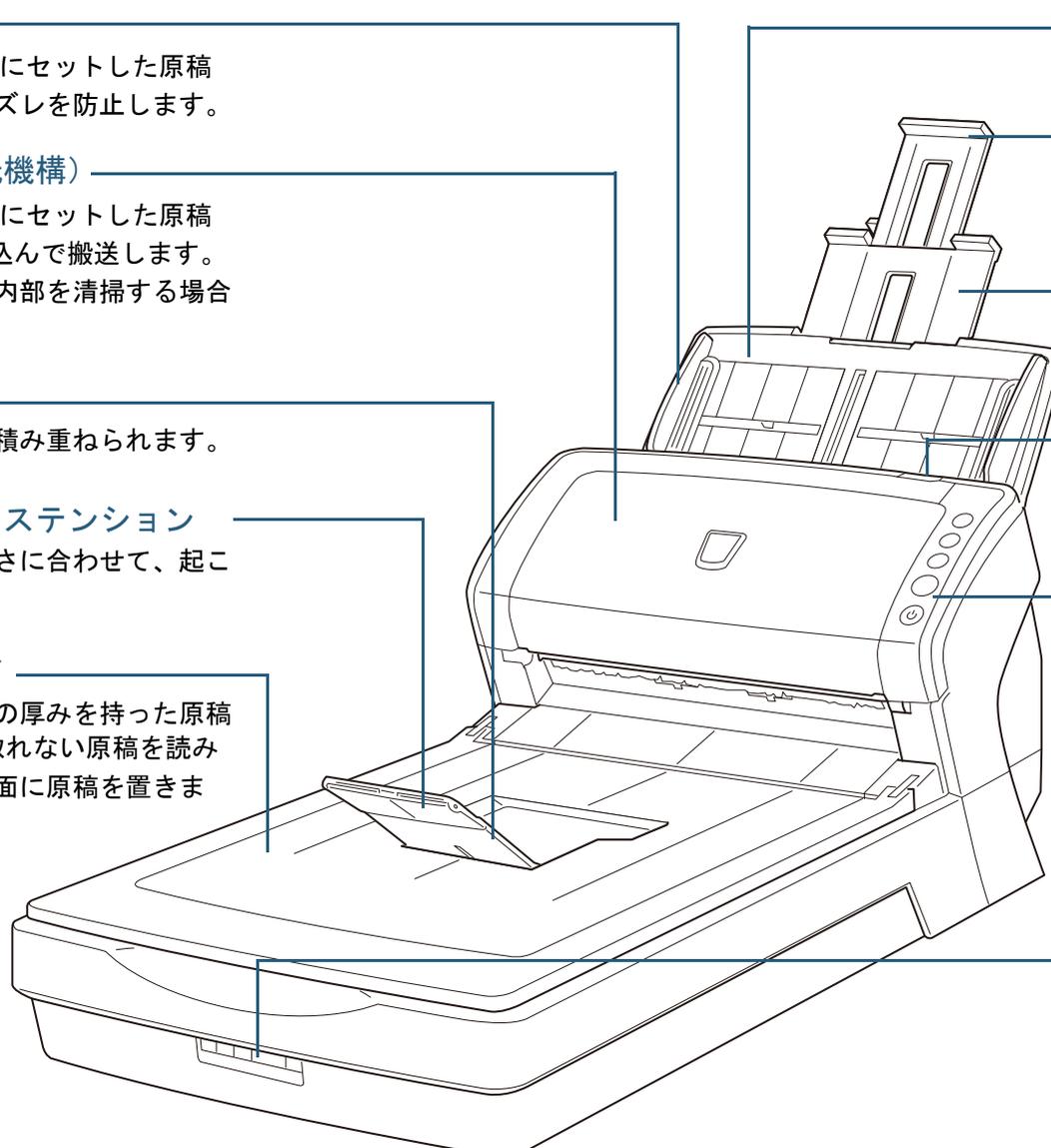
ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。

操作パネル

ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。スキャナを操作したり、スキャナの状態を確認したりできます。操作パネルの詳細については、「第4章 操作パネルの操作方法」（P.66）を参照してください。

輸送ロックスイッチ

輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

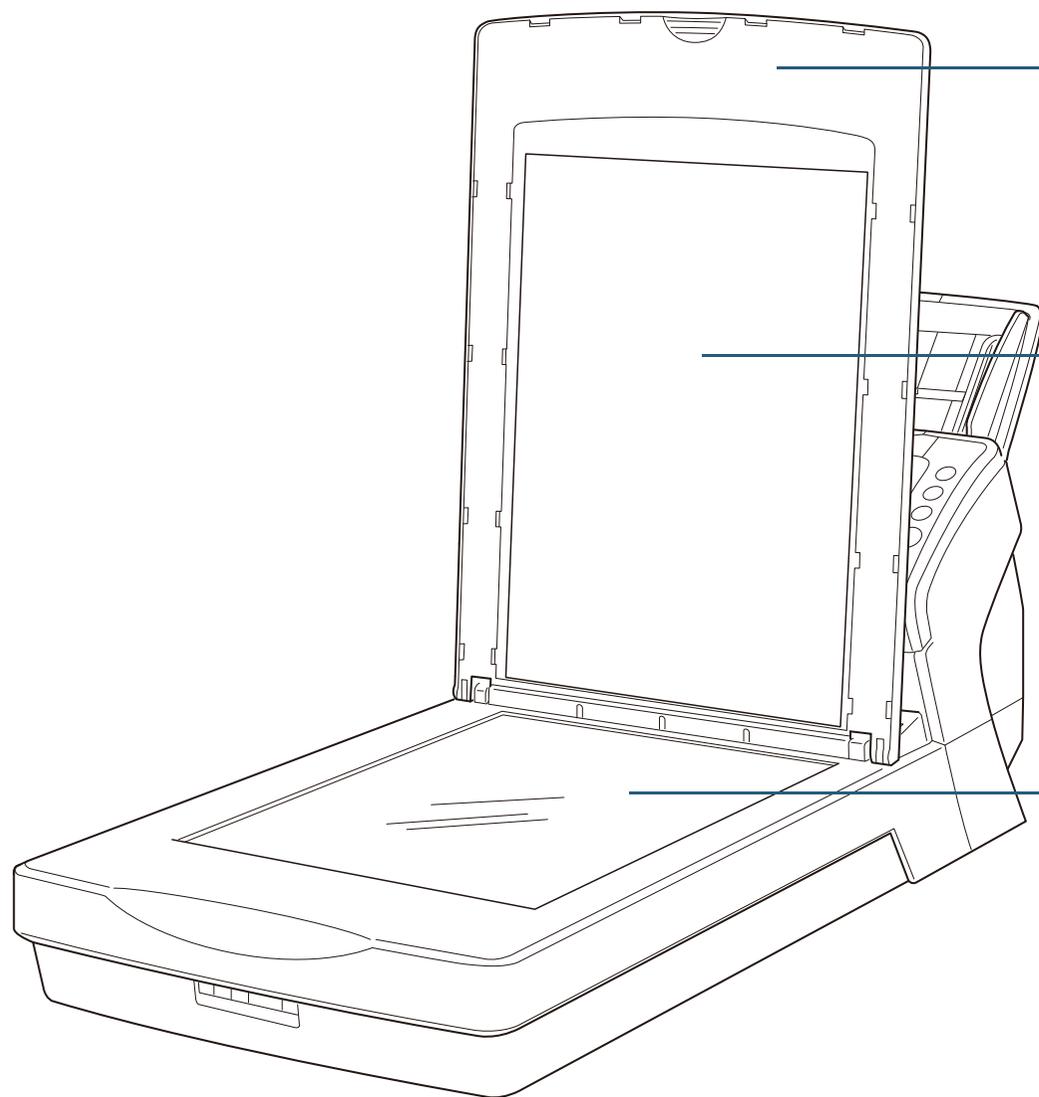
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■内部



ドキュメントカバー

閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。

原稿押さえパッド

原稿を原稿台に押し付けて固定します。
原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーをオプション（別売）として用意しております。
フラットベッドで黒背景読み取りを行いたい場合にご利用ください。
詳細については、「付.4 スキャナのオプション」(P.202) を参照してください。

原稿台

フラットベッド読み取りの場合、ガラス面に原稿を置きます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

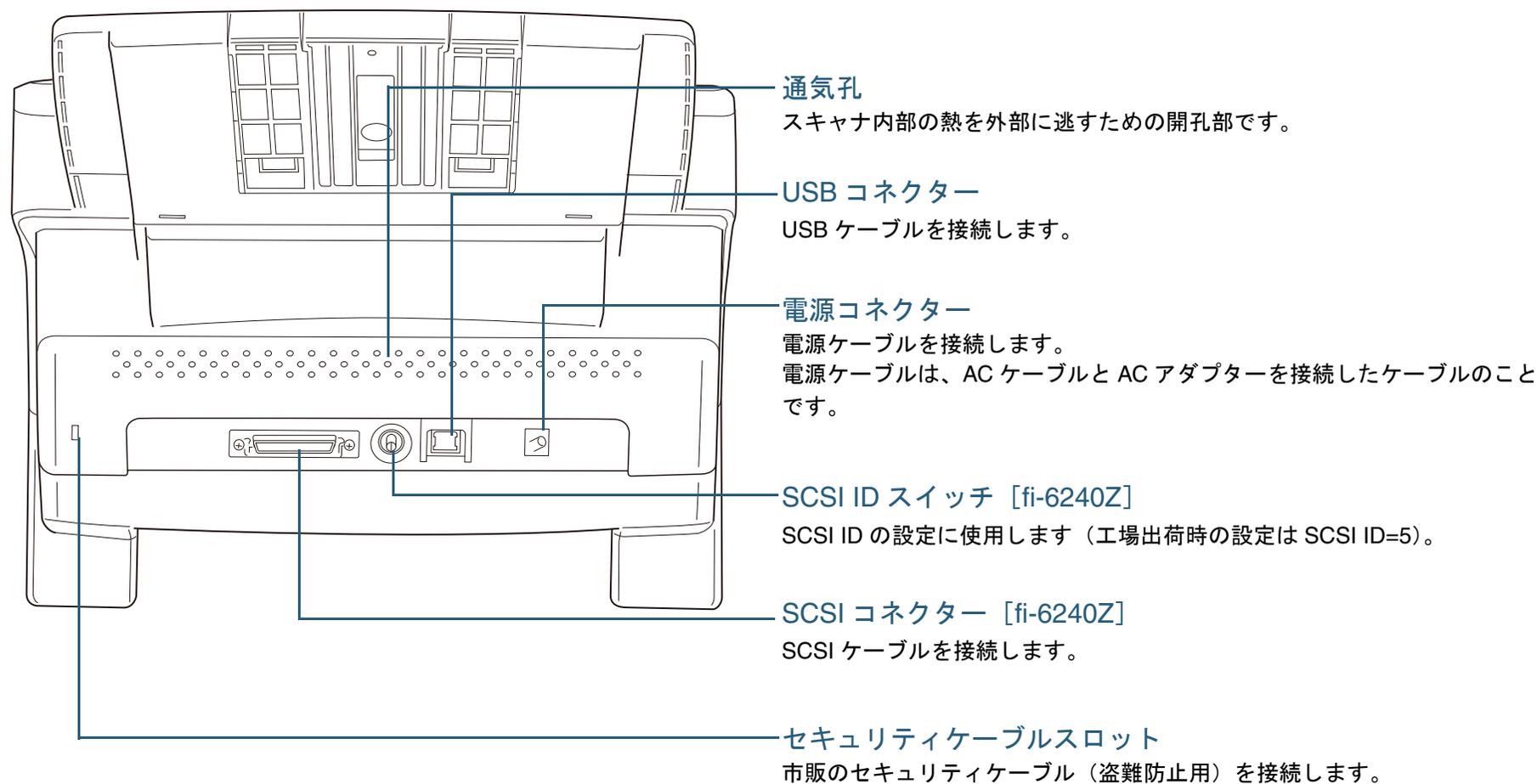
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■背面



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

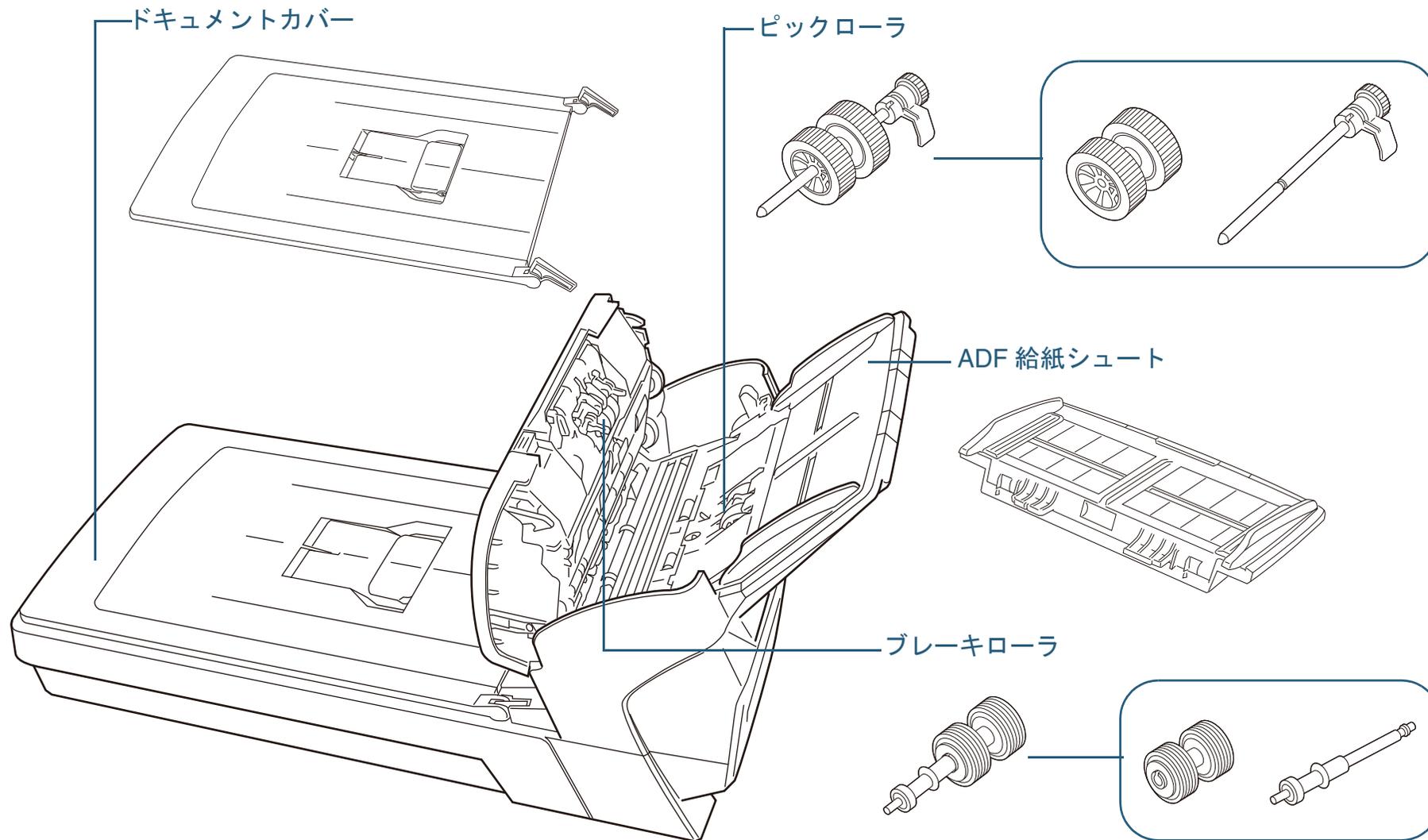
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■取り外し可能部品



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.3 電源の投入 / 切断

電源の投入 / 切断について説明します。



スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

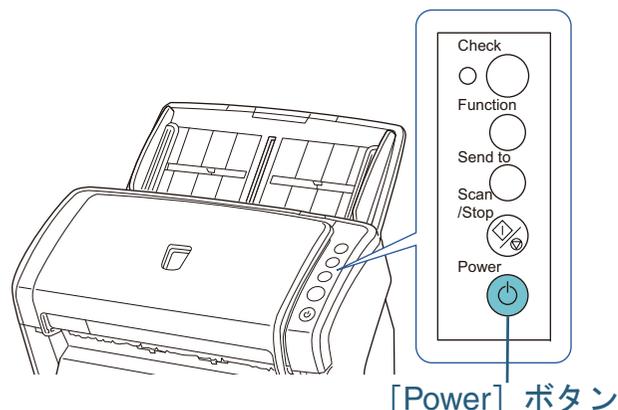
詳細については、「[電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）](#)」（P.194）を参照してください。

電源の投入



SCSI 接続の場合は、スキャナの電源を投入して、ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されていることを確認してから、コンピュータの電源を投入してください。

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを押します。



- ⇒ 電源が投入され、[Power] ボタンが緑色に点灯します。初期化処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが「8」→「P」→「0」→「1」の順に変化します。操作パネルが「1」の状態が、レディ状態です。



[Power] ボタンを押したとき、Check ランプ (LED) が一瞬点灯しますが、初期診断によるものであり、故障ではありません。

電源の切断

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを 2 秒間以上押します。

- ⇒ 電源が切断され、[Power] ボタンが消灯します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

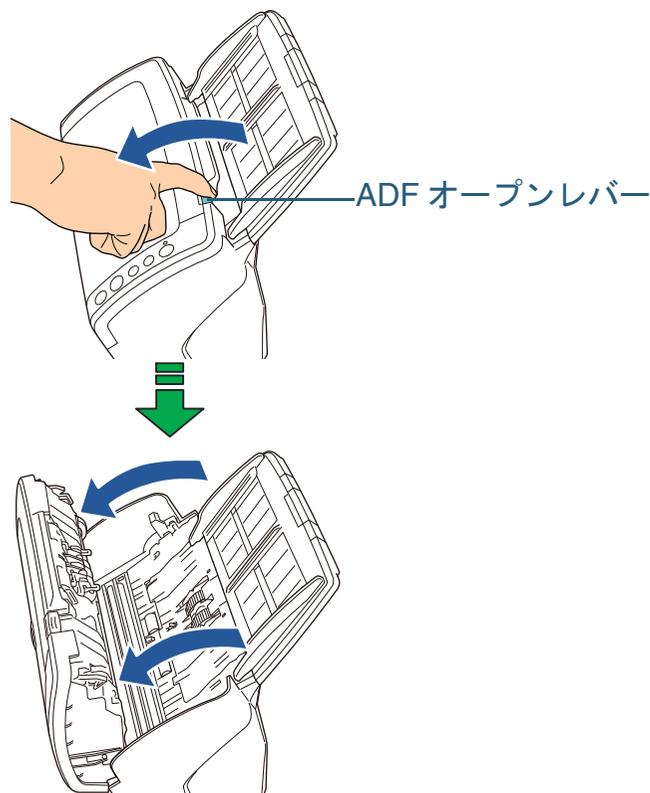
用語集

1.4 ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開きます。

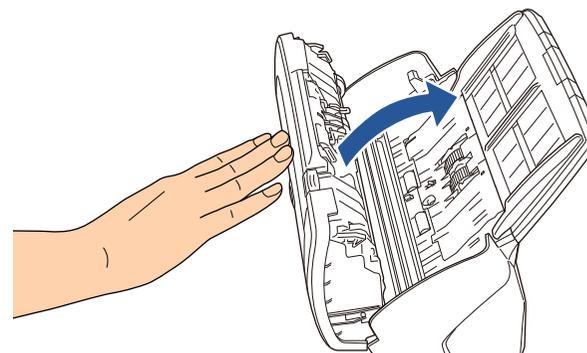


注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

ADF の閉じ方

- 1 ADF を閉じます。
「カチン」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。



閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないこと確認してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

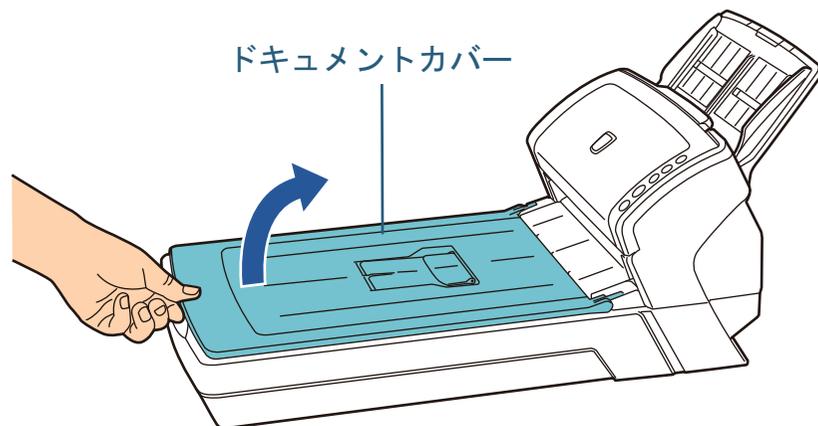
用語集

1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]

ドキュメントカバーの開閉について説明します。

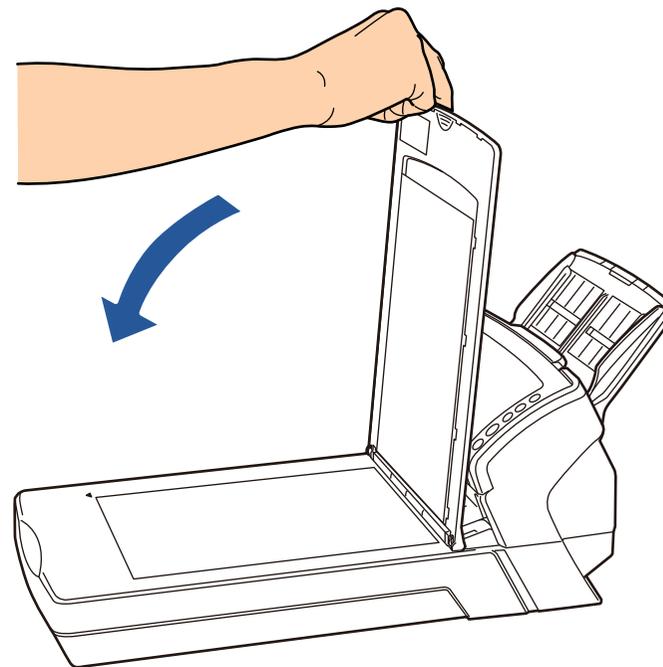
ドキュメントカバーの開け方

- 1 ドキュメントカバーを開きます。



ドキュメントカバーの閉じ方

- 1 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

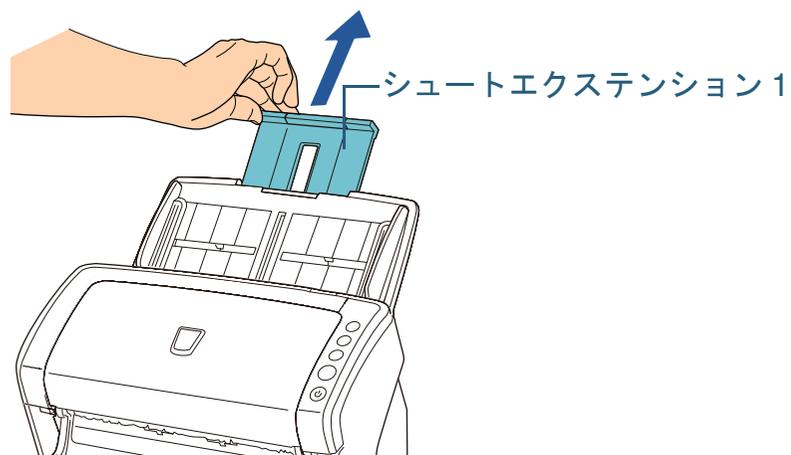
用語集

1.6 ADF 給紙シュートの設定

ADF 給紙シュートにセットした原稿は、読み取りすると、順次読み込まれていきます。

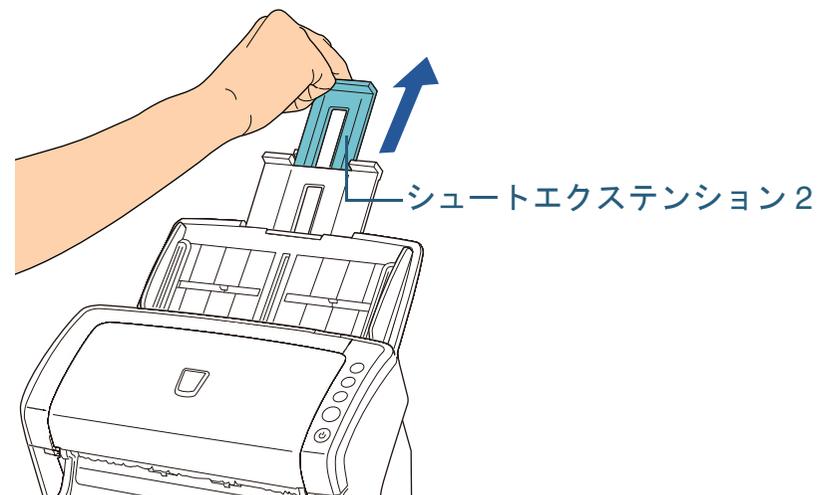
A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに読み込めます。

1 シュートエクステンション1を引き上げます。



 スキャナを押さえながら、シュートエクステンション1をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

2 シュートエクステンション2を引き上げます。



 スキャナを押さえながら、シュートエクステンション2をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

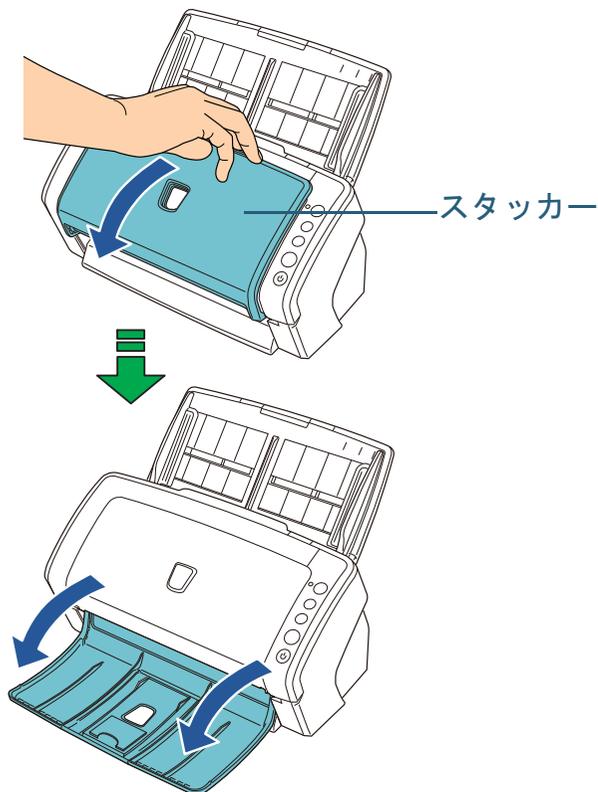
1.7 スタッカーの設定

ADF 給紙シュートにセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。
A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、スタッカーやスタッカーエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

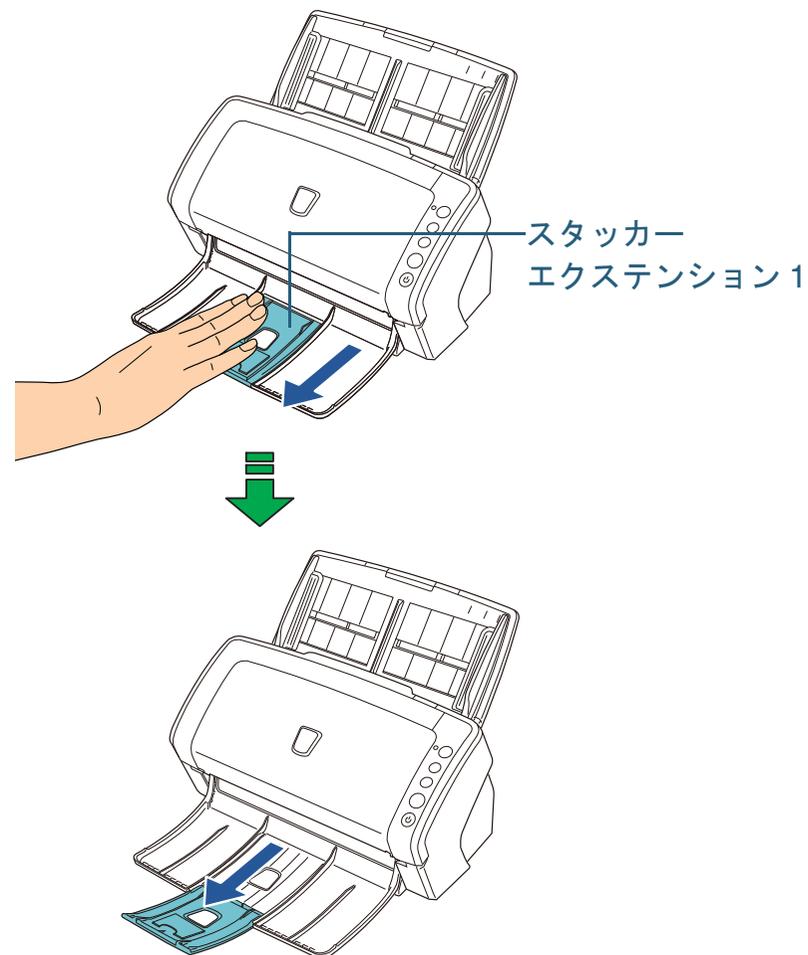
fi-6130Z/fi-6140Z の場合

■読み取り原稿サイズが、A6 横以上の場合

1 スタッカーの上部に指をかけて、手前に起こします。



2 スタッカーエクステンション1に手を置いて、手前にスライドさせます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

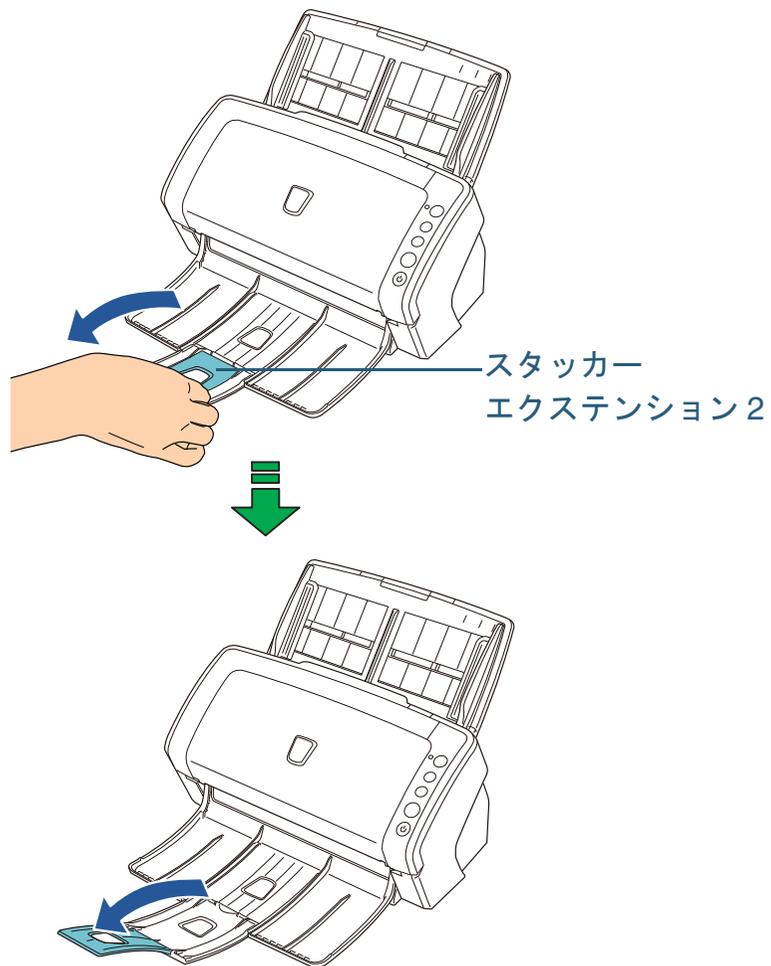
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 3 スタッカークエストン2に指をかけて、手前に起こします。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

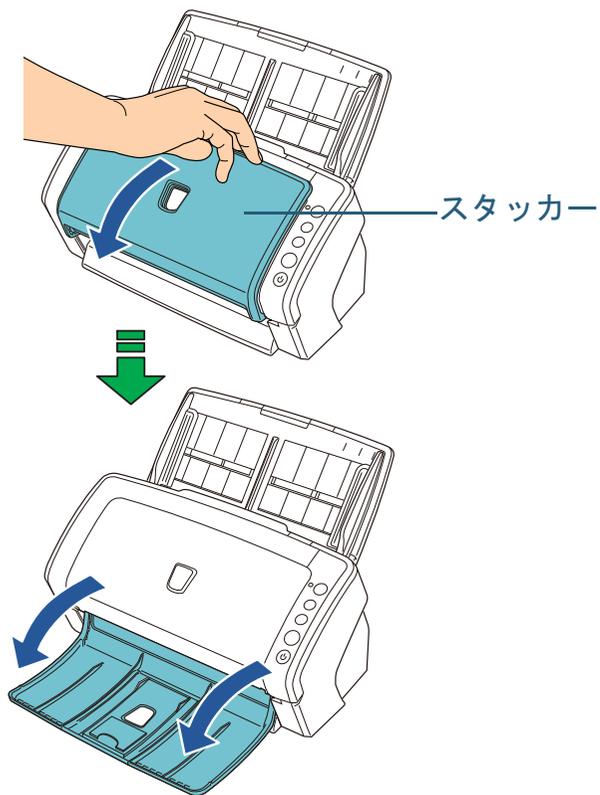
スキャナの動作設定

付録

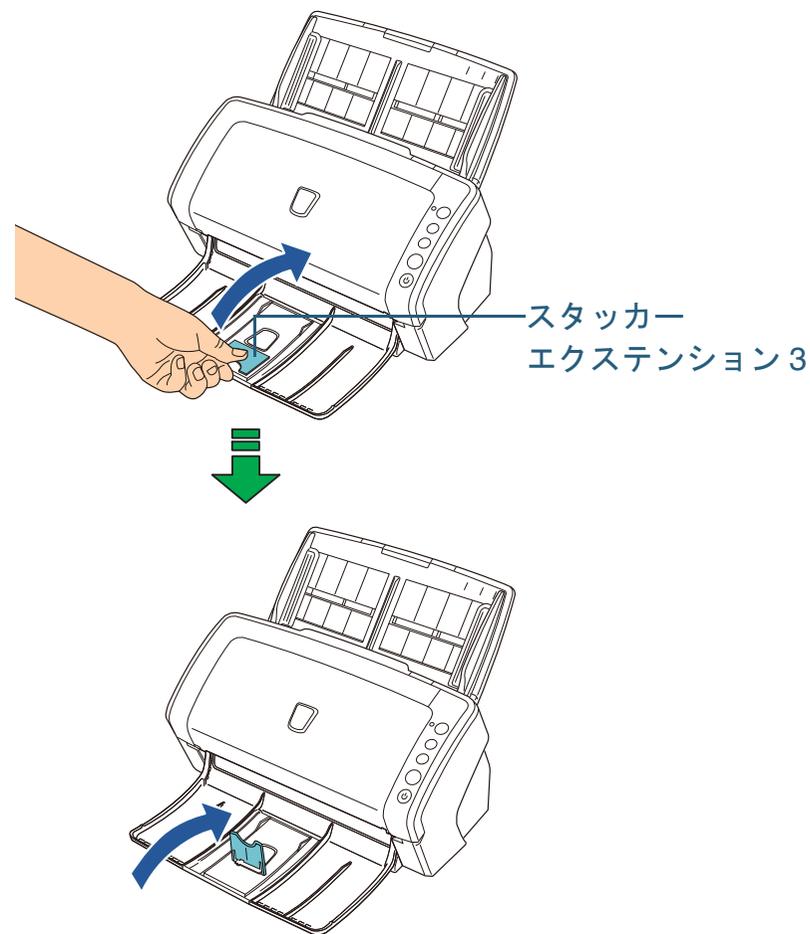
用語集

■読み取り原稿サイズが、A7横以下の場合

1 スタッカークの上部に指をかけて、手前に起こします。



2 スタッカーエクステンション3を起こします。



スタッカーエクステンション3を無理に90度以上に倒すと、破損するおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

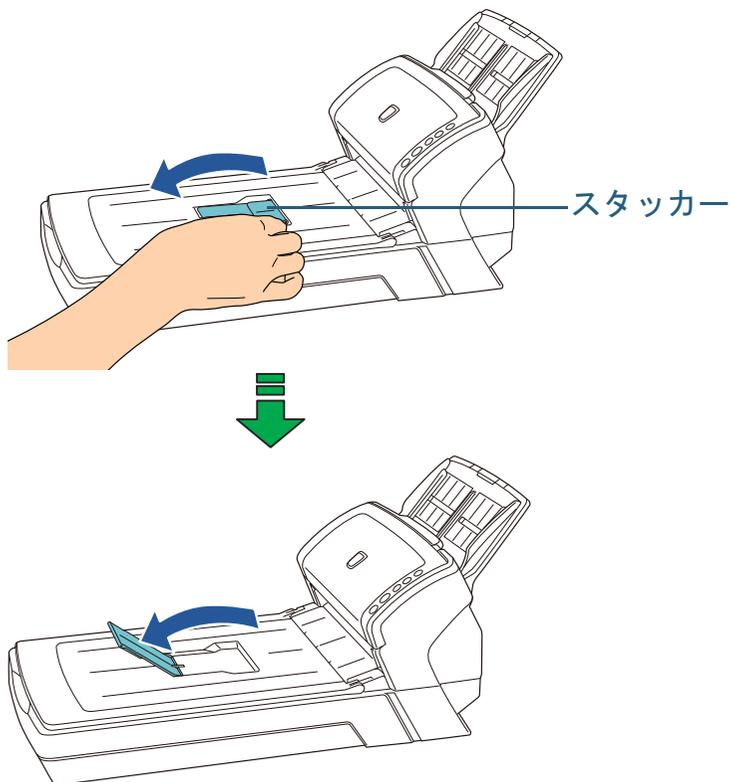
付録

用語集

fi-6230Z/fi-6240Z の場合

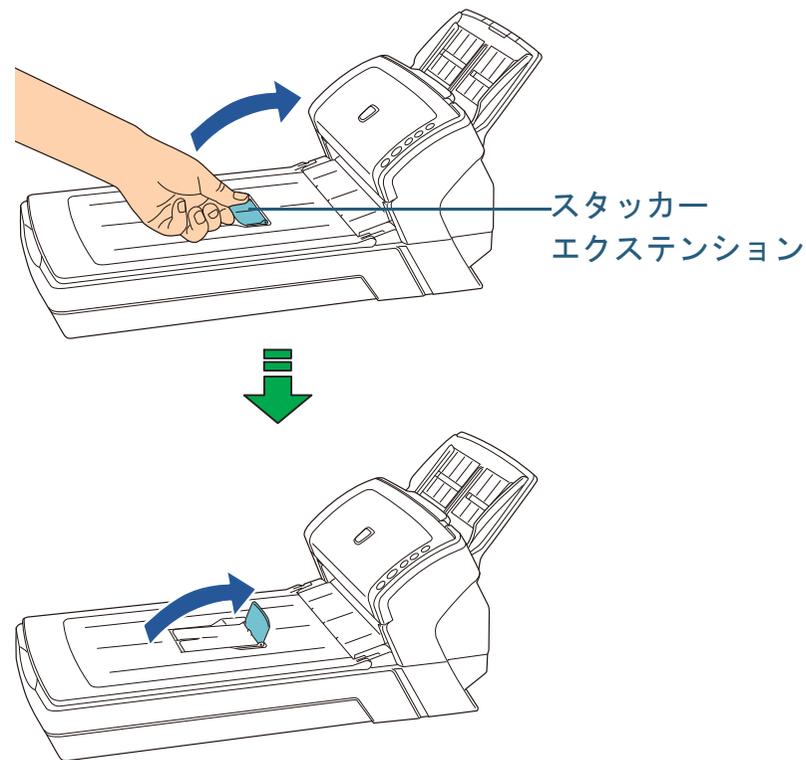
■読み取り原稿サイズが、A5 縦以上の場合

- 1 スタッカークラスに指をかけて、手前に起こします。



■読み取り原稿サイズが、A6 縦、A5 横以下の場合

- 1 スタッカークラスエクステンションを起こします。



スタッカーエクステンションを無理に90度以上に倒すと、破損するおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.8 省電力モードの移行 / 復帰

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。[Power] ボタンは緑色に点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュートに原稿をセットする。
- 操作パネルのボタンを押す。
ただし、スキャナの操作パネルの [Power] ボタンは2秒以上押さないでください。
- スキャナを使用できるアプリケーションから読み取る。



搬送路上に原稿が残されたままになっていた場合、省電力モードに切り替わる時間が経過しても省電力モードに切り替わらないことがあります。原稿の取り除き方法については、「[8.1 原稿づまりが発生したときは](#)」(P.130)を参照してください。



省電力モードに切り替わるまでの時間は、Software Operation Panel で変更できます。詳細については、「[省電力モードの待機時間の設定 \(省電力設定\)](#)」(P.193)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.9 読み取り操作の流れ

スキャナを使って原稿を読み取る操作の流れについて説明します。

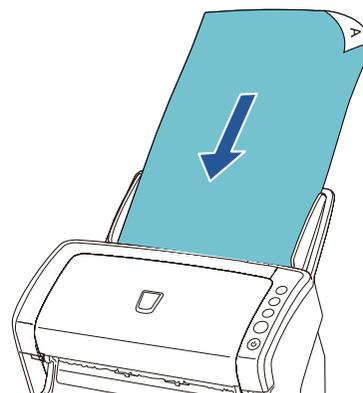
スキャナで原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、そのドライバに対応したアプリケーションが必要です。本製品には、TWAIN 規格に準拠した「TWAIN ドライバ」、ISIS 規格に準拠した「ISIS ドライバ」の2種類のドライバ、「Kofax VRS」に対応したアプリケーション「ScandAll PRO」が添付されています。



- スキャナドライバの詳細については、次を参照してください。
 - 「第3章 読み取り条件の設定」(P.54)
 - TWAIN ドライバのヘルプ
 - ISIS ドライバのヘルプ
- Kofax VRSの詳細については、次を参照してください。
 - Kofax VRS のヘルプ
- ドライバに対応したアプリケーション (ScandAll PRO) の詳細については、次を参照してください。
 - ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイド
 - ScandAll PRO のヘルプ

読み取り操作の流れを次に示します。

- 1 スキャナの電源を投入します。
電源の投入方法については、「1.3 電源の投入/切断」(P.25)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)がADF給紙シュート側(下向き)になるように、原稿をセットします。



原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

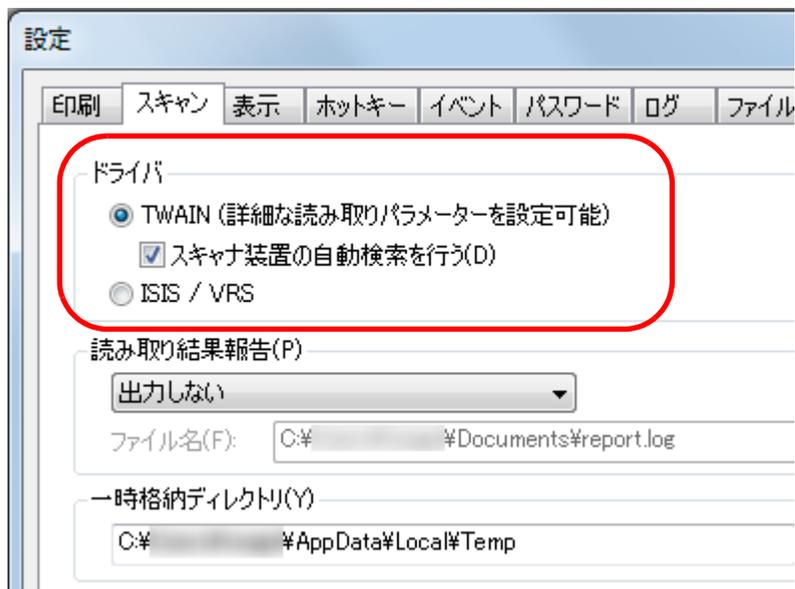
用語集

- 3 読み取りに使用するアプリケーションを起動します。
ここでは、例として ScandAll PRO を使用して説明します。

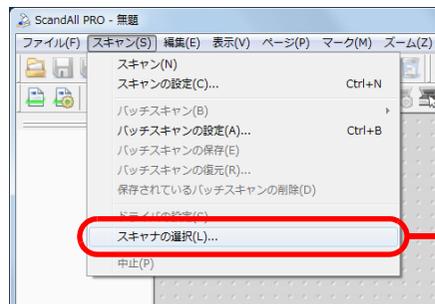


ScandAll PRO の起動方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

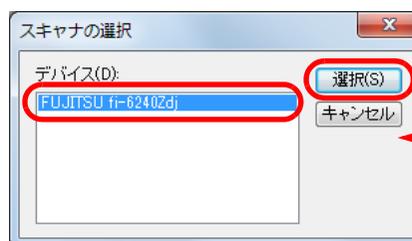
- 4 読み取りに使用するスキャナドライバを指定します。



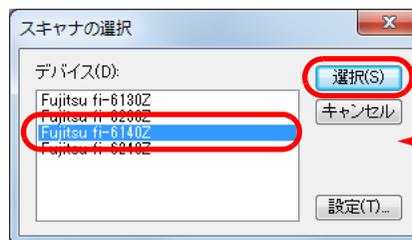
- 5 読み取りに使用するスキャナを指定します。



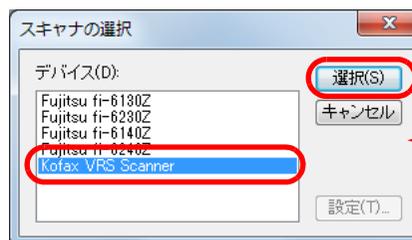
TWAIN ドライバの場合



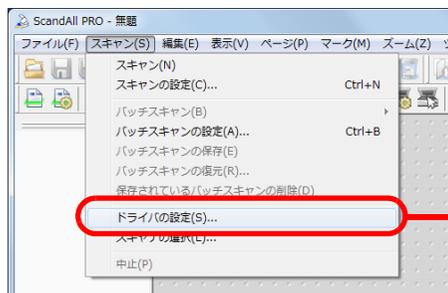
ISIS ドライバの場合



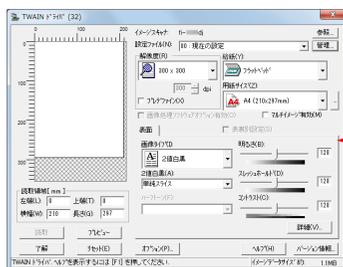
Kofax VRS の場合



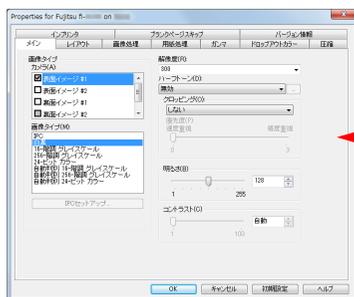
6 アプリケーションから、スキャナドライバを呼び出します。



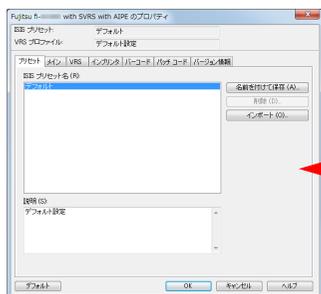
TWAIN ドライバの場合



ISIS ドライバの場合



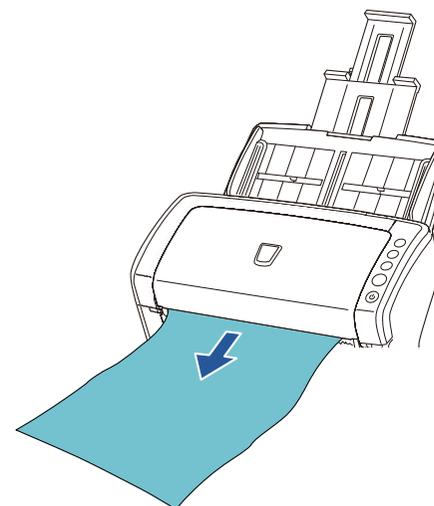
Kofax VRS の場合



7 スキャナドライバの設定画面で、スキャナの読み取り条件を設定します。

- TWAIN ドライバの場合
読み取り条件を設定し、[了解] ボタンをクリックします。
- ISIS ドライバまたは Kofax VRS の場合
読み取り条件を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

8 「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



ScandAll PRO を使用した読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

9 読み取った画像をファイルに保存します。



読み取り中などスキャナとコンピュータが通信しているときに、USB ケーブルまたは SCSI ケーブルを抜かないように注意してください。ユーザーログオフなども行わないでください。



使用するアプリケーションによって、手順や操作が若干異なります。

ScandAll PRO を使った読み取り方法の詳細については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

ほかのアプリケーションを使用して読み取る場合は、そのアプリケーションに添付されているマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.10 画像読み取り用アプリケーションの紹介

画像読み取り用アプリケーションについて紹介します。
本書では、画像読み取り用アプリケーションとして、
ScandAll PRO を例に説明しています。

ScandAll PRO は、TWAIN/ISIS 両規格に準拠した画像読み取り用アプリケーションです。スキャナの読み取り処理の設定をプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。

ScandAll PRO がインストールされている場合に、ScandAll PRO の機能を拡張するアプリケーションとして ScanSnap mode をインストールできます。

ScanSnap mode は、ScanSnap mode 専用のドライバ設定で画像を読み取るアプリケーションです。読み取るためには TWAIN ドライバが必要です。ワンプッシュでスキャナから原稿を画像として読み取りできます。



次の場合、ScanSnap mode は使用できません。

- スキャナを fi-5000N に接続した場合
- スキャナを SCSI ケーブルで接続した場合

本書の「[第5章 いろいろな読み取り方](#)」(P.69) では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法を説明しています。ScandAll PRO の詳細については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.11 スキャナ集中管理機能の紹介

スキャナ集中管理機能について紹介します。

スキャナ集中管理機能とは、大量のスキャナを一元管理できる機能です。スキャナ集中管理機能を使用すると、次のことができるようになります。

- 複数台のスキャナの設定情報やドライバなどを、一括してアップデートできます。
スキャナごとのアップデートが不要となり、大量のスキャナをアップデートするための作業時間を大幅に短縮できます。
- 消耗品の交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナがないかなどを監視できます。
スキャナから消耗品交換やエラーを通知するため、スキャナの稼働状況を簡単に確認できます。

スキャナ集中管理機能を使用するためには、Scanner Central Admin が必要です。

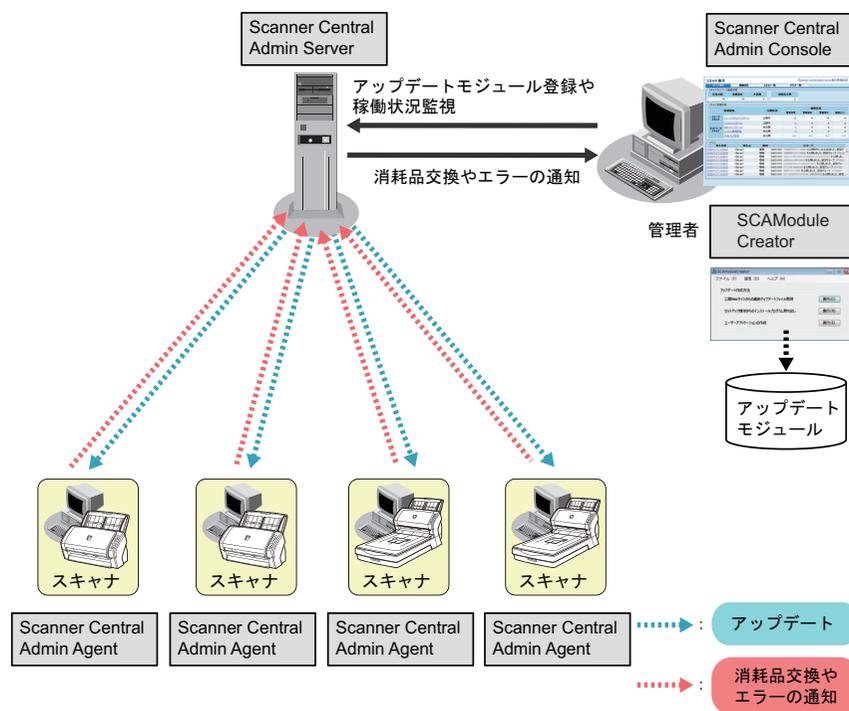
Scanner Central Admin は、本製品に添付されている4つのアプリケーションから構成されています。

- Scanner Central Admin Server
スキャナを集中管理するコンピュータにインストールするアプリケーションです。
スキャナを Scanner Central Admin Server に登録して、一元管理を行う集中管理システムを構築できます。
- Scanner Central Admin Console
アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピュータにインストールするアプリケーションです。
管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
また、スキャナから通知された消耗品交換やエラーを、画面上で確認できます。
- Scanner Central Admin Agent
スキャナを接続しているコンピュータにインストールするアプリケーションです。
スキャナが Scanner Central Admin Server と連携するために必要となります。

Scanner Central Admin Server と連携すると、スキャナの設定情報などのアップデートをスキャナに適用できます。
また、スキャナから消耗品交換やエラーを通知できます。

● SCAModuleCreator

Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールを作成するアプリケーションです。
アップデートモジュールを作成する場合にだけ必要となります。



スキャナ集中管理機能の詳細については、Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイドを参照してください。

第2章 原稿のセット方法

この章では、原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

2.1 ADF での原稿のセット	41
2.2 フラットベッドでの原稿のセット [fi-6230Z/fi-6240Z]	43
2.3 ADF で読み取りできる原稿	44

2.1 ADF での原稿のセット

ADF に原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備



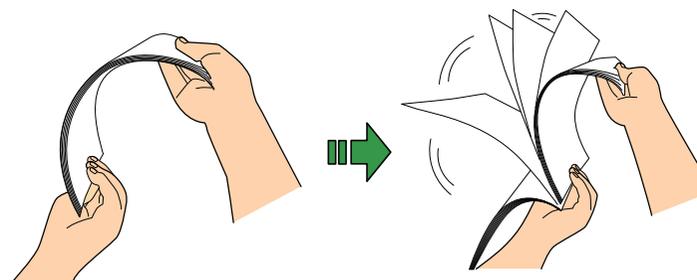
スキャナが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細については、「[2.3 ADF で読み取りできる原稿](#)」(P.44) を参照してください。

1 原稿を確認します。

- 1 セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。幅の違う原稿の場合は、「[混載条件](#)」(P.50) および「[幅の違う原稿を読み取りたいとき](#)」(P.72) を参照してください。
- 2 原稿の枚数を確認します。セットできる原稿枚数は 50 枚までです（厚さ 80g/m² (69kg/ 連) の原稿、原稿の総厚みが 5mm 以下)。詳細については、「[セットできる原稿の枚数](#)」(P.47) を参照してください。

2 原稿をさばきます。

- 1 原稿を 5mm 以下の厚みで取り出します。
- 2 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3 回さばきます。



- 3 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。
- 4 すべての原稿に対して、手順 1～3 を行います。
- 5 原稿の端をそろえます。



原稿のさばき方の詳細については、Error Recovery Guide を参照してください。Error Recovery Guide は、Setup DVD-ROM に収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

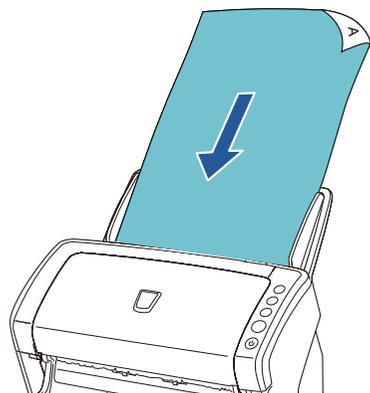
用語集

原稿のセット方法

1 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を引き上げます。
詳細については、「1.6 ADF 給紙シュートの設定」(P.28)を参照してください。

2 原稿の長さに合わせて、スタッカーやスタッカーエクステンションを起こします。
詳細については、「1.7 スタッカーの設定」(P.29)を参照してください。

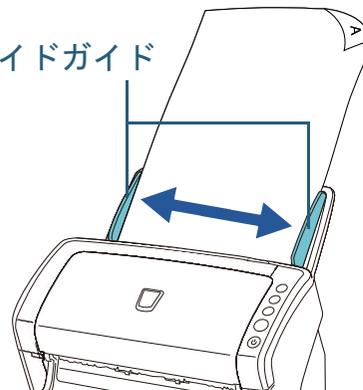
3 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が ADF 給紙シュート側(下向き)になるように、原稿をセットします。



クリップ、ステープルは取り除いてください。マルチフィードやピックアップが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。

4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。

サイドガイド



5 スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

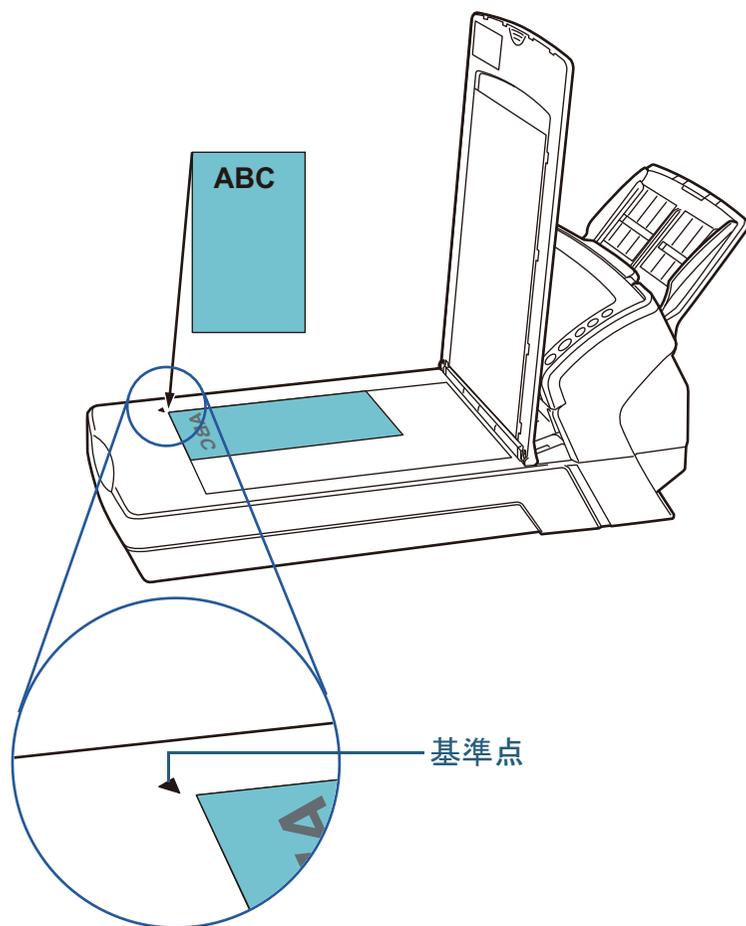
スキャナの動作設定

付録

用語集

2.2 フラットベッドでの原稿のセット [fi-6230Z/fi-6240Z]

- 1 ドキュメントカバーを開きます。
ドキュメントカバーを開く方法については、「1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]」(P.27)を参照してください。
- 2 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。
- 3 ドキュメントカバーを閉じます。
ドキュメントカバーを閉じる方法については、「1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]」(P.27)を参照してください。
- 4 スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

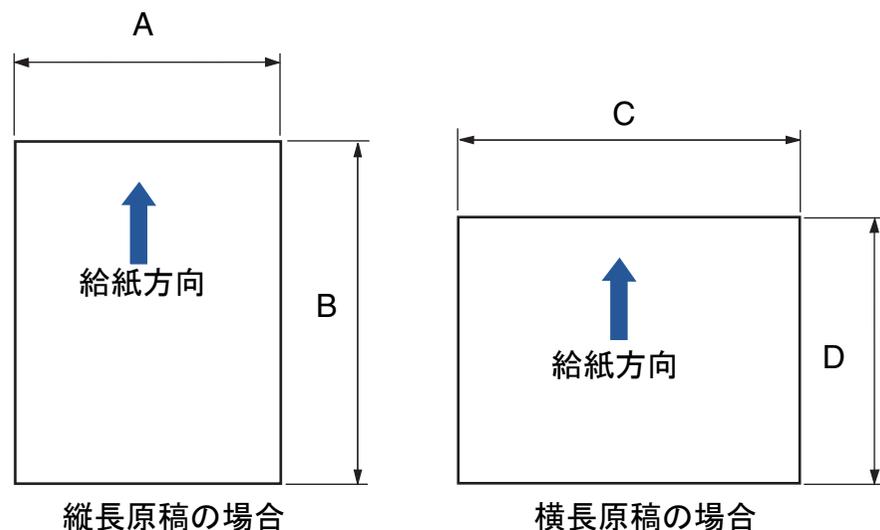
付録

用語集

2.3 ADF で読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。



A : 52 ~ 216mm (2.1 ~ 8.5 インチ)

B : 74 ~ 355.6mm (2.9 ~ 14.0 インチ) (*1)

C : 74 ~ 216mm (2.9 ~ 8.5 インチ)

D : 52 ~ 355.6mm (2.1 ~ 14.0 インチ) (*1)

*1 : 長尺帳票読み取り時は、給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）まで読み取り可能です。

読み取りできる原稿の条件

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/ 連)
- A8 サイズは 127 ~ 209g/m² (110 ~ 180kg/ 連)
- プラスチックカードは 1.4mm 以下 (*1)

*1 : fi-6140Z/fi-6240Z の 200dpi 読み取り（60ppm）の場合、横送りでは、厚さ 1.25mm 以下となります。

厚さ 1.4mm 以下のプラスチックカードを読み取りできるように Software Operation Panel で設定できます。詳細については、「[厚いプラスチックカードを読み取る機能の設定（搬送モード）](#) [fi-6140Z/fi-6240Z]」（P.185）を参照してください。

事前の注意

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿

● トレーシングペーパー

● コート紙

● カーボン紙

● 感光紙

● 端にミシン目のある原稿

● 四角形ではない原稿

● 非常に薄い原稿

● 写真（印画紙）

また、次の原稿は読み取らないでください。

● クリップまたはステープルが付いた原稿

● インクが乾いていない原稿

● A8 サイズより小さい原稿

● 幅が 216mm（8.5 インチ）より大きい原稿

● 紙 / プラスチックカード以外のもの：布、金属箔、OHP フィルムなど

● 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類



- ノーカーボン紙は、ブレイキローラや原稿を送るローラ類（ピックローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、次のことに注意してください。

清掃

：原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレイキローラとピックローラを清掃してください。

清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」(P.112)を参照してください。

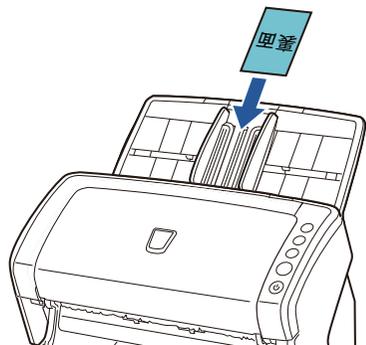
部品の交換

：ブレイキローラとピックローラの寿命は、中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレイキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にブレイキローラやピックローラに接触すると、ブレイキローラやピックローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。



- プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - プラスチックカードを ADF で読み取る場合は、ADF 給紙シュートに、最大 3 枚まではセットできます。ただし、プラスチックカードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、1 枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
- 次の仕様のプラスチックカードを使用してください。
 - ISO7810 ID-1 タイプに準拠したプラスチックカード
 - サイズ : 85.6 × 53.98mm
 - 厚さ : 1.4mm 以下 (*1)
 - 素材 : ポリ塩化ビニル (PVC) またはポリ塩化酢酸ビニル (PVCA)

事前に搬送できることを確認後、ご使用ください。

*1 : fi-6140Z/fi-6240Z の 200dpi 読み取り (60ppm) の場合、横送りでは、厚さ 1.25mm 以下となります。厚さ 1.4mm 以下のプラスチックカードを読み取りできるように Software Operation Panel で設定できます。詳細については、「[厚いプラスチックカードを読み取る機能の設定 \(搬送モード\)](#) [fi-6140Z/fi-6240Z]」 (P.185) を参照してください。

- 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。
- プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。



- インプリンタを接続した場合は、プラスチックカードを読み取りできません。
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。

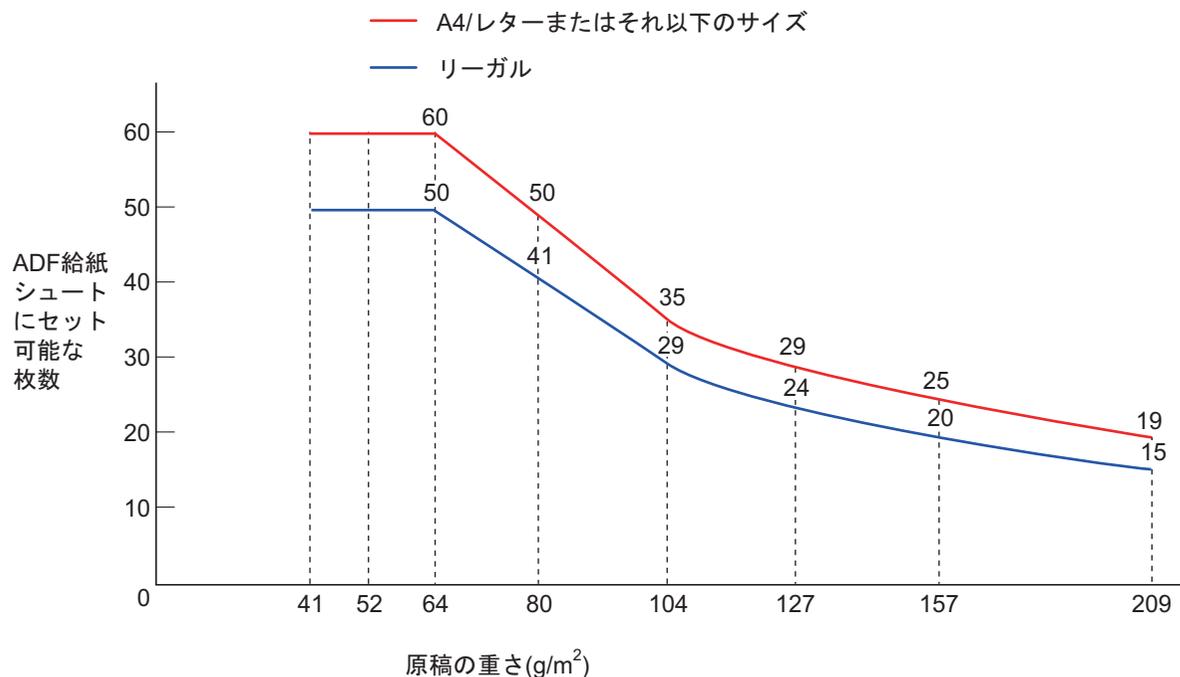


- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するために「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」 (P.112) を参照してください。
- マルチフィード、ピックアップミス、原稿づまりが頻繁に発生する場合は、「[8.3 困ったときには](#)」 (P.136) を参照してください。
- ADF で原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。



セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



厚さの単位	変換表									
g/m ² (坪量)	41	52	64	75	80	90	104	127	157	209
lb	11	14	17	20	21	24	28	34	42	56
kg (連量)	35	45	55	64.5	69	77.5	90	110	135	180

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

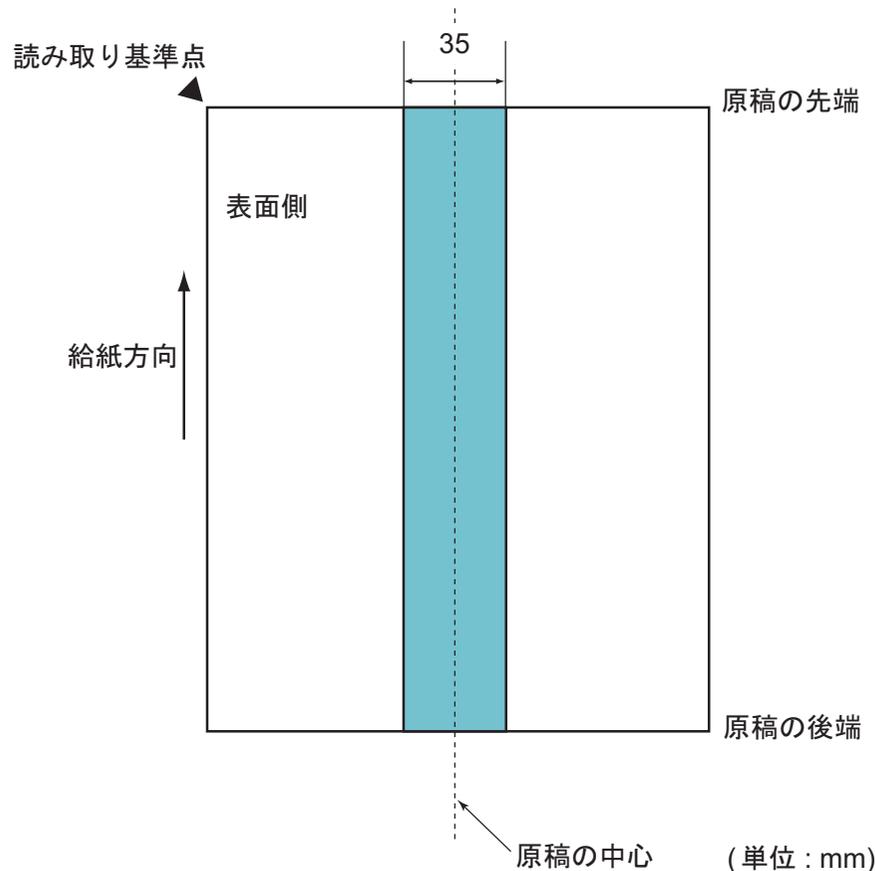
スキャナの動作設定

付録

用語集

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があるとエラーの原因となる場合があります。このような原稿を読み取る場合は、フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z] を使ってください。



この条件は、原稿がピックアップ幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。



原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

マルチフィードを正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって ADF に送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。マルチフィード検出は原稿の重なり、原稿の長さ、またはこれらを組み合わせてチェックします。検出を正しく行うには、次に示す条件が必要です。

原稿の重なりを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/連) (0.05 ~ 0.26mm)
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。図 1 を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図 1 を参照してください。

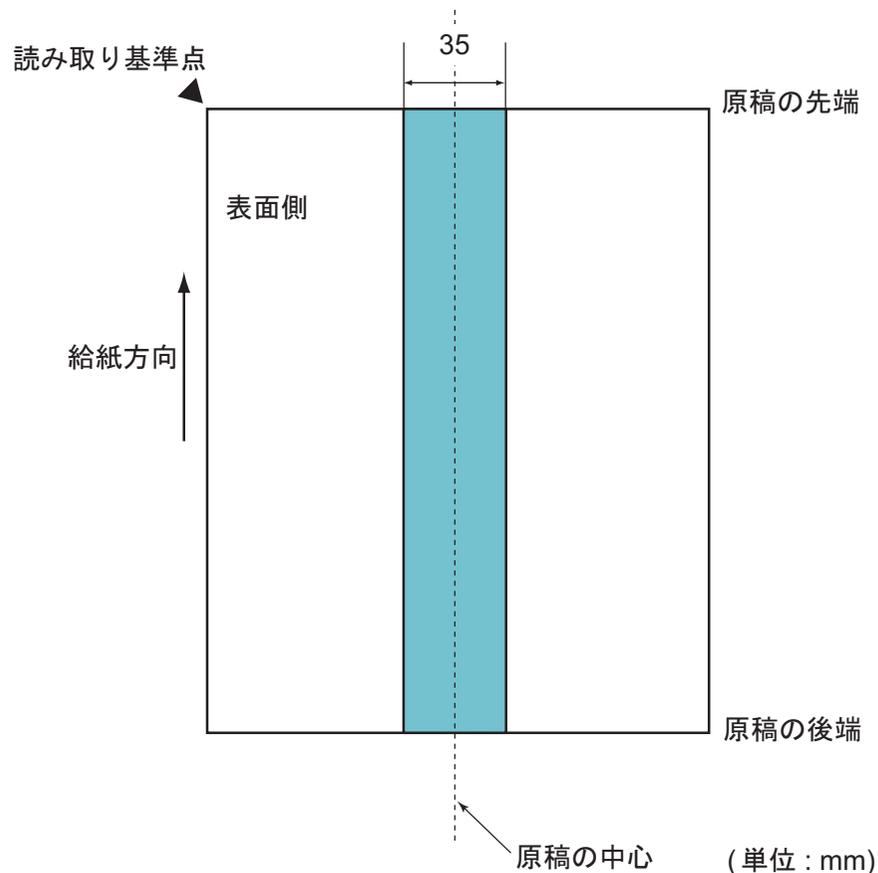
原稿の長さを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。
- 原稿の長さのばらつき：1% またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。図 1 を参照してください。

原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さおよび長さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/連) (0.05 ~ 0.26mm)
- 原稿の長さのばらつき：1% またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。図 1 を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図 1 を参照してください。

図1



- 原稿によっては、マルチフィードの検出率が低下する場合があります。原稿の先端から約30mmは、マルチフィードを検出できません。
- 図1の領域でマルチフィードを検出しない長さ（給紙方向の長さ）を Software Operation Panel で設定できます。詳細については、「9.6 マルチフィード検出に関する設定」(P.186) を参照してください。



- この条件は、原稿がピックアップ幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
- 原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。

混載条件

厚み / 摩擦係数 / サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。

読み取り方法については、「幅の違う原稿を読み取りたいとき」(P.72)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/ 連)

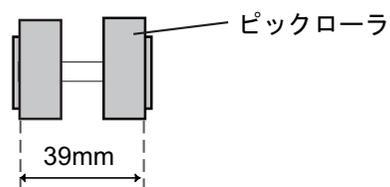
原稿の摩擦係数

原稿に使う用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。いろいろな用紙メーカー / 銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。

推奨摩擦係数は次のとおりです。
0.35 ~ 0.60 (紙間摩擦係数参考値)

原稿のセット位置条件

中央約 39mm のピックアップ幅にすべての原稿がかかるサイズの組み合わせで使用してください。



原稿のサイズ

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。

事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することを推奨します。



- 異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対して、サイドガイドが機能しないので、スキューしやすくなります。
- 「長さの違いを検出」および「重なりと長さの違いを検出」によるマルチフィード検出を使用しないでください。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

定型サイズの混載での組み合わせ例

サイズの異なる原稿を混載する場合は、次の範囲が混載可能な組み合わせの目安となります。

ただし、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。

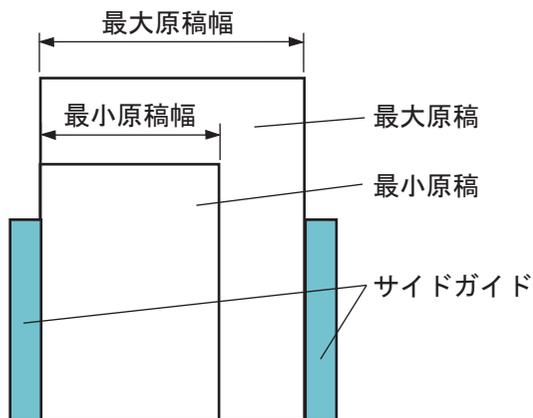
事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することを推奨します。

最大原稿サイズ		LTR 縦 A3キャリア シート	A4 縦 A5 横	B5 縦 B6 横	A5 縦 A6 横	B6 縦 B7 横	A6 縦 A7 横	B7 縦 B8 横	A7 縦 A8 横	B8 縦	A8 縦
	幅 (mm) (*1)	216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小 原稿 サイズ	LTR 縦 A3キャリアシート	216									
	A4 縦 A5 横	210									
	B5 縦 B6 横	182	混載可能範囲								
	A5 縦 A6 横	149									
	B6 縦 B7 横	129									
	A6 縦 A7 横	105									
	B7 縦 B8 横	91									
	A7 縦 A8 横	74.3									
	B8 縦	64.3									
	A8 縦	52.5									

LTR : レターサイズ

- TOP
- 目次
- 索引
- はじめに
- スキャナをお使いになる前に
- 原稿のセット方法
- 読み取り条件の設定
- 操作パネルの操作方法
- いろいろな読み取り方
- 日常のお手入れ
- 消耗品の交換
- 困ったときには
- スキャナの動作設定
- 付録
- 用語集

*1：最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



B8 縦サイズ、A8 縦サイズは混載できません。

自動用紙サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 長方形ではない原稿
- 原稿全体や端が黒い原稿

また、次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2 (45kg/連) 以下の薄い原稿
- 原稿全体や端が暗い原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

■原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216 × 297mm)
- A3 (297 × 420mm) (*1)
- A4 (210 × 297mm)
- A5 (148 × 210mm)
- A6 (105 × 148mm)
- B4 (257 × 364mm) (*1)
- B5 (182 × 257mm)
- B6 (128 × 182mm)
- はがき (100 × 148mm)
- 名刺 (91 × 55mm、55 × 91mm)
- レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
- ダブルレター (11 × 17 インチ、279.4 × 431.8mm) (*1)
- 写真E版 (83 × 117mm、117 × 83mm)
- 写真L版 (89 × 127mm、127 × 89mm)
- 写真LL版 (127 × 178mm、178 × 127mm)
- カスタムサイズ
幅 : 25.4 ~ 216mm (1 ~ 8.5 インチ)
長さ : 25.4 ~ 297mm (1 ~ 11.69 インチ)

*1 : 2つ折りにして読み取ります。

■原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。
一般的なオフィス用紙

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

127g/m² まで (110kg/ 連まで)

2つ折りにして読み取る場合の使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

63.5g/m² まで (55kg/ 連まで)

事前の注意

次のことに注意してください。

- A3 キャリアシートは同時に最大3枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用するアプリケーションによっては、メモリが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を下げて読み取ってください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよびA3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷がA3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下でA3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損したA3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損、または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC用紙(再生紙)を50枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。PPC用紙(再生紙)は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿(写真・はがきなど)を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。A3 キャリアシートには、1枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。

第3章 読み取り条件の設定

この章では、スキャナドライバの設定項目について説明します。

3.1 TWAIN ドライバの場合	55
3.2 ISIS ドライバの場合	59

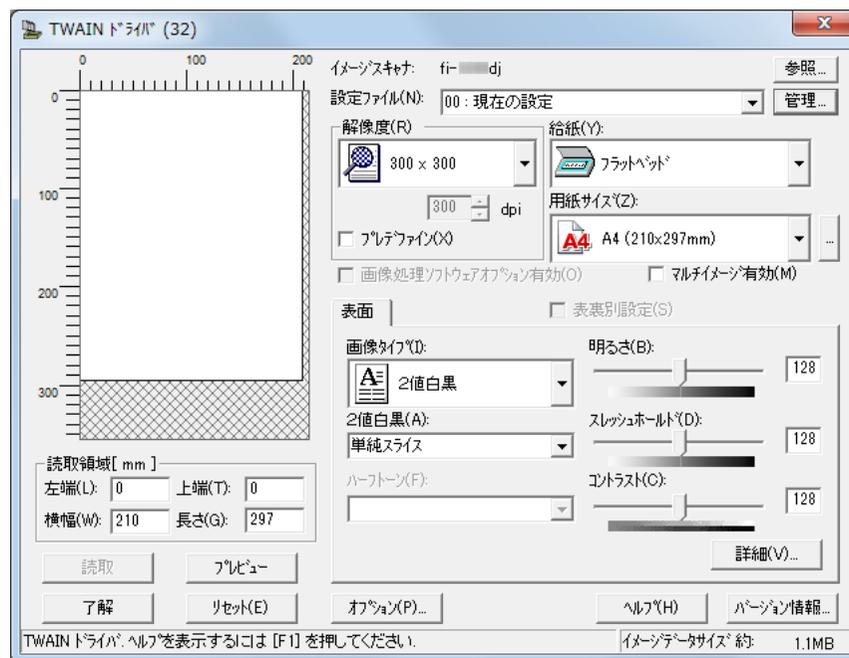
3.1 TWAIN ドライバの場合

TWAIN ドライバは、TWAIN 規格に準拠したドライバです。TWAIN 規格に準拠したアプリケーションを使用して、スキャナから読み取りできます。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。次に、代表的な設定項目について説明します。詳細については、TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。
 定型（リストから選択）およびカスタム指定（50～600dpiの範囲で、1dpi刻みで任意の解像度を指定）ができます。
 また、「プレデファイン」をチェックすると、事前に設定された、「スーパーファイン」、「ファイン」、「ノーマル」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りできます。
 プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

給紙

原稿の読み取り面を設定します。
 設定できる読み取り面は、次のとおりです。

- ADF 表面
- ADF 両面
- 長尺帳票表面
- 長尺帳票両面
- フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z]
- ADF 裏面
- 見開き
- 切り出し表面
- 切り出し両面

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。
 [...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録できます。
 また、表示されるリスト内の項目の並び順を変更することもできます。

画像タイプ

読み取った画像のタイプを指定します。

項目	説明
2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。
グレースケール	読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット（16階調）のどちらかを選びます。
カラー	カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色のどれかから選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認できます。
現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示
します。

[閉じる] / [了解] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[ヘルプ] ボタン

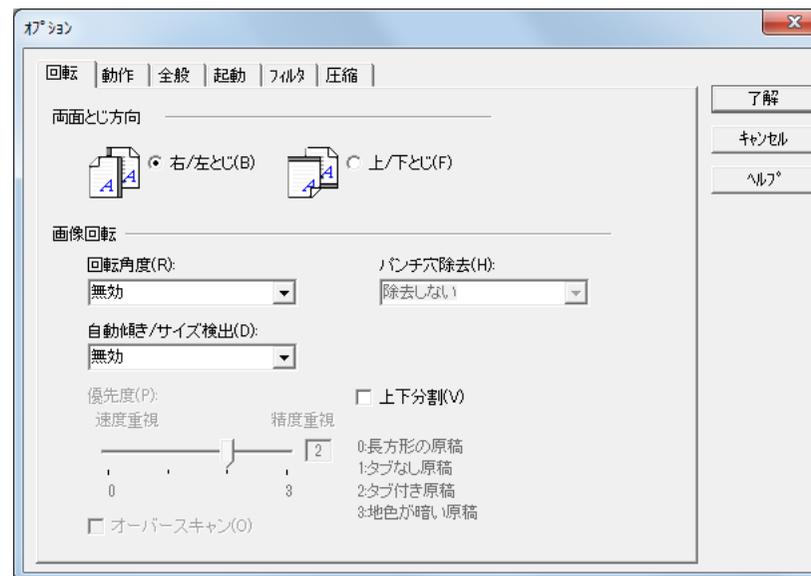
TWAIN ドライバのヘルプを表示します。「F1」キーでも表示
できます。

[バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

次の画面で、オプション機能を設定します。



- 「回転」タブ
両面原稿のとじ方向、画像の回転、原稿の傾き補正、原稿サイズ検
出、後端検出、オーバースキャン、パンチ穴除去、および上下分割
などを設定します。
- 「動作」タブ
キャッシュ、マルチフィード検出、プレピック制御、ペーパープロ
テクション、およびブランクページスキップなどを設定します。
- 「インプリンタ（エンドーサ）」タブ
インプリンタ（別売）の印字設定を行います。
インプリンタ搭載時だけ表示されます。
- 「全般」タブ
「TWAIN ドライバ（32）」画面に表示される単位を設定します。
インチ（inch）、ミリ（mm）、またはピクセル（Pixel）の中から選
択します。
- 「起動」タブ
スキャナ上の操作パネルに関する設定を行います。

はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

●「フィルタ」タブ

画像処理フィルターの設定を行います。

項目	説明
デジタルエンコーサ	読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。
縁消し	読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

●「圧縮」タブ

JPEG 転送時の圧縮率を設定します。

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。
ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転、輪郭処理などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。
「TWAIN ドライバ (32)」画面で設定した内容を、「設定ファイル」に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更できます。

[参照] ボタン

接続スキャナ一覧を表示します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

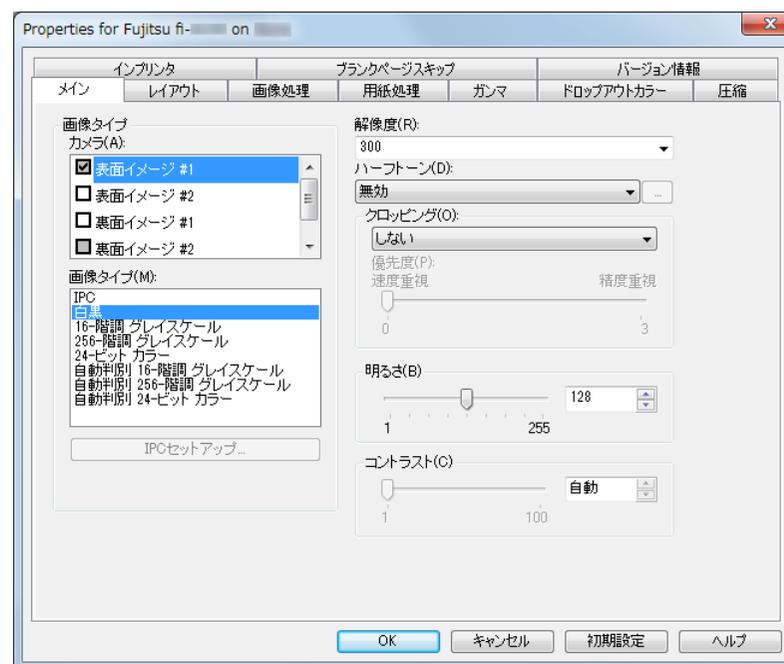
3.2 ISIS ドライバの場合

ISIS ドライバは、ISIS 規格に準拠したドライバです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションを使用して、スキャナから読み取りできます。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。
詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



ISIS ドライバの設定は、この画面で行います。
詳細については、ISIS ドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

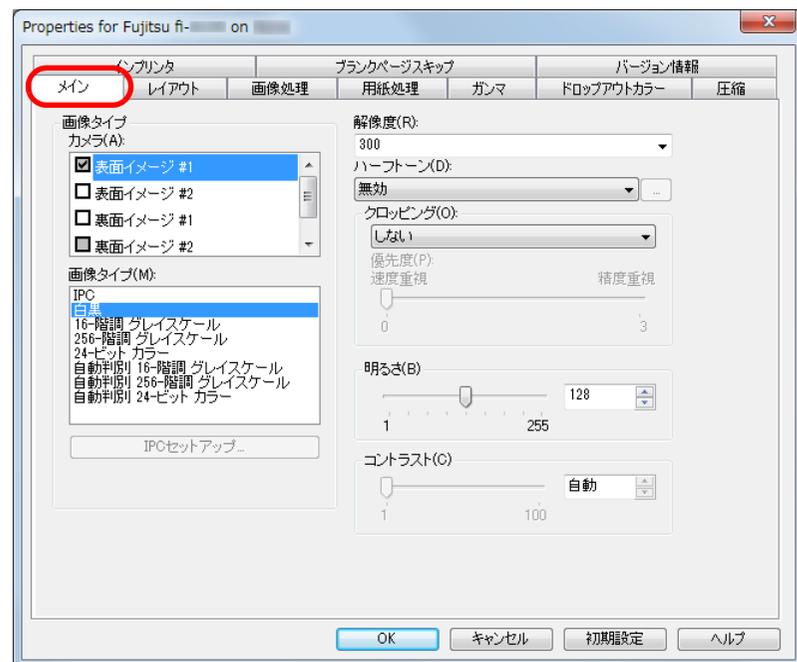
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

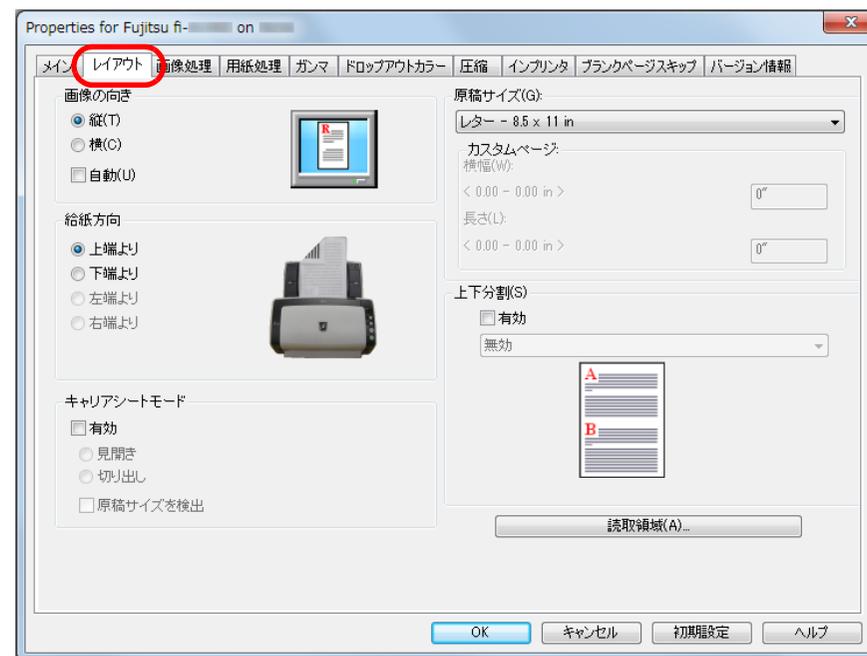
用語集

「メイン」タブ



原稿の読み取り面、色（カラー/グレースケール/白黒）、解像度、明るさ、およびコントラストなどが設定できます。

「レイアウト」タブ



原稿の読み取る向き、給紙方向、キャリアシートモード、原稿のサイズ、および上下分割などが設定できます。
[読取領域] ボタンをクリックすると、「読取領域」画面が表示されます。



「画像の向き」の「自動」は、ScandAll PRO をインストールしている場合だけ設定できます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

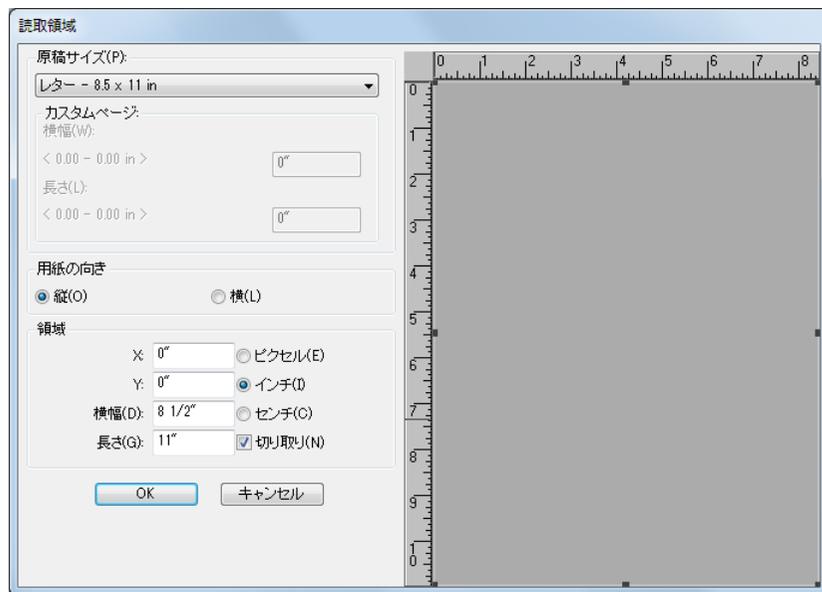
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

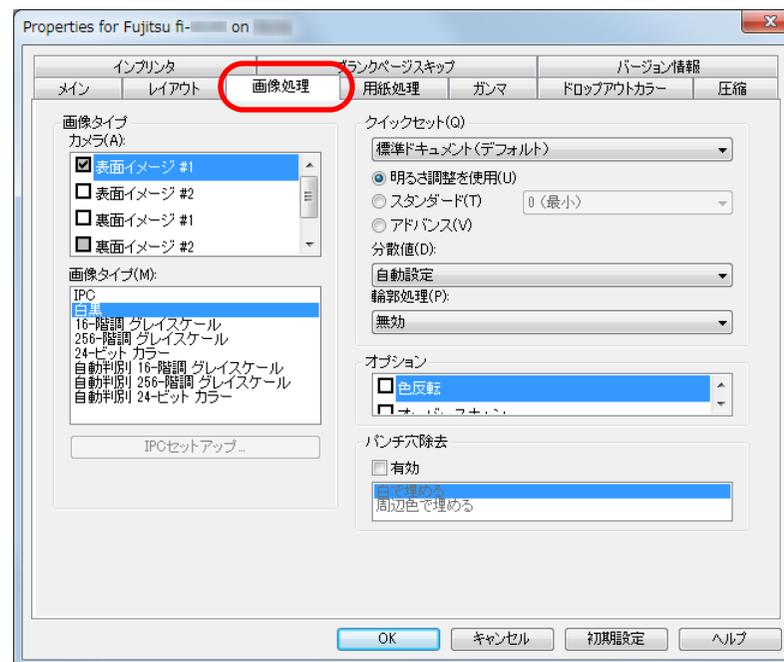
用語集

「読取領域」画面



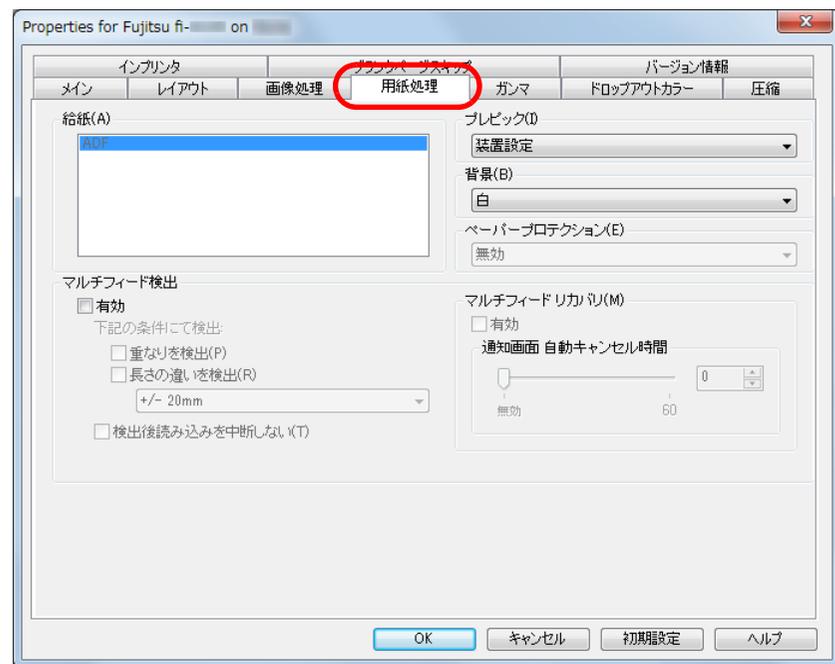
設定されている原稿サイズに対して読み取り領域を指定できます。

「画像処理」タブ



読み取りでよく使用される設定パターンを選択できます。また、パンチ穴除去の設定ができます。

「用紙処理」タブ

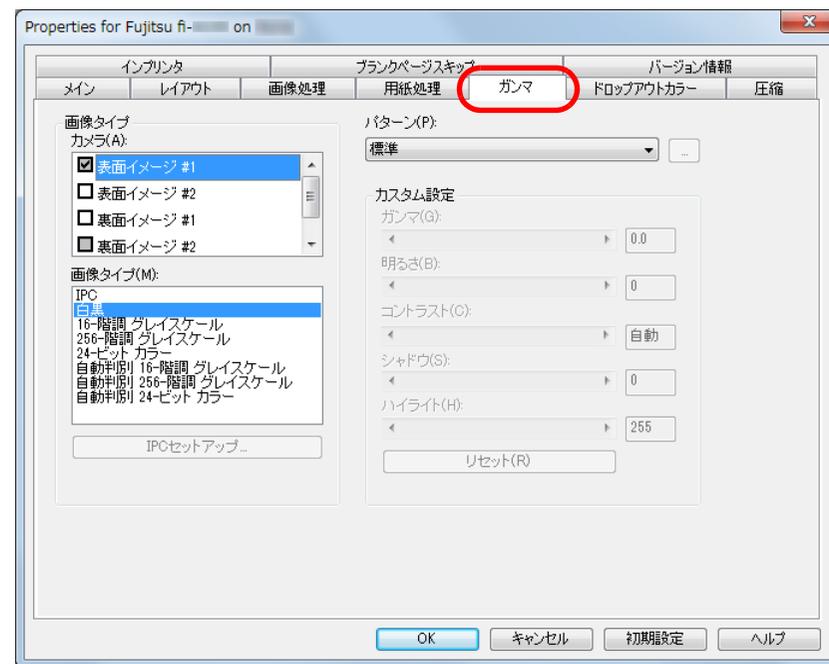


給紙方法を設定できます。
設定できる給紙方法は、次のとおりです。

- 自動設定 [fi-6230Z/fi-6240Z]
- ADF
- フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z]

また、プレピック（読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置まで搬送する）、ペーパープロテクション、マルチフィード検出などの原稿読み取り時の動作が設定できます。

「ガンマ」タブ



ガンマパターンを設定できます。また、カスタム設定でガンマ値、明るさなどの詳細な設定ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

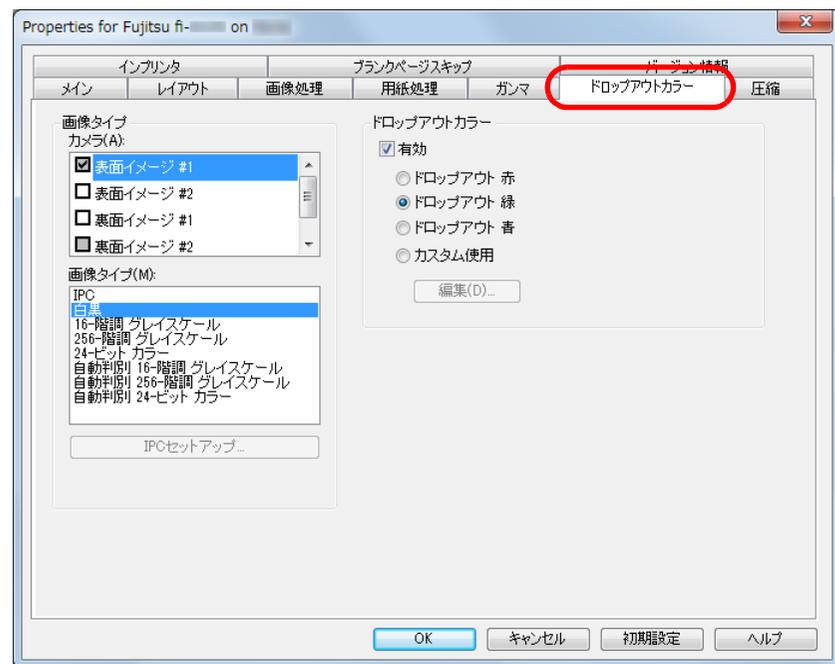
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

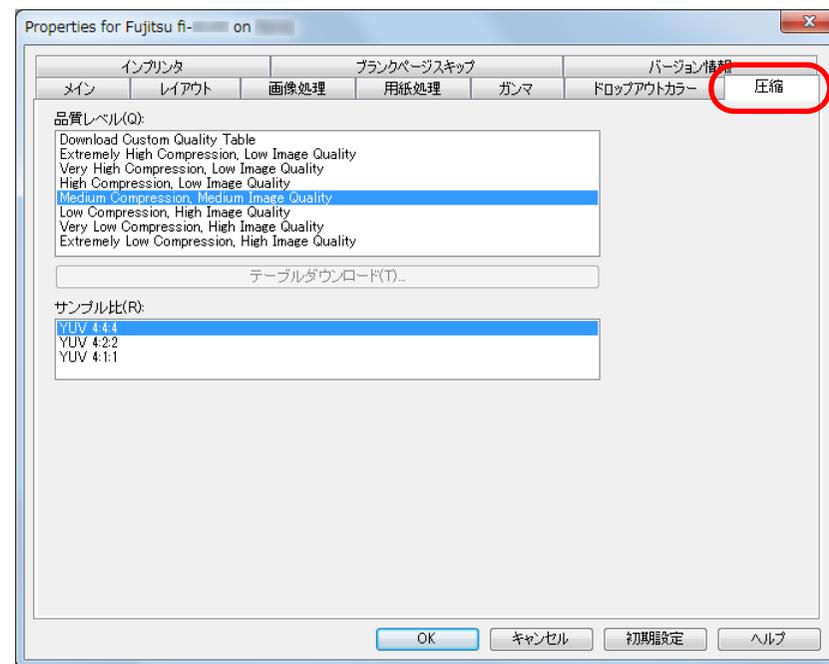
用語集

「ドロップアウトカラー」タブ



原稿読み取り時にドロップアウトしたい色を選択します。

「圧縮」タブ



カラー/グレイスケールで読み取る場合の、画像の圧縮度合いと画質が設定できます。
また、圧縮に使用するサンプル比が設定できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

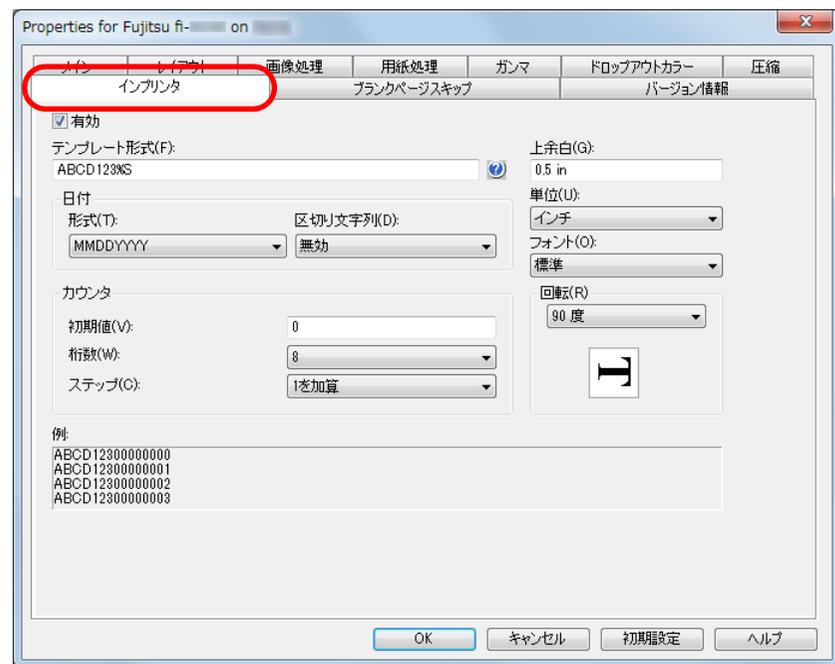
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

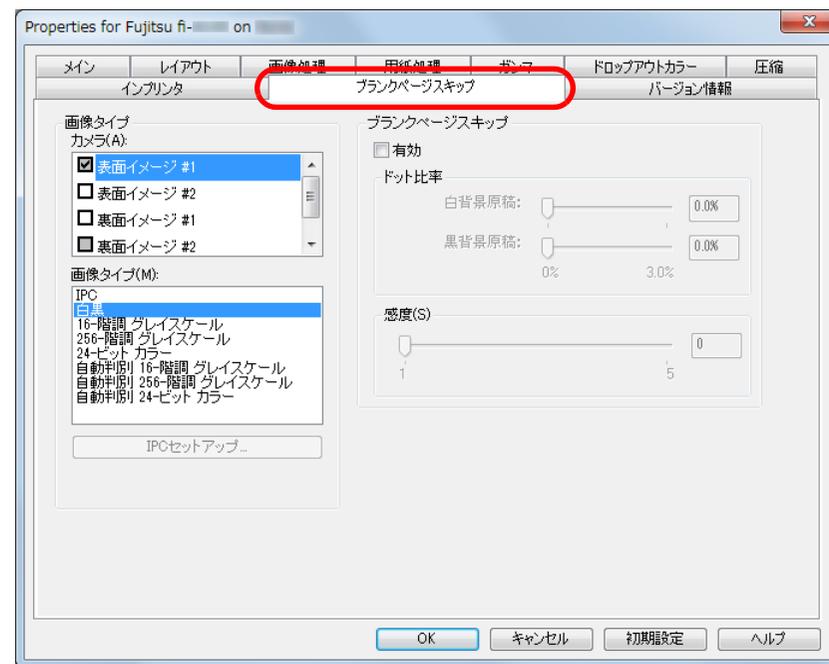
用語集

「インプリンタ」タブ



インプリンタ（別売）の印字設定を行います。
インプリンタ搭載時だけ表示されます。

「ブランクページスキップ」タブ



原稿読み取り時のブランク（空白）ページの処理が設定できます。

原稿を白黒で読み取る場合は、ドット比率で白背景と黒背景を別に指定して、ブランク（空白）ページを処理できます。原稿をグレースケール/カラーで読み取る場合は、感度を指定して白背景と黒背景共通で、ブランク（空白）ページを処理できます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

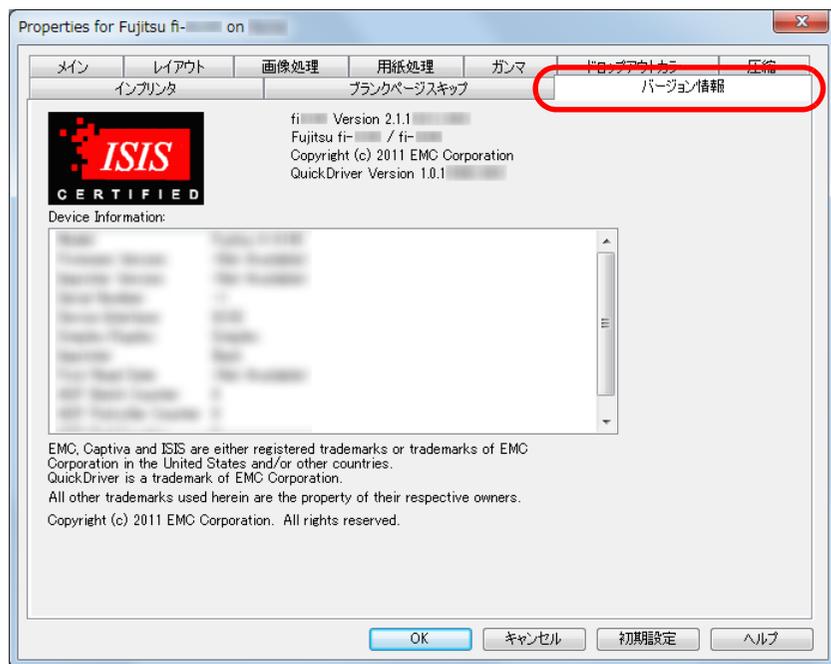
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

「バージョン情報」タブ



ISIS ドライバのバージョン情報や、コンピュータに接続されているスキャナの情報が表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第4章 操作パネルの操作方法

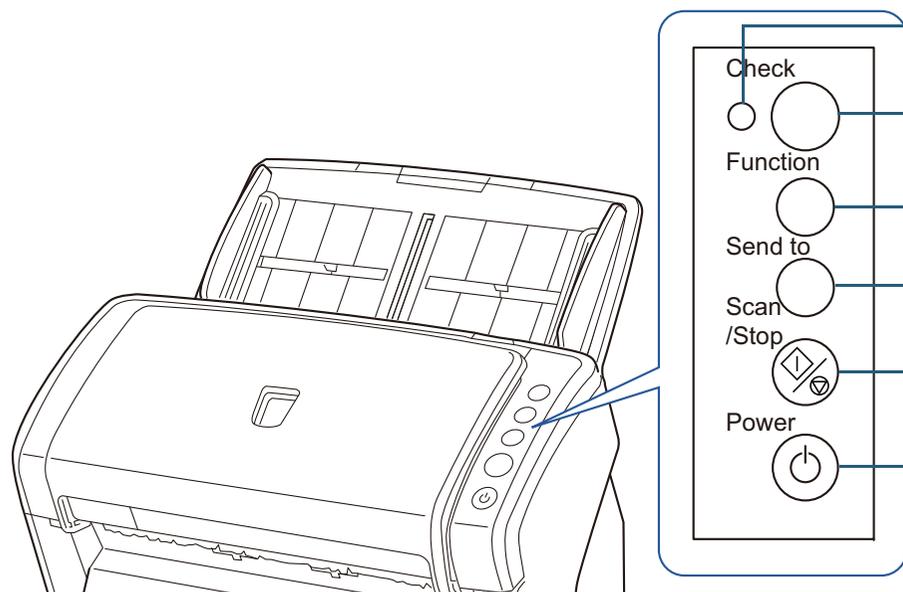
この章では、操作パネルの操作方法について説明します。

4.1 操作パネルをお使いになる前に	67
--------------------------	----

4.1 操作パネルをお使いになる前に

操作パネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。

操作パネルの名称と働き



Check ランプ（LED）

エラーが発生しているときは点灯（橙）します。
ADFが開いている状態のときは点滅します。

ファンクションナンバーディスプレイ

待機状態やエラー状態などのスキヤナの状態を表示します。
省電力モードに切り替わると、ファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。

[Function] ボタン

[Send to] ボタンを押したときに起動するアプリケーションの番号（1～9/C）を切り替えられます。

[Send to] ボタン（*1）

関連付けられたアプリケーションを起動します。
エラー表示を解除できます。
読み取りを一時停止できます（*2）。

[Scan/Stop] ボタン（*1）

関連付けられたアプリケーションを起動します。
エラー表示を解除できます。
読み取り中に読み取りをキャンセルできます。
読み取りの一時停止状態から再開できます。

[Power] ボタン

電源を投入 / 切断します。
スキヤナの電源が投入されているときは点灯（緑）します。

*1 : [Scan/Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、Setup DVD-ROM で提供されている TWAIN ドライバのヘルプおよび「[スキヤナのボタンで読み取りを開始したいとき](#)」（P.105）を参照してください。

*2 : TWAIN ドライバでの原稿の読み取り中に [Send to] ボタンを押すと、その読み取り中の原稿が1枚読み取り終わったあとに一時停止します。
ISIS ドライバ / Kofax VRS / ScanSnap mode での原稿の読み取り中に [Send to] ボタンを押すと、その読み取り中の原稿が1枚読み取り終わったあとで読み取りを中止します。



Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。

ファンクションナンバーディスプレイの表示内容

表示内容	説明
8	電源投入直後に表示されます。
P	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。
0	電源の投入後、初期化処理実行中で、かつ初期化処理が終了間近であることを意味します。
1	原稿を読み取れる状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 また、この状態を「レディ状態」と呼びます。
ファンクションナンバー (1 など) 点滅	マルチフィード検出後、ファンクションナンバーが点滅状態となります。 これは、重なりパターンを記憶するかどうかの切り替え表示中であることを意味します。 詳細については、「 決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき 」(P.109)を参照してください。
c 点滅	レディ状態で ADF が開かれたことを意味します。 このとき Check ランプ (LED) も点滅します。 ADF を閉じるとレディ状態 (「1」) に戻ります。 ADF を閉じる方法については、「 1.4 ADF の開閉 」(P.26)を参照してください。 ADF を閉じて表示がレディ状態 (「1」) に戻らない場合は、電源を再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きこの表示が発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入された販社 / 販売店または「 PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.209)にお問い合わせください。

表示内容	説明
P 点滅	[Send to] ボタンを押して、読み取りを一時停止したことを意味します。 [Scan/Stop] ボタンを押すと、読み取りの一時停止状態から再開できます。
J U	スキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 「J」または「U」と「エラー番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 一時的エラー 」(P.132)を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態 (「1」) に戻ります。
E F C H A L	スキャナが初期化処理中または原稿の読み取り中に、装置異常 (アラーム) が発生したことを意味します。 「E」、「F」、「C」、「H」、「A」、または「L」のうちの1つと「アラーム番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 装置異常 」(P.133)を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態 (「1」) に戻ります。 このアラームが発生した場合は、電源を再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きアラームが発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入された販社 / 販売店または「 PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.209)にお問い合わせください。
表示なし	省電力モードに切り替わると、ファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。

第5章 いろいろな読み取り方

この章では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

5.1 読み取り方一覧	70
5.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り	71
5.3 読み取り方の変更	85
5.4 読み取り後の動作や処理の設定	95
5.5 読み取り時のスキャナ動作の変更	105

5.1 読み取り方一覧

原稿のいろいろな読み取り方の一覧を次に示します。

種類やサイズが異なる原稿の読み取り

- 「両面を一度に読み取りたいとき」 (P.71)
- 「幅の違う原稿を読み取りたいとき」 (P.72)
- 「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」 (P.73)
- 「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」 (P.76)
- 「長尺帳票を読み取りたいとき」 (P.79)
- 「本を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]」 (P.81)
- 「フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]」 (P.83)

読み取り方の変更

- 「指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき」 (P.85)
- 「白紙ページをスキップして読み取りたいとき」 (P.88)
- 「パンチ穴を除去して読み取りたいとき」 (P.90)
- 「明るめに画像を読み取りたいとき」 (P.92)
- 「ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき」 (P.94)

読み取り後の動作や処理の設定

- 「原稿の傾きを自動で補正したいとき」 (P.95)
- 「原稿の向きを自動で補正したいとき」 (P.97)
- 「原稿を2分割して読み取りたいとき」 (P.99)
- 「マルチイメージ出力したいとき」 (P.101)
- 「読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき」 (P.103)

読み取り時のスキャナ動作の変更

- 「スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき」 (P.105)
- 「マルチフィードを検出したいとき」 (P.107)
- 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき」 (P.109)

次に示す原稿の読み取り方については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- 読み取った画像を PDF 形式で保存したいとき
- パッチコードを使って原稿を分割したいとき
- バーコードを使って原稿を分割したいとき
- ゾーン OCR の認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バーコードの認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バッチスキャンごとに格納フォルダーを作成したいとき
- バッチスキャンを実行して SharePoint Server に格納したいとき
- 中断したバッチスキャンを再開したいとき
- インデックス情報を出力しアプリケーションと連携したいとき

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

5.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り

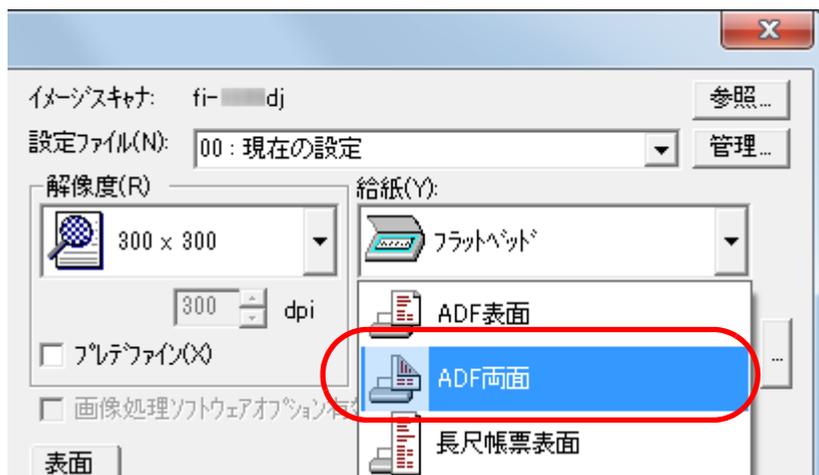
両面を一度に読み取りたいとき

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「給紙」から「ADF 両面」を選択します。



- 4 「用紙サイズ」などを設定します。
- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 変更した内容が反映されます。
- 6 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

幅の違う原稿を読み取りたいとき



幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

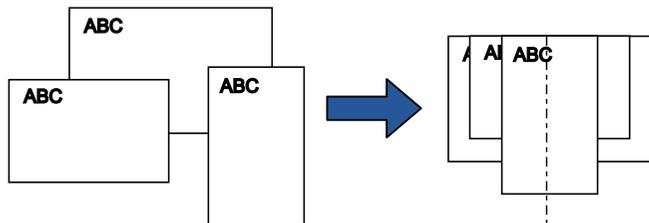


混載読み取りが可能な原稿の条件の詳細については、「混載条件」(P.50)を参照してください。

- 1 読み取り画像の傾きを防止し、原稿の用紙サイズを自動的に検出するために「自動傾き/サイズ検出」で「自動用紙サイズ検出」をクリックします。

設定方法については、「原稿の傾きを自動で補正したいとき」(P.95)を参照してください。

- 2 原稿の先端をそろえます。

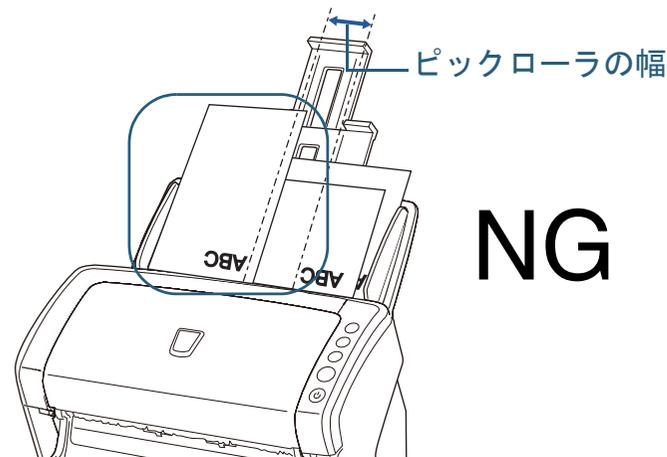
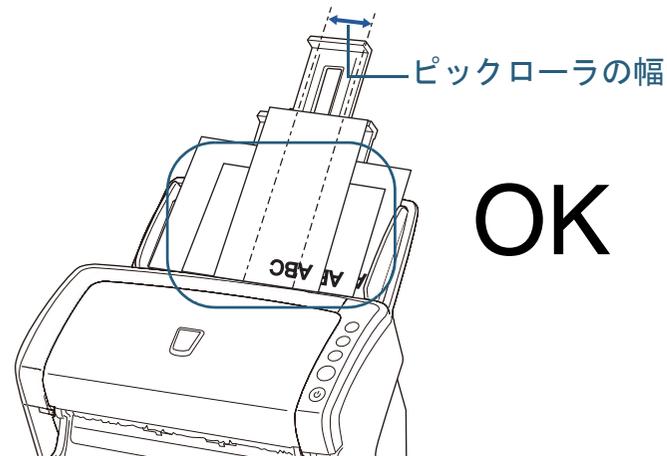


- 3 ADF 給紙シュートの中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。



すべての原稿がピックアップローラ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップローラから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。



- 4 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿を2つ折りにして両面を見開きで読み取り、1つの画像につなぎ合わせて出力します。



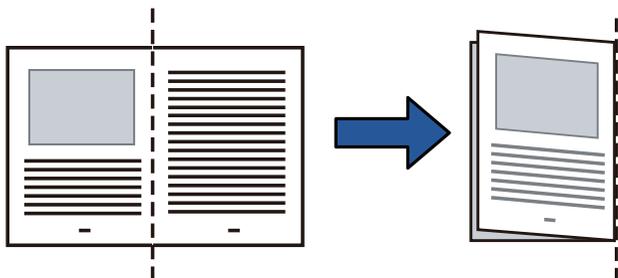
原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。精度を求める読み取りには推奨できません。



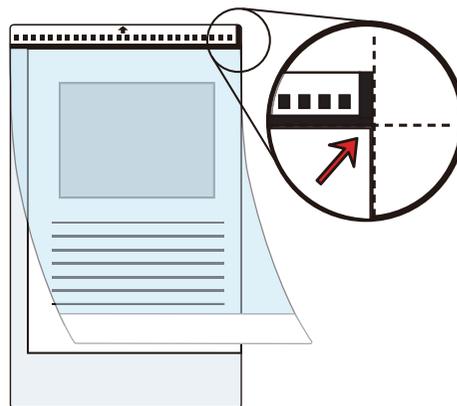
A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、両面を1つの画像につなぎ合わせることもできます。この場合、手順2でA3 キャリアシートにA4 サイズ以下の両面印刷された原稿をはさんでください。

1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

- 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。

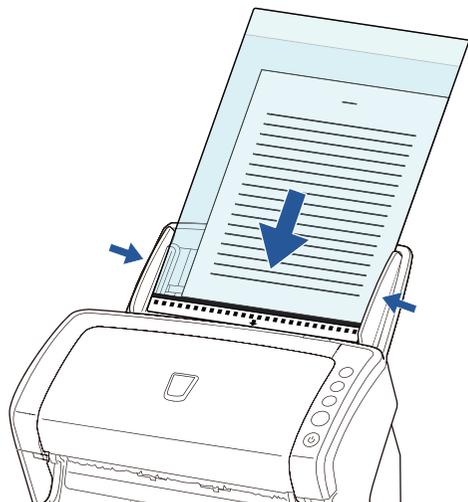


- A3 キャリアシートの表面を開いて、原稿をはさみます。原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。



A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を上にしたときに、右端に太い縦線のある面が、A3 キャリアシートの表面です。

- 2** A3 キャリアシートの表面が ADF 給紙シュート側（下向き）になるようにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュートにセットします。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

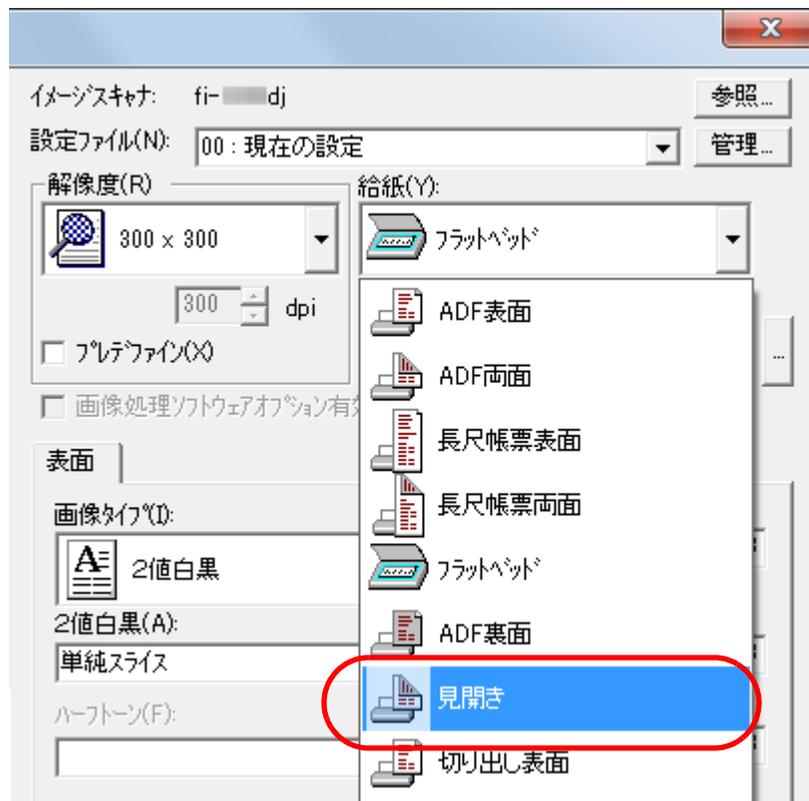


- 3** ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

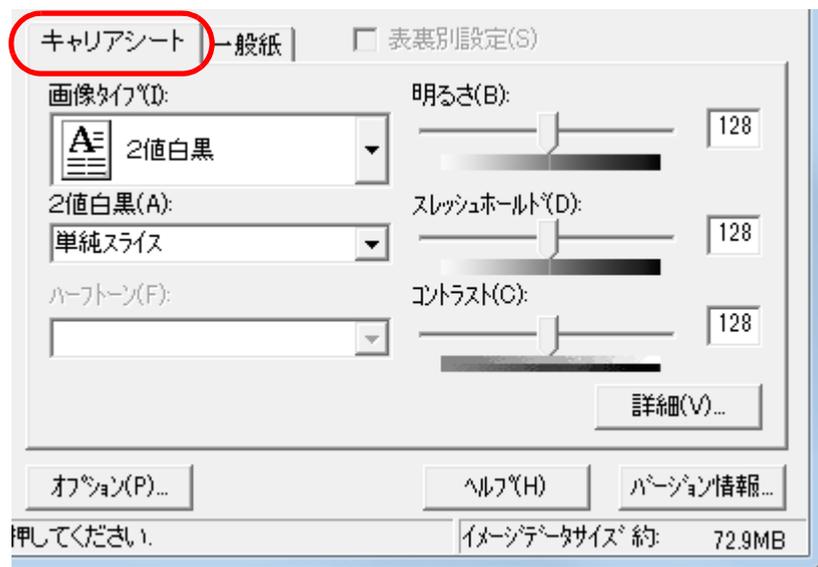


「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 4** 「給紙」から「見開き」を選択します。



5 「キャリアシート」タブをクリックし、画像タイプなどを設定します。

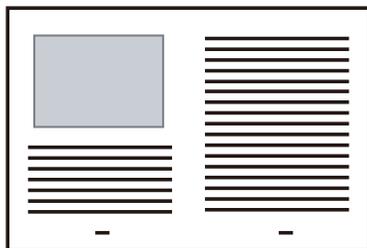


6 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

⇒ 裏と表の原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力されます。

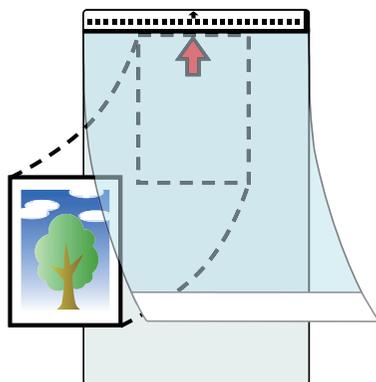


- 画像の見開きの継ぎ目部分に、隙間ができていたり、線がはいったりする場合があります。また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、画像がハの字に傾く場合があります。これらの現象は、次を行うと改善される場合があります。
 - 原稿をしっかりと折り曲げる
 - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端をA3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
 - A3 キャリアシートを読み取るときに、A3 キャリアシートを裏/表逆にセットする
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズ（A3、A4、またはダブルレター）の中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなる場合があります。例：A3 サイズの原稿の中央に、A4 サイズに収まる範囲で絵や文字が印刷されている場合
⇒ B4 サイズで出力されます。原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像の見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分をA3 キャリアシートの端から1mmほど内側にずらしてください。
- 「画像タイプ」を「2値白黒」にしたとき、原稿の影によって画像の端が黒くなる場合があります。

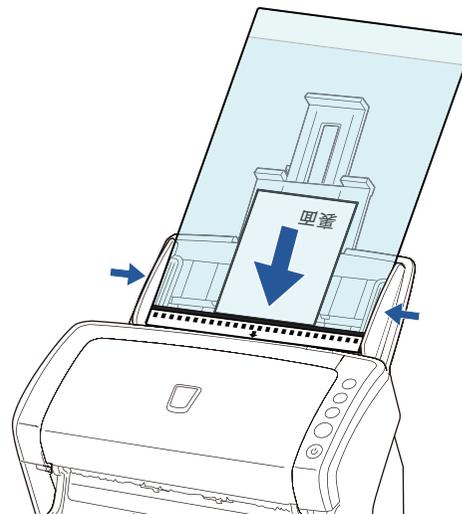
写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき

A3 キャリアシートを使用すると、傷つけない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取れます。

- 1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。
A3 キャリアシートを開いて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上側を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



- 2 A3 キャリアシートにセットした原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート側（下向き）になるようにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュートにセットします。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



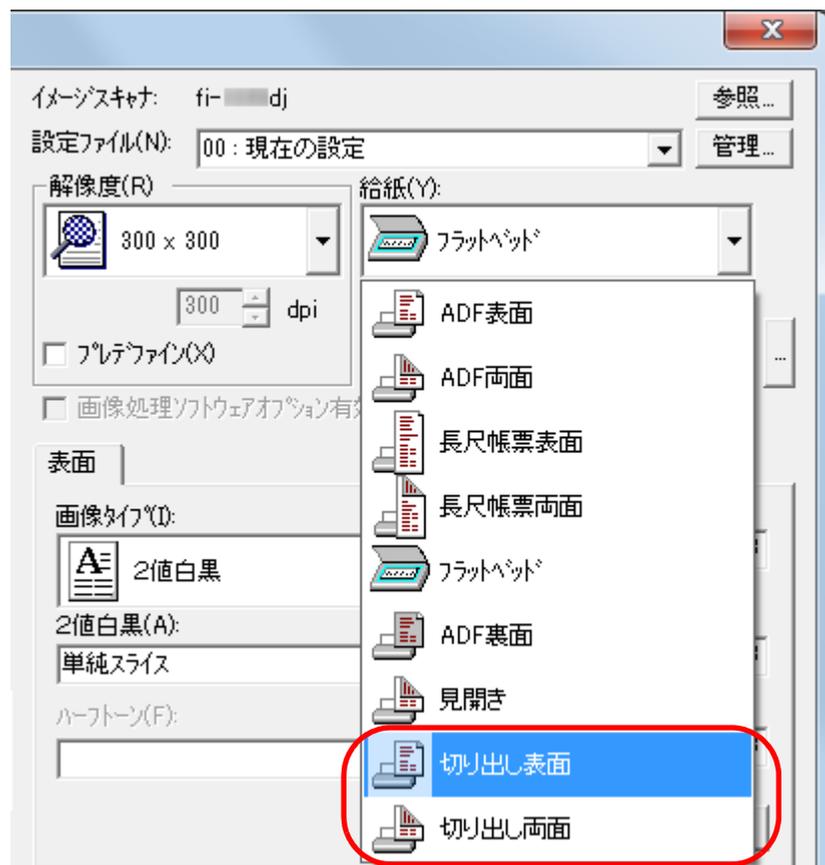
- 3 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



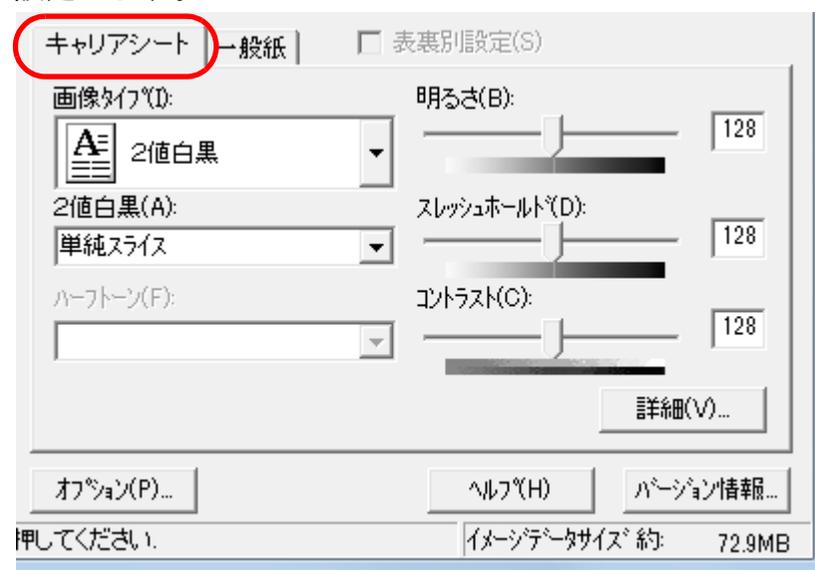
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

4 「給紙」から「切り出し表面」または「切り出し両面」を選択します。

片面読み取りの場合は「切り出し表面」を選択し、両面読み取りの場合は「切り出し両面」を選択します。



5 「キャリアシート」タブをクリックし、画像タイプなどを設定します。



6 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

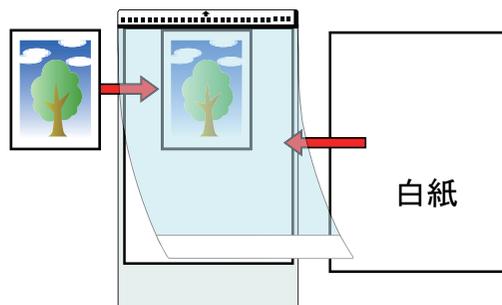


- 画像は、「用紙サイズ」に指定されているサイズの中央に配置されます。
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズの中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。
例：A4サイズの原稿の中央にA5サイズで印刷されている場合
⇒ A5サイズで出力されます。
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。



次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない
- 画像に原稿の端の影がはいる
- 特殊な形に切り抜いた原稿をA3キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線がはいる
- 画像に原稿の外側の色が含まれる



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）までの原稿を読み取りできます。

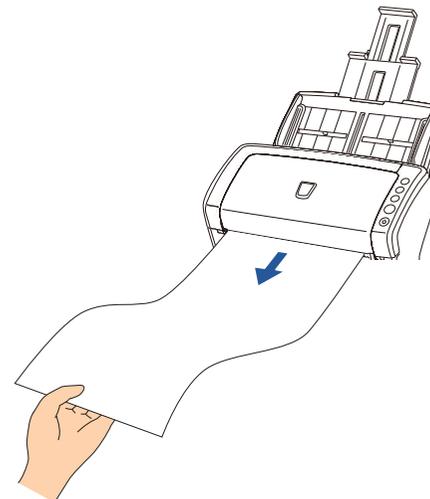
- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)（P.40）」を参照してください。



- 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュートにセットしてください。
- 長尺帳票を読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - 原稿のセット時
読み取る原稿が ADF 給紙シュートから落ちないように、原稿を手で押さえてセットしてください。



- 原稿の排出時
スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。

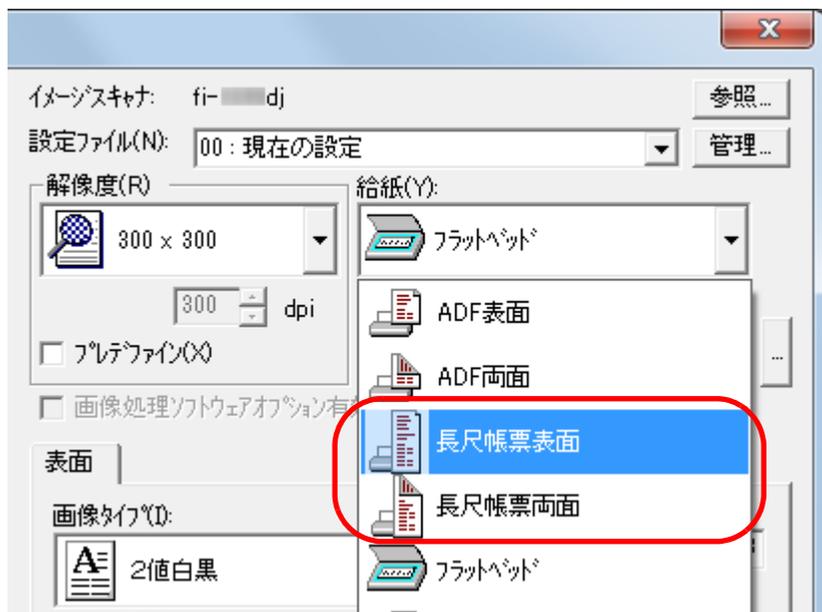


- A4 サイズより長い原稿を読み取る場合は、次のようにしてください。
- シュートエクステンション1 やシュートエクステンション2 を最大まで引き上げてください。
詳細については、「[1.6 ADF 給紙シュートの設定](#)（P.28）」を参照してください。
 - スタッカーやスタッカーエクステンションを起こしてください。
詳細については、「[1.7 スタッカーの設定](#)（P.29）」を参照してください。

- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

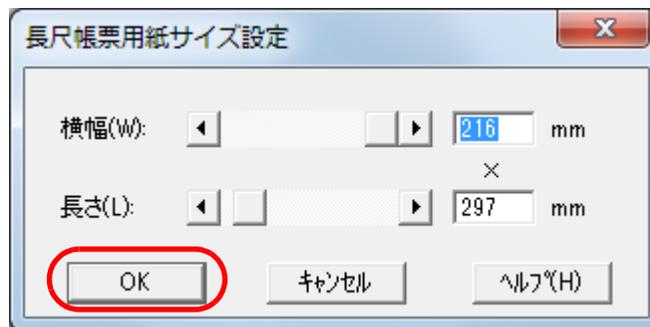
 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「給紙」から「長尺帳票表面」または「長尺帳票両面」を選択します。
片面読み取りの場合は「長尺帳票表面」を選択し、両面読み取りの場合は「長尺帳票両面」を選択します。



⇒「長尺帳票用紙サイズ設定」画面が表示されます。

- 4 原稿のサイズを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 変更した内容が反映されます。

- 6 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

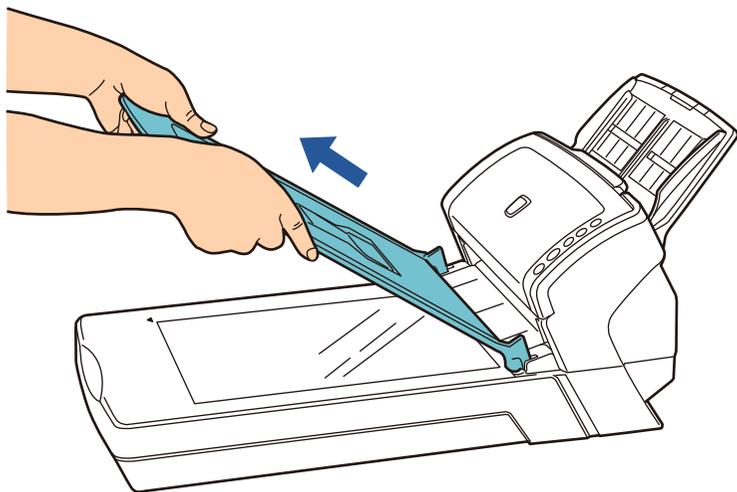


- 864mm (34 インチ) より長い原稿を読み取りたい場合は、200dpi 以下に設定してください。
- アプリケーションや用紙サイズなどの読み取り条件によっては、メモリ不足で読み取りできない場合があります。

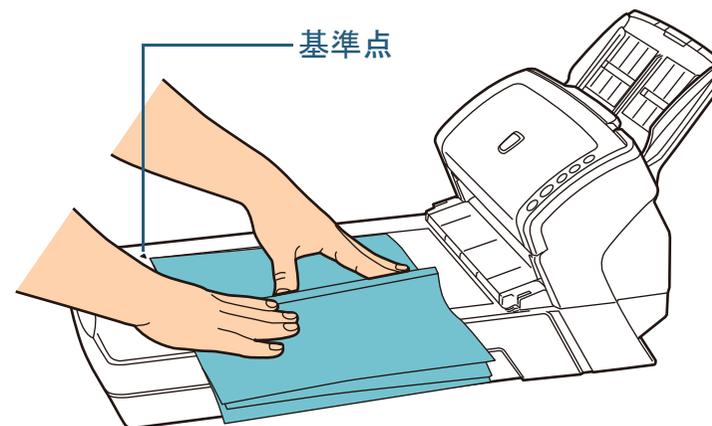
本を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]

1 ドキュメントカバーを開きます。
ドキュメントカバーを開く方法については、「1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]」(P.27)を参照してください。

2 ドキュメントカバーを上側(矢印の方向)に抜き、取り外します。



3 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



4 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

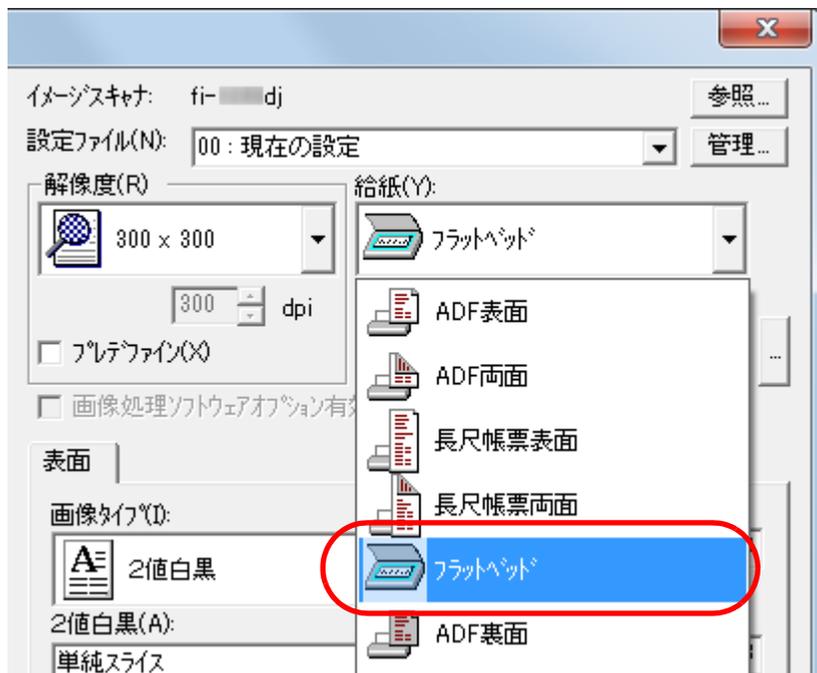
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

5 「給紙」から「フラットベッド」を選択します。



6 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 変更した内容が反映されます。

7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

8 ドキュメントカバーを取り付けます。

9 ドキュメントカバーを閉じます。

ドキュメントカバーを閉じる方法については、「[1.5 ドキュメントカバーの開閉 \[fi-6230Z/fi-6240Z\]](#)」(P.27)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

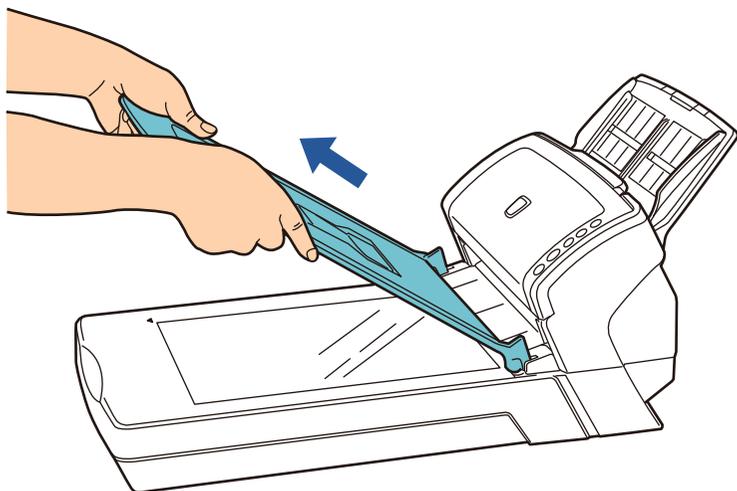
付録

用語集

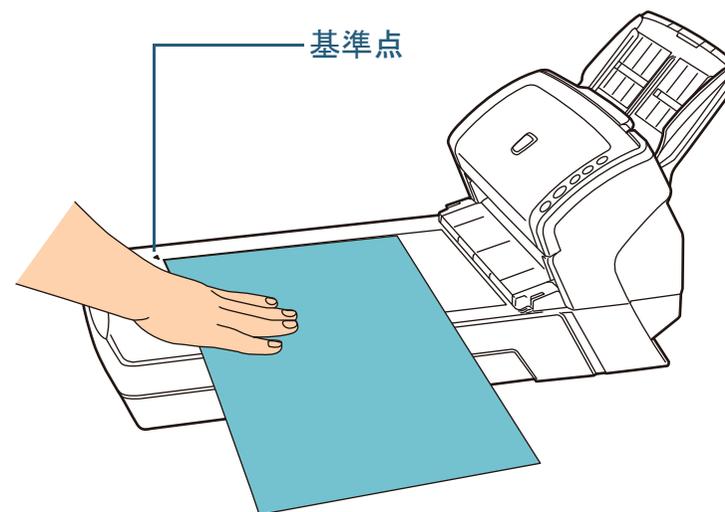
フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき [fi-6230Z/fi-6240Z]

- 1 ドキュメントカバーを開きます。
ドキュメントカバーを開く方法については、「1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]」(P.27)を参照してください。

- 2 ドキュメントカバーを上側(矢印の方向)に抜き、取り外します。



- 3 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。

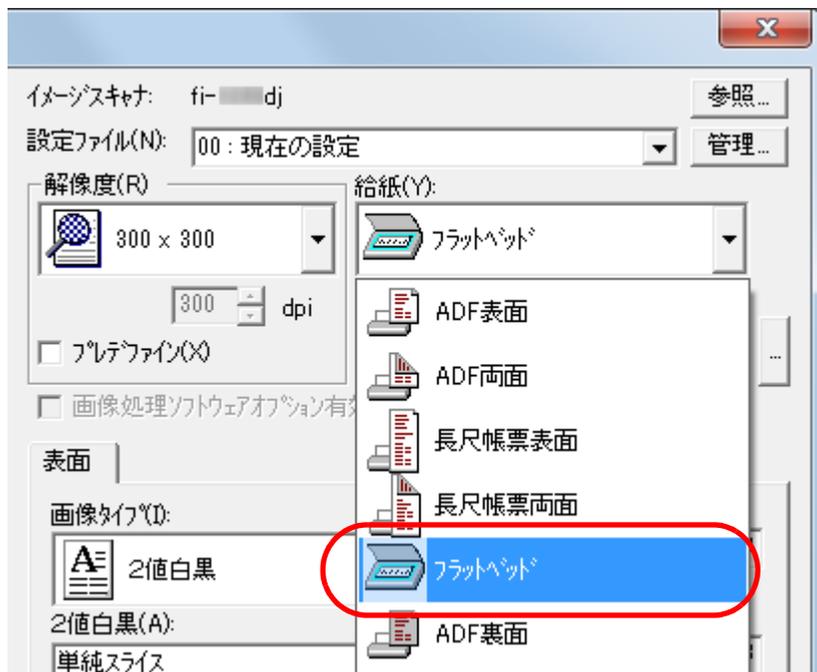


- 4 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

5 「給紙」から「フラットベッド」を選択します。



6 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 変更した内容が反映されます。

7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

8 ドキュメントカバーを取り付けます。

9 ドキュメントカバーを閉じます。

ドキュメントカバーを閉じる方法については、「1.5 ドキュメントカバーの開閉 [fi-6230Z/fi-6240Z]」(P.27)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

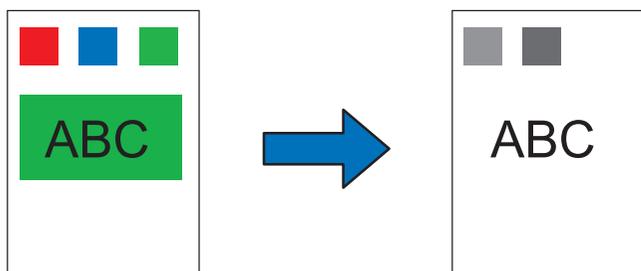
用語集

5.3 読み取り方の変更

指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

緑、赤、青（光の三原色）および任意の色から、選択した色情報を除いて読み取りできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取りできます。



例：ドロップアウトカラーに「緑」を選択した場合

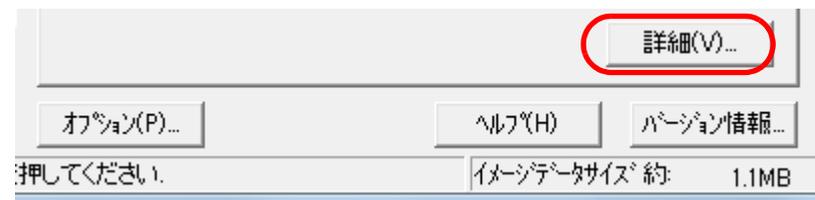
 ドロップアウトカラーは、対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。

 ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時だけ指定可能です。

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

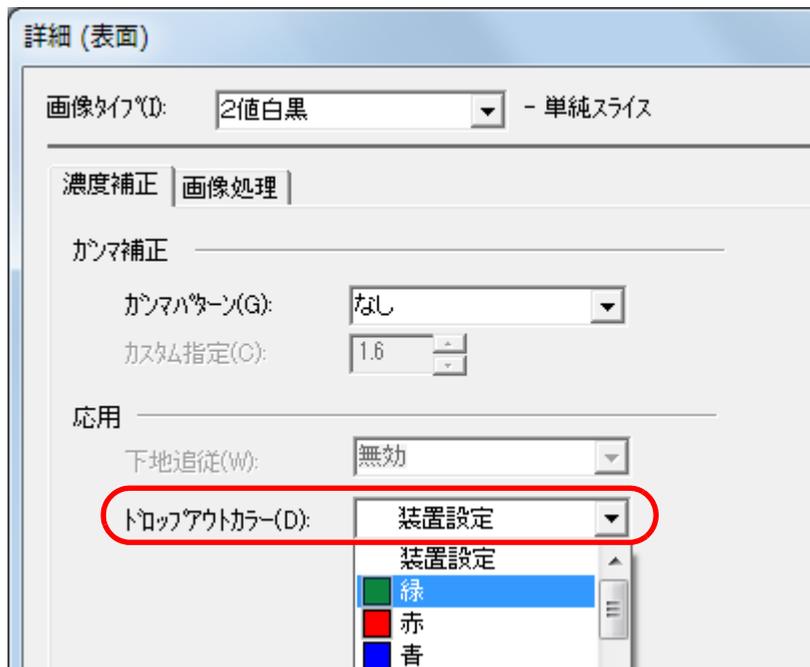
 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [詳細] ボタンをクリックします。



⇒「詳細」画面が表示されます。

4 「濃度補正」タブをクリックし、「応用」の「ドロップアウトカラー」から除きたい色を選択します。



「装置設定」を選択した場合は、Software Operation Panel の設定が有効になります。

「なし」を選択した場合は、ドロップアウトされません。

任意の色をドロップアウトする場合は、「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択します。

「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択すると、「指定色ドロップアウトカラー」画面が表示されます。この画面で、任意の色を3色まで、ドロップアウトカラーに指定できます。



- オリジナル画像
色見本が表示されます。クリックすると、選択した色をドロップアウトカラーに指定できます。
- ドロップアウト画像
ドロップアウト後のイメージが表示されます。
- 「カラー1」～「カラー3」タブ
ドロップアウトカラーに指定する色を設定します。最大3色まで同時に指定できます。

- 「ドロップアウト」チェックボックス
ドロップアウトカラーを2色以上指定する場合に、「カラー2」タブまたは「カラー3」タブでチェックし、ドロップアウト設定を有効にします。
 - 「赤 / 緑 / 青」
ドロップアウトカラーに指定する色の情報が数値で表示されません。数値を直接入力するか、[▲] / [▼] ボタンをクリックして数値を変更できます。
 - サンプルカラー
ドロップアウトカラーに指定した色が表示されます。
 - 「黒優先」チェックボックス
文字をドロップアウトしない場合にチェックします。
一般的に文字に使用されることの多い、黒などの彩度の低い色をドロップアウトないようにします。
 - 感度
選択した色に対して、ドロップアウトする色の許容範囲を指定します。
指定可能範囲：15～180度
数値が大きいほど、ドロップアウトする色域が広がります。
 - [ファイル] ボタン
「オリジナル画像」に任意の画像ファイル (*.bmp 形式) を表示させ、そこからドロップアウトする色を選択できます。
 - [適用] ボタン
設定した内容を反映して、画面を閉じます。
 - [キャンセル] ボタン
設定した内容を破棄して、画面を閉じます。
- 5** [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6** 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7** ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

白紙ページをスキップして読み取りたいとき

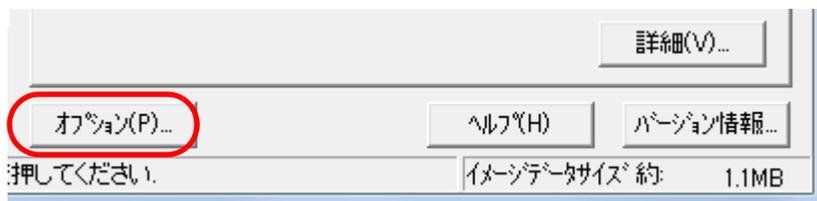
原稿に含まれる空白ページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取ります。例えば、両面原稿と片面原稿が混在している状態で両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（空白ページ）だけを取り除いて読み取りできます。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



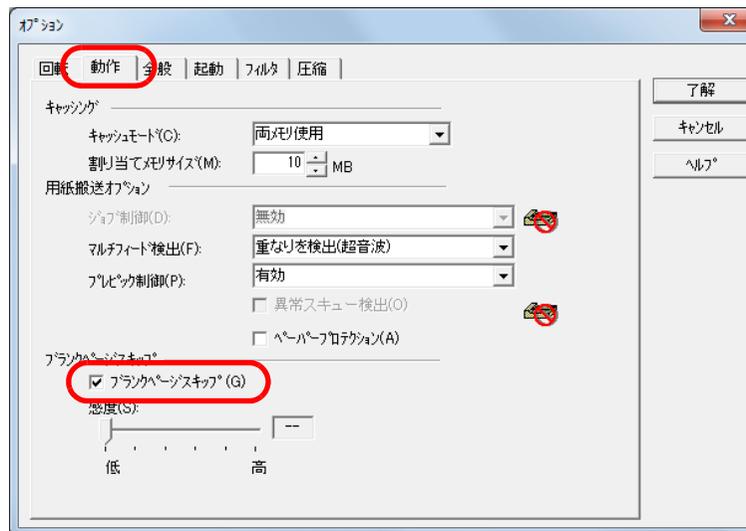
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「動作」タブをクリックし、「空白ページスキップ」チェックボックスをチェックします。



⇒ キャッシュモードが自動的に「ホスト PC 内メモリ使用」または「両メモリ使用」に切り替わります。

- 5 スライダーを使って、空白ページスキップの度合いを調整します。



1～5の5段階で、空白ページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。

「--」を設定した場合は、空白ページスキップを行いません。

- 6 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

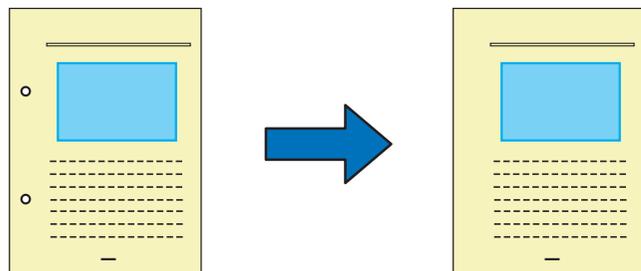
スキャナの動作設定

付録

用語集

パンチ穴を除去して読み取りたいとき

パンチ穴の開けられた原稿を読み取ったときに、パンチ穴が目立たないように、出力される画像からパンチ穴を取り除きます。



原稿

出力結果



次のいずれかの場合、パンチ穴の除去ができません。

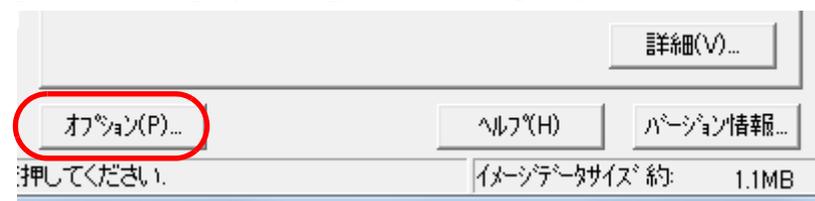
- 穴が原稿の端に沿って並んでいない場合
- 穴の大きさ、間隔がそろっていない場合
- 原稿の端から距離が短い位置に穴がある場合
- 原稿が長方形ではない場合
- 下地の色が濃い原稿を読み取った場合
- 文字、絵柄が原稿の端または穴にかかって存在する場合
- 「自動用紙サイズ検出」を指定し、「用紙サイズ」の指定より大きな原稿を読み取った場合
- 「黒背景」を指定し、「用紙サイズ」の指定と異なるサイズの原稿を読み取った場合

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



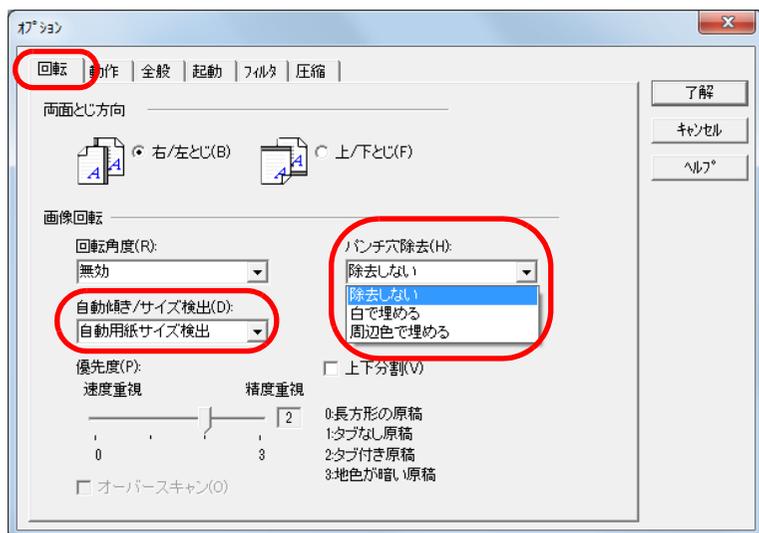
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「自動傾き/サイズ検出」から「自動用紙サイズ検出」または「黒背景」を選択します。「自動用紙サイズ検出」、「黒背景」以外では、パンチ穴除去機能は使用できません。



- 5 「パンチ穴除去」から「白で埋める」または「周辺色で埋める」を選択します。色の付いた原稿を読み取る時は、「周辺色で埋める」を選択してください。「白で埋める」を選択した場合、パンチ穴部分が白い四角で塗りつぶされたように見えます。

- 6 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

- 7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。

- 8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



原稿によっては、文字や図形が誤ってパンチ穴として塗りつぶされたり、パンチ穴を塗りつぶせなかったりする場合があります。このような場合、「自動用紙サイズ検出」で「優先度」に3を指定すると、パンチ穴除去の精度を向上できます。

明るめに画像を読み取りたいとき

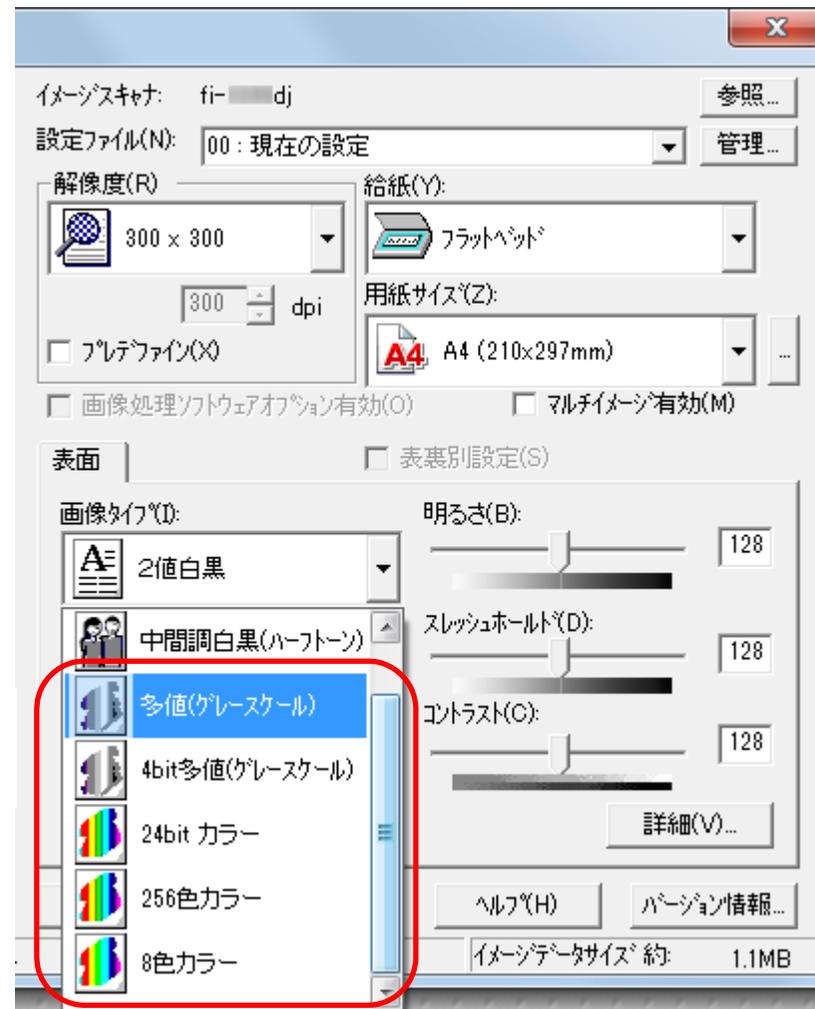
グレースケールまたはカラーで読み取る場合に、明るめに画像を読み取りできます。

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

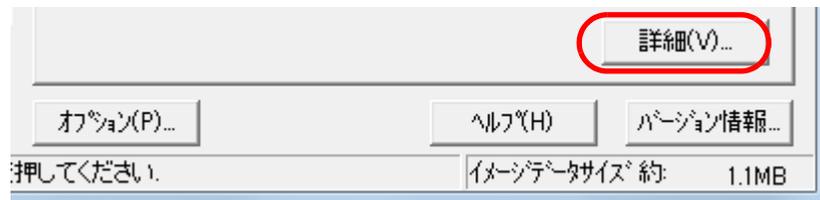


「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「画像タイプ」からグレースケールまたはカラーを選択します。



4 「詳細」 ボタンをクリックします。



⇒ 「詳細」画面が表示されます。

5 「色補正」 タブをクリックし、「プリセットガンマ」から「明るめ」を選択します。



6 「[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

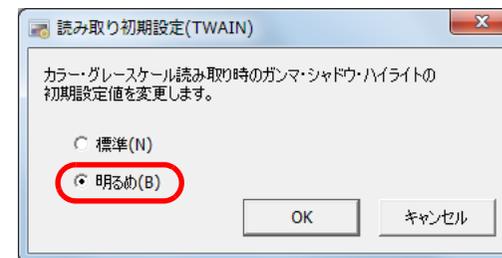
7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



ScandAll PRO 以外のアプリケーションの場合、TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更することもできます。TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更するには、Setup DVD-ROM の ¥Tools¥FtSwtGmm¥Twain フォルダ配下の「FtSwtGmm.exe」を実行して表示される「読み取り初期設定 (TWAIN)」画面で、「明るめ」を選択してください。



ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき

手挿入とは、ADF に手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る操作です。

通常、ADF で原稿を読み取る場合、セットした原稿がなくなると読み取りを終了します。手挿入の場合、セットした原稿がなくなると、指定した時間だけ次の原稿がセットされるのを待ちます。指定した時間内に原稿がセットされると読み取りを継続し、セットされないと読み取りを終了します。

この方法で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取りできます。

手挿入は、次のような場合に有効です。

- 原稿に書かれている内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、マルチフィードや原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を続けて読み取りたい場合

1 Software Operation Panel で手挿入ができるように設定します。

詳細については、「[手挿入モードの待機時間の設定（手挿入タイムアウト）](#)」（P.192）を参照してください。

2 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。

原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)」（P.40）を参照してください。

3 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

⇒ 読み取り後、Software Operation Panel で指定した時間、ADF のローラーが回転したまま、次の原稿がセットされるまで待機します。

4 ADF 給紙シュートに次の原稿をセットします。

⇒ セットした原稿が同じ設定で読み取られます。

5 読み取る原稿がなくなるまで、手順 4 を繰り返します。
⇒ Software Operation Panel で指定した時間を経過しても、ADF 給紙シュートに原稿がセットされない場合、読み取りを終了します。

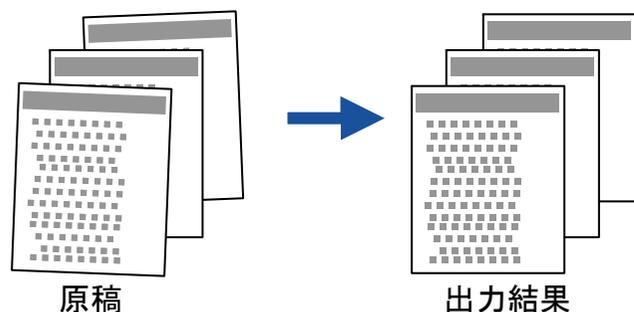


- スキャナが待機中に、操作パネルの [Send to] ボタンを押すと、すぐに読み取りを終了できます。
- 手挿入タイムアウトの設定が有効になっていると、ADF 給紙シュートに原稿がない状態で読み取りを開始しても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。
- 手挿入モードで頻繁に原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

5.4 読み取り後の動作や処理の設定

原稿の傾きを自動で補正したいとき

原稿を読み取る際に、ADF内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、自動で傾きを検出および補正して読み取りできます。このとき、原稿の用紙サイズも自動的に検出して読み取りできます。



画像欠けを防止するために、画像は原稿より数 mm 大きく出力される場合があります。



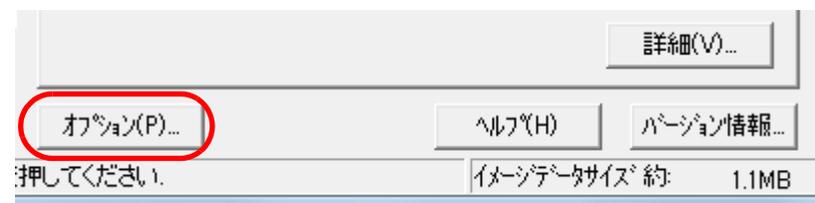
自動用紙サイズ検出を行うための条件の詳細については、「自動用紙サイズ検出を行うための条件」(P.52)を参照してください。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「自動傾き/サイズ検出」から「自動用紙サイズ検出」を選択します。





原稿が極端に傾いて読み取られた場合は、「自動用紙サイズ検出」が正しくできないことがあります。



「自動用紙サイズ検出」を選択した場合は、読み取り速度が低下することがあります。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

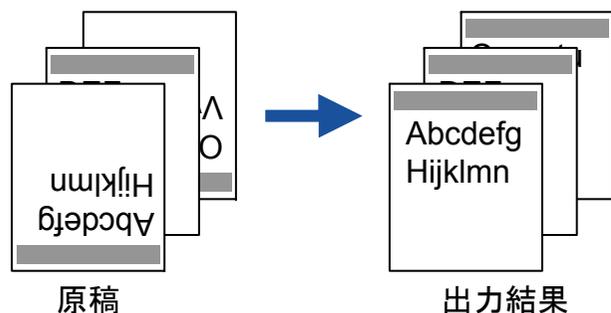
スキャナの動作設定

付録

用語集

原稿の向きを自動で補正したいとき

向きがバラバラの原稿を、自動的に正しい向きに補正して読み取りできます。



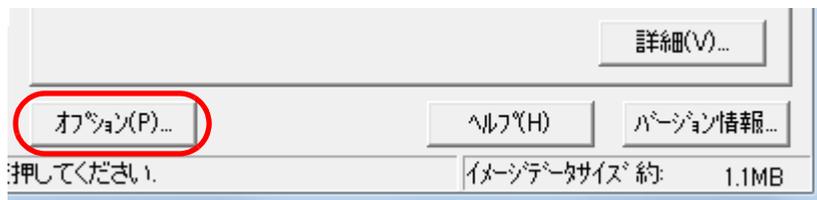
1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40) を参照してください。

2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



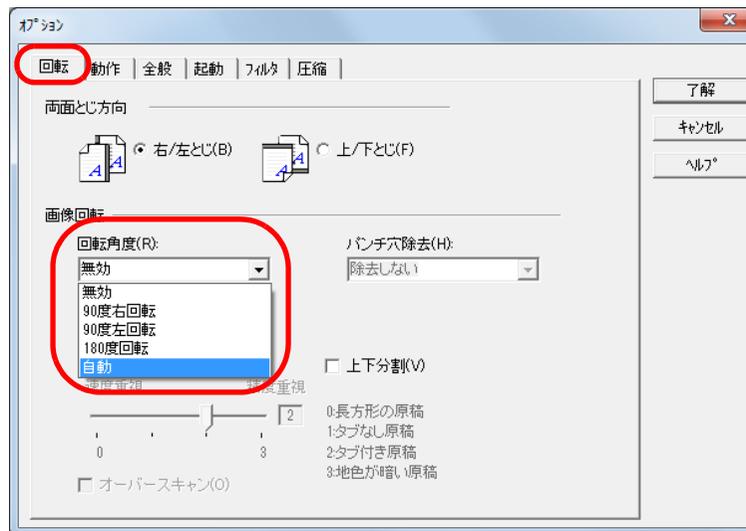
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

4 「回転」タブをクリックし、「回転角度」から「自動」を選択します。





- 原稿中の文字列を基準にして補正するため、次のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。
 - 読み取り時の解像度が200dpiより小さい場合
 - 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
 - 文字間や行間が、極端に狭かったり、文字が接触していたりする原稿
 - 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
 - 図面など、文字が一定方向に向いていない原稿
 - アルファベットの大きい文字だけで書かれている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 傾いた原稿
 - サポート言語（日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、ロシア語、ポルトガル語）以外の言語で書かれている原稿
 - 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
 - 複雑なレイアウトの原稿
 - ノイズの多い原稿
- 原稿中の文字列の判定には、Windowsの地域オプションで設定されている言語を使用します。
- 読み取り時のドライバの設定によっては、正しく補正できない場合があります（ディザなど）。
- 正しく補正されない場合は、ドライバの輪郭強調機能を使用すると正しく補正される場合があります。
- 画像の端に黒い部分が残ることがあります。
- 「回転角度」の「自動」は、ScandAll PROをインストールしている場合だけ表示されます。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

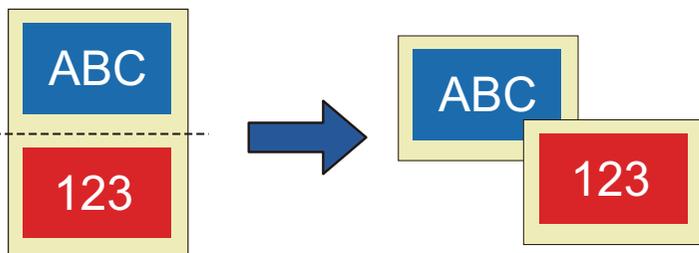
用語集

原稿を2分割して読み取りたいとき

読み取った原稿を上下に2分割して2ページ分のデータとして出力できます。



アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。



原稿

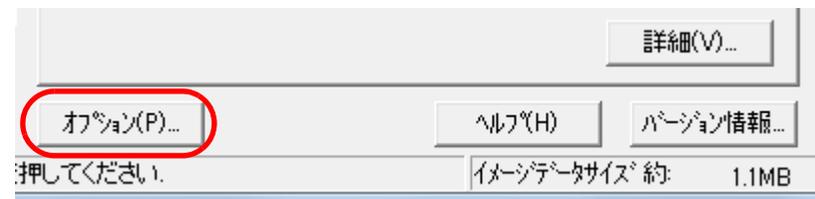
出力結果

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



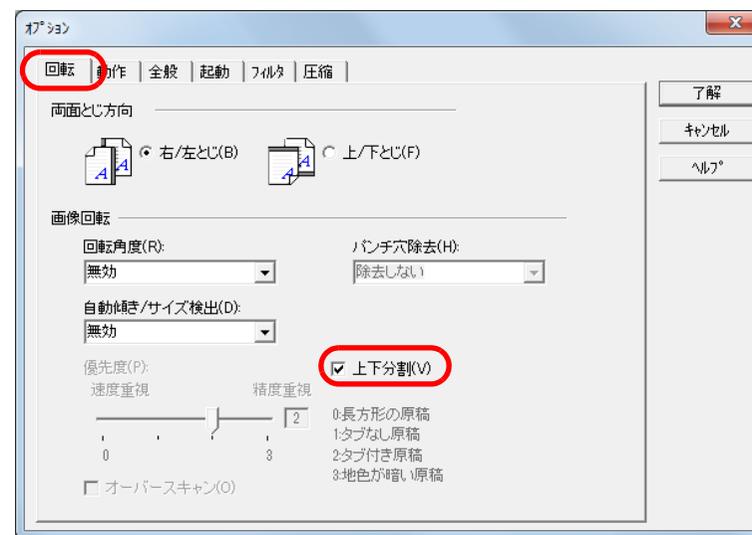
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「上下分割」チェックボックスをチェックします。



次の場合は、使用することはできません。

- マルチイメージ出力指定時
- カラー/モノクロ自動判別指定時
- 解像度 1200dpi 指定時
- 見開き/切り出し表面/切り出し両面指定時



両面読み取りの場合、裏面の画像は、「両面とじ方向」の設定に従い、次の順に出力されます。

- 右/左とじの場合：上→下
- 上/下とじの場合：下→上

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

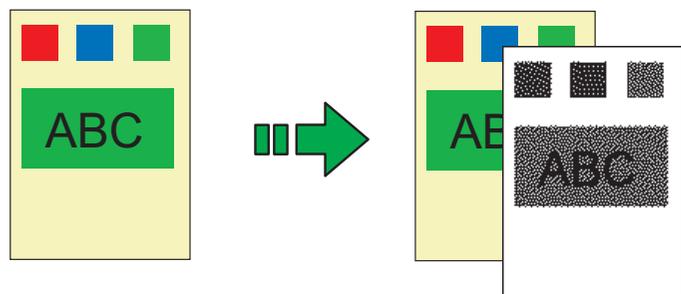
付録

用語集

マルチイメージ出力したいとき

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）できます。

 アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。



原稿

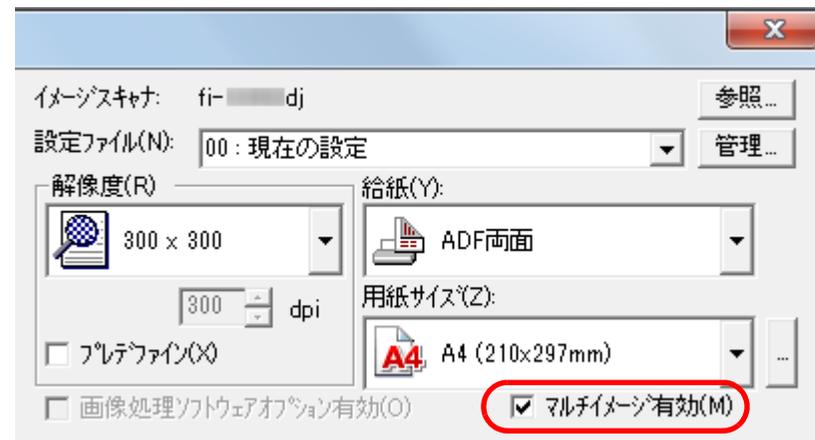
出力結果

例: カラー原稿をマルチイメージ出力で読み取った場合

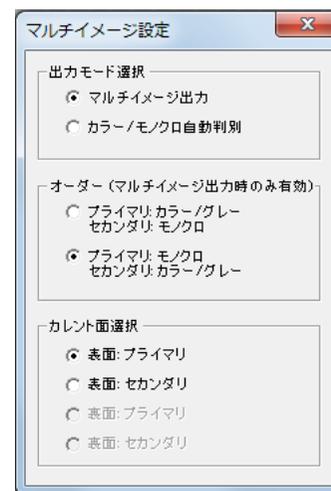
- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法 (P.40)」を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。



⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



- 4 「出力モード選択」で「マルチイメージ出力」をクリックします。

5 「オーダー」で出力する順番をクリックします。

オーダー	説明
プライマリ：カラー/グレー セカンダリ：モノクロ	「カラーまたはグレースケール画像」→「2値白黒画像」の順に出力されます。
プライマリ：モノクロ セカンダリ：カラー/グレー	「2値白黒画像」→「カラーまたはグレースケール画像」の順に出力されます。

6 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。
「オーダー」で設定した順番に「プライマリ」の読み取り設定と、「セカンダリ」の読み取り設定をします。

それぞれ、「TWAIN ドライバ (32)」画面で読み取り条件を設定します。

7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき

読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別し、カラー原稿の場合は、スキャナドライバの設定によってカラーまたはグレースケールで出力し、2値白黒原稿の場合は2値白黒で出力します。



アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.40)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。

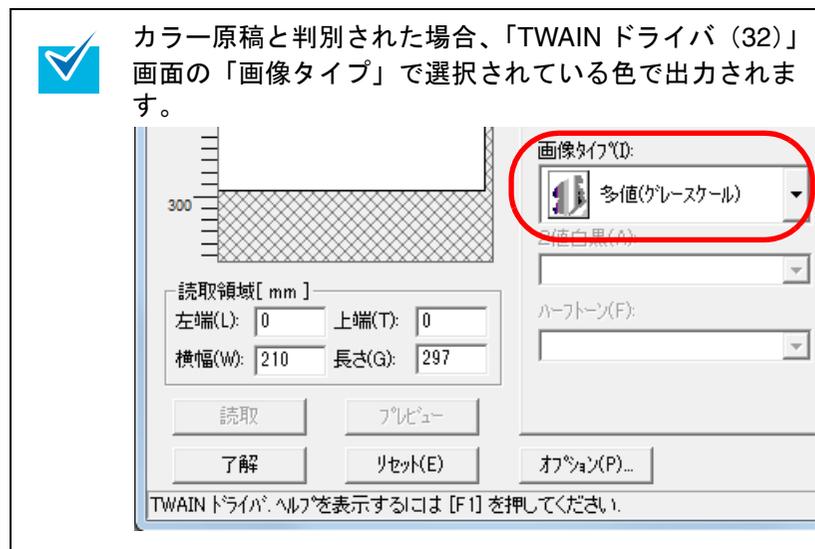


⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



- 4 「出力モード選択」で「カラー/モノクロ自動判別」をクリックします。

- 5 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。
 事前に「カラー/グレー」と認識された場合の読み取り設定と、「モノクロ（2値白黒）」と認識された場合の読み取り設定をしておきます。
 それぞれ、「TWAIN ドライバ（32）」画面で読み取り条件を設定します。



- 6 「TWAIN ドライバ（32）」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
 ⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

5.5 読み取り時のスキャナ動作の変更

スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき

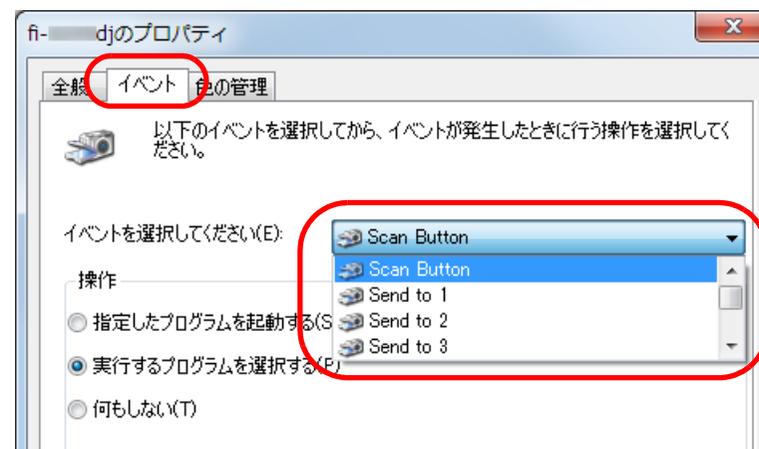
スキャナの [Scan/Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンを使用して、原稿を読み取りできます。

この場合は、起動するアプリケーションを各ボタンに設定する必要があります。

コンピュータ側の設定

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
スキャナとコンピュータの接続については、スタートアップガイドの「ケーブルを接続します」を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。
⇒ 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
⇒ 「デバイスとプリンター」画面が表示されます。
- 4 スキャナのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「スキャン プロパティ」をクリックします。
⇒ スキャナのプロパティの画面が表示されます。

- 5 「イベント」タブをクリックし、イベントを選択します。「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、次のイベントを選択できます。

- Scan Button ([Scan/Stop] ボタンを押したとき)
- Send to 1 ~ Send to 9 (ファンクションナンバーディスプレイに 1 ~ 9 の数字を表示させた状態で [Send to] ボタンを押したとき)

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

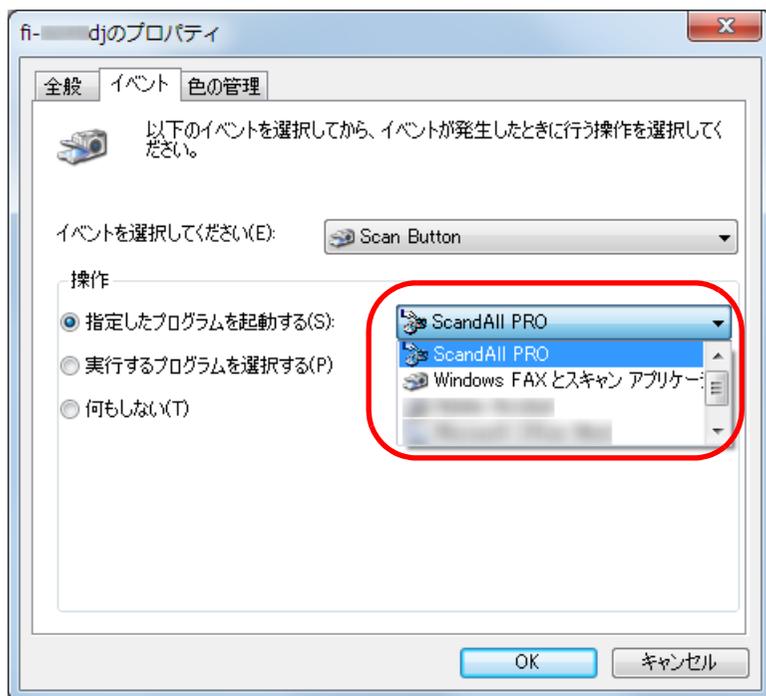
スキャナの動作設定

付録

用語集

6 イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。

「操作」の下の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、右のメニューからアプリケーションをクリックします。



7 [OK] ボタンをクリックします。

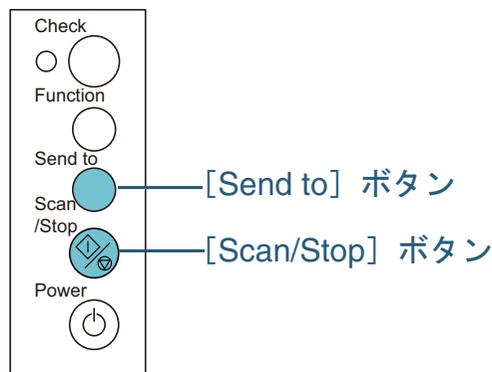
ScandAll PRO を使用する場合、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

ScandAll PRO 以外のアプリケーションを使用する場合、コンピュータ側の設定はこれで終了です。続けて、スキャナ側の設定を行ってください。



- お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。
- 複数のボタンを設定する場合は、手順4～7を繰り返します。

スキャナ側の設定



- [Scan/Stop] ボタンを使う場合
特に設定することはありません。
⇒ [Scan/Stop] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。
- [Send to] ボタンを使う場合
[Function] ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイの数字を切り替えます。
コンピュータ側で設定したイベント (Send to 1 ~ Send to 9) と数字を合わせます。
例えば、「Send to 2」のイベントを実行する場合は、ファンクションナンバーディスプレイに「2」を表示させます。
⇒ [Send to] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。



- 操作パネルの詳細については、「第4章 操作パネルの操作方法」(P.66)を参照してください。
- [Function] ボタンを押すたびに、「1,2,3,・・・9,C,1,2,3,・・・」と変化します。
1～9は、コンピュータ側で設定したイベントの Send to 1～Send to 9 と対応しています。
C は、Software Operation Panel と対応しています (設定変更不可)。

マルチフィードを検出したいとき

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

マルチフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定できます。

マルチフィードの設定は、スキャナドライバか Software Operation Panel で行います。

Software Operation Panel による設定方法は、「[マルチフィード検出方法の設定 \(マルチフィード\)](#)」(P.186)を参照してください。

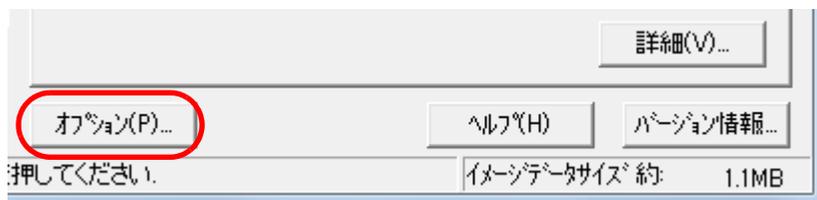
1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)」(P.40)を参照してください。

2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



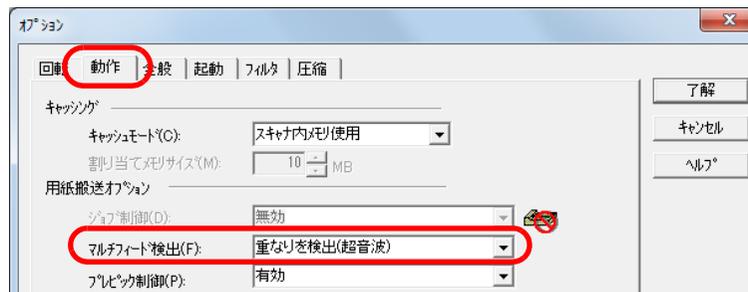
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

4 「動作」タブをクリックし、「用紙搬送オプション」の「マルチフィード検出」から、検出条件を指定します。



次の検出条件があります。

検出条件	説明
無効	マルチフィード検出を行いません。
装置設定	Software Operation Panel の設定が有効になります。
重なりを検出 (超音波)	ADF 内部に設置された超音波センサーを使って、搬送される原稿を監視し、原稿が重なって搬送されたときに超音波の変化によってマルチフィード検出を行います。
長さの違いを検出	搬送される原稿の長さを監視し、長さの変化によってマルチフィード検出を行います。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、マルチフィード検出を行います。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。

マルチフィード検出の詳細については、「[マルチフィードを正しく検出するための条件](#)」(P.48)を参照してください。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

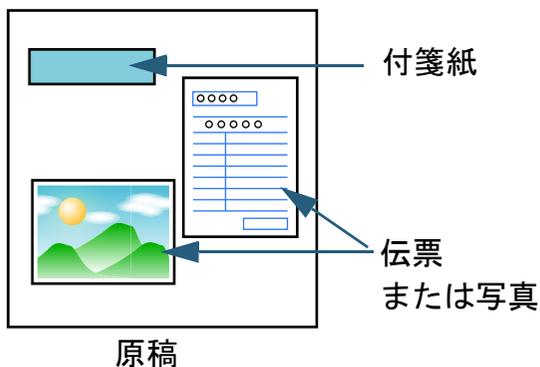
付録

用語集

決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき

マルチフィード検出機能を有効にして、付箋紙、伝票、または写真などが貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿が重なっていると判断され、マルチフィードエラーが発生して読み取りが中断される場合があります。このような原稿を読み取るために「インテリジェントマルチフィード機能」があります。

本機能には、操作パネルを使用して、強制的にマルチフィードエラーを発生させないモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、または写真など（以降、「貼り付け紙片」と呼びます）の位置や長さを記憶し、それをもとに自動的にマルチフィードエラーを発生させないモードがあります。



インテリジェントマルチフィード機能

用途に応じて、次の3つのモードが用意されています。

モード	用途
手動モード（ボタンによる検出無効化）	マルチフィードエラー発生ごとに貼り付け紙片があるかどうかを確認しながら読み取りを継続する場合に使用します。
自動モード1（重なり長さや位置による検出無効化）	貼り付け紙片の大きさおよび位置が共通である、定型フォーマットを読み取る場合に使用します。
自動モード2（重なり長さによる検出無効化）	貼り付け紙片の大きさが、読み取る原稿ごとに異なる場合に使用します。



マルチフィードが発生する際には、異常な画像が読み取られる場合があります。

モードの選択は、Software Operation Panelで行います。詳細については、「[マルチフィード検出しない範囲の設定（インテリジェントマルチフィード設定）](#)」（P.191）を参照してください。

本機能を使用するための事前準備

本機能を使用する前に次の設定をしておいてください。

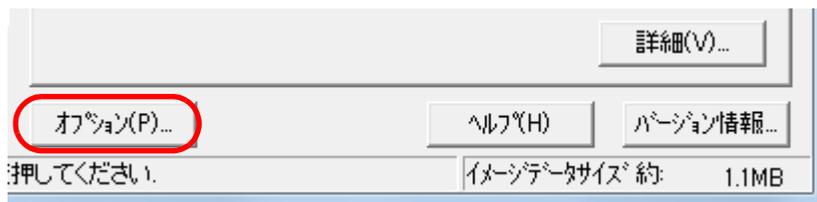
- 1 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。

⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



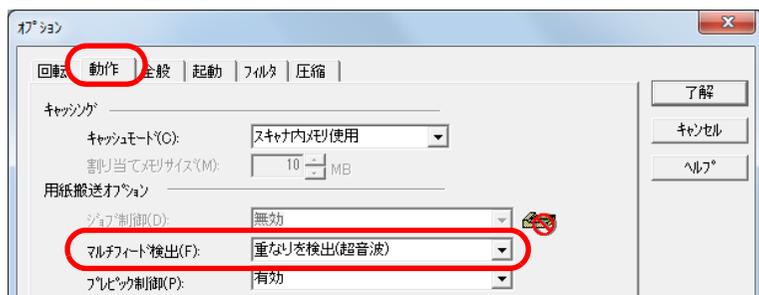
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 2 「オプション」ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

- 3 「動作」タブをクリックし、「マルチフィード検出」で「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を選択します。



- 4 「了解」ボタンをクリックします。

⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

- 5 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、「了解」ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

操作方法

- 1 マルチフィードエラー発生後、[Send to] ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADF を開けて原稿を取り除きます。

- 2 ADF を閉じます。

ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。

ADF を閉じると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイ表示が次のように変わります。

- マルチフィードエラー発生時
「J」と「2」が交互に表示されます。
- 原稿排出時
ファンクションナンバーが点滅します。

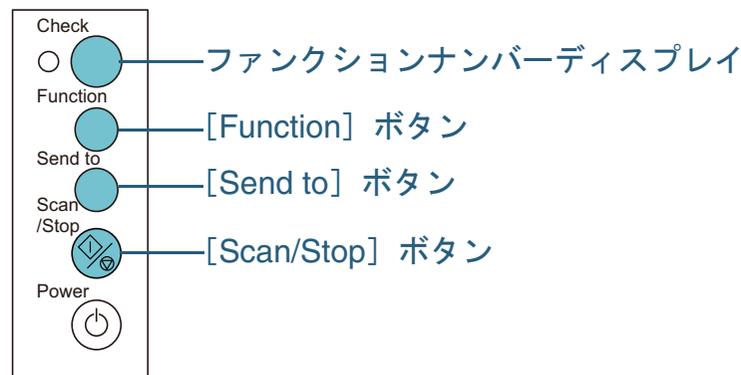


ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が読み込まれないおそれがあります。

- 3 取り除いた原稿を ADF 給紙シュートに戻します。

長さの違いによるマルチフィードが発生している場合は、[Scan/Stop] ボタンを押すか、コンピュータから再度読み取ります ([Function] ボタンは押さないでください)。

紙片が原稿に貼られており、それがマルチフィードの原因と思われる場合は次の手順に進みます。



はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4 [Function] ボタンを押して、ファンクションナンバーの点滅が速くなったのを確認してから [Scan/Stop] ボタンを押すか、コンピュータから再度読み取ります。

これ以降 [Function] ボタンを押すたびにファンクションナンバーの点滅速度が、「遅い」⇔「速い」の間で切り替わります。点滅速度が速い状態で読み取る場合、設定されたモードにより、次のように動作します。



[Function] ボタンを押して、「遅い」⇔「速い」の点滅を切り替える場合、5秒以上の長押しは行わないでください。記憶している重なりパターンや最大重なり長が消去される場合があります。

- 手動モード（ボタンによる検出無効化）
次の原稿はマルチフィードを検出しないで読み取り、2枚目以降はドライバまたは Software Operation Panel のマルチフィード設定でマルチフィードを検出します。
 - 自動モード1（重なり長さや位置による検出無効化）
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片の長さや位置を記憶し、読み取りを継続します。それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません（*1）（*2）。
 - 自動モード2（重なり長さによる検出無効化）
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを継続します。それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません（*1）（*2）。
- *1：本モードで記憶できる重なりパターンは32ページ分（1ページに最大4個の重なりまで可）です。この数を超えた場合は、最初に記憶されたパターンから順に消去されます。
- *2：ここで記憶された重なりパターンや最大重なり長は、ファンクションナンバーが点滅した状態で、[Function] ボタンを5秒以上押すことで消去できます。消去するとファンクションナンバーディスプレイに「□」が表示されます。これにより、誤って記憶された重なりパターンや最大重なり長を消去できます。ただし、記憶しているパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第6章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



警告



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。



注意

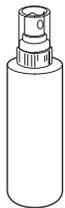


スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスは高温になります。
内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて15分以上待って温度が下がってから清掃してください。

6.1 清掃用品および清掃が必要な場所.....	113
6.2 スキャナ外部の清掃.....	115
6.3 スキャナ内部の清掃.....	116
6.4 A3 キャリアシートの清掃.....	121

6.1 清掃用品および清掃が必要な場所

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1本 (100ml) 布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用します。 クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1パック (10枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1箱 (24袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	
乾いた布		
ScanAid (*1)	FI-624SA	-



清掃用品を正しく安全にご使用いただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細については、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.209) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

*1 : ScanAid の詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.202) 参照してください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
ADF	ブレーキローラ	5,000 枚読み取りごとに清掃してください。
	ピックアップローラ	
	プラスチックローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
フラット ベッド [fi-6230Z/ fi-6240Z]	原稿押さえパッド	
	原稿台	
	プラスチックカバー	



原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

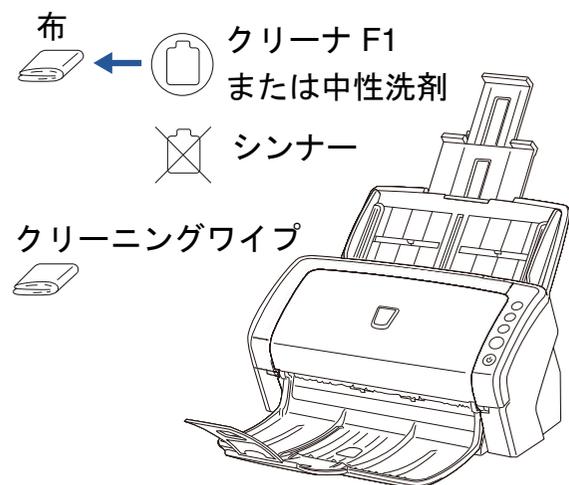
6.2 スキャナ外部の清掃

スキャナ外部、ADF 給紙シュート、およびスタッカーなどは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

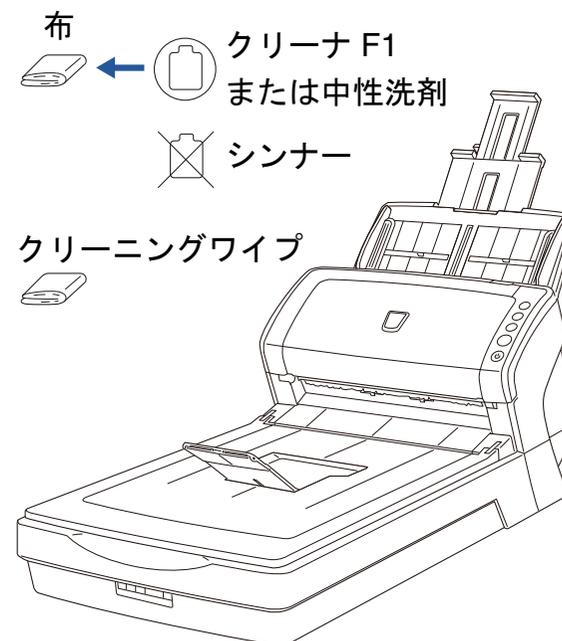


- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所クリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

fi-6130Z/fi-6140Z の場合



fi-6230Z/fi-6240Z の場合



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6.3 スキャナ内部の清掃

ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）

ADF は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となることがあります。

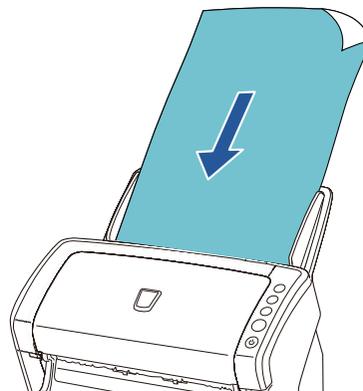
ADF の清掃は、目安として 5,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



- ADF を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

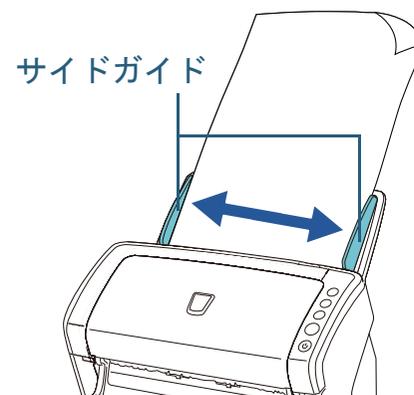
- 1 スキャナの電源を投入します。
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.25) を参照してください。
- 2 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。
- 3 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。
詳細については、「1.6 ADF 給紙シュートの設定」(P.28) を参照してください。
- 4 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーやスタッカーエクステンションを起こします。
詳細については、「1.7 スタッカーの設定」(P.29) を参照してください。

- 5 ADF 給紙シュートにクリーニングペーパーをセットします。



- 6 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。

サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに読み込まれることがあります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 7** スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、クリーニングペーパーを読み取ります。
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

ADF の清掃（布による場合）

ADF は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。
ADF の清掃は、目安として 5,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



注意

スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスが高温になります。
内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから清掃してください。



- ADF を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

- 1** スキャナの電源を切断し、15 分以上待ちます。
電源を切断する方法については、「[1.3 電源の投入 / 切断](#)」(P.25) を参照してください。
- 2** ADF を開きます。
ADF を開く方法については、「[1.4 ADF の開閉](#)」(P.26) を参照してください。



注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

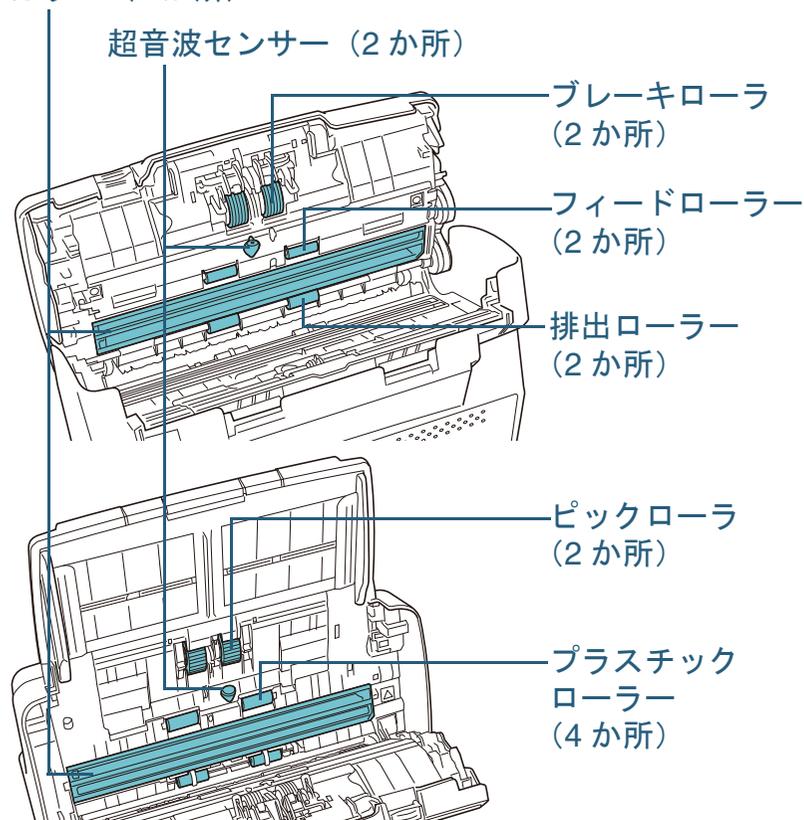
スキャナの動作設定

付録

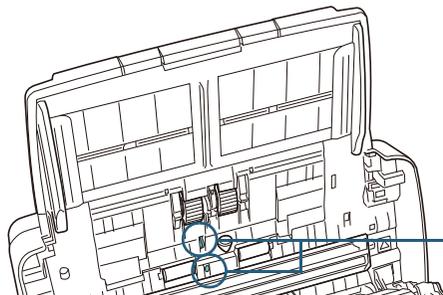
用語集

3 少量のクリーナ F1をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。

ガラス (2 か所)



清掃の際は、布を原稿検知センサーに引っ掛けて破損しないように注意してください。



原稿検知
センサー

ブレーキローラ (2 か所)

ブレーキローラはスキャナから取り外して清掃します。ブレーキローラの取り外し方法は、「7.2 ブレーキローラの交換」(P.124) を参照してください。

ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿って軽く清掃します。



ピックローラ (2 か所)

手で回転させながら、ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿って軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。

プラスチックローラ (4 か所)

ローラの表面をいためないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。このとき、プラスチックローラの中央に取り付けてあるスポンジをいためないように注意してください。

ガラス (2 か所)

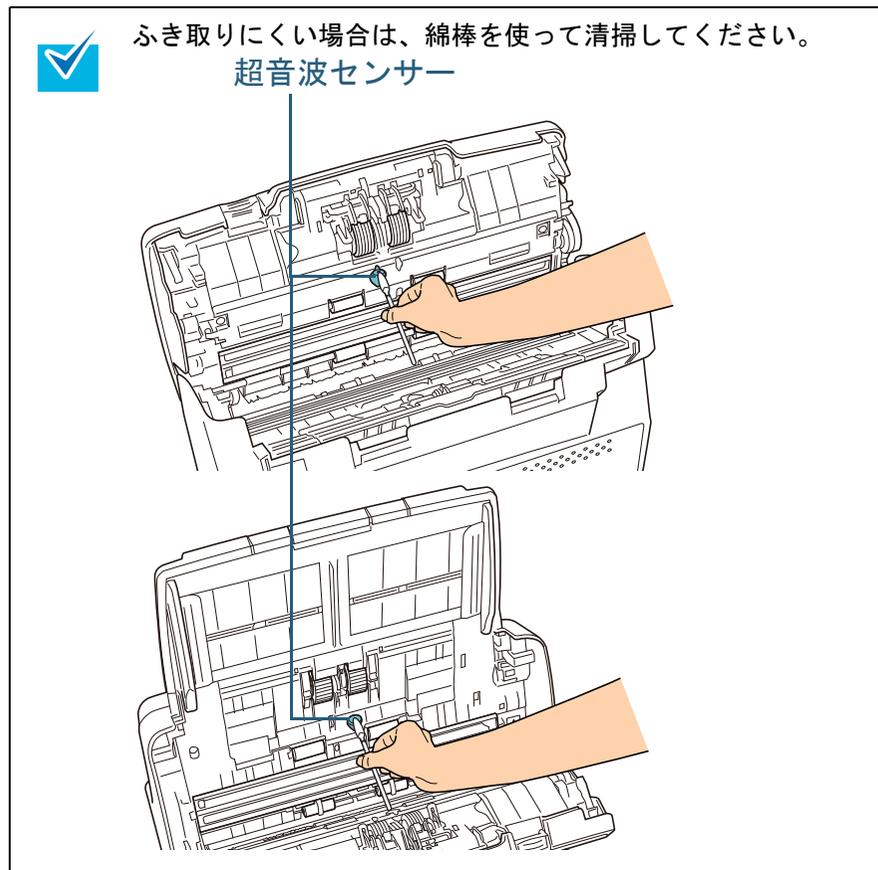
ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。



ガラスがよごれていると、読み取った画像に縦線が出ることがあります。

超音波センサー（2か所）

超音波センサー表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。



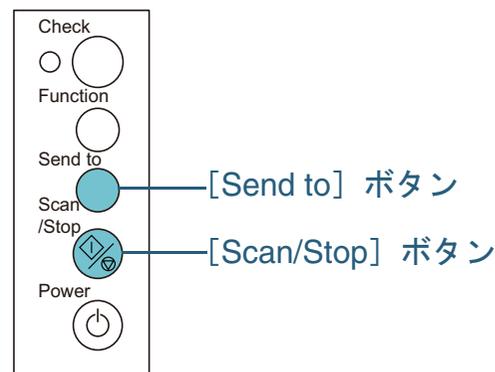
フィードローラー（2か所） / 排出ローラー（2か所）

フィードローラー / 排出ローラーは、電源を投入して回転させながら清掃します。

- 1 スキャナの電源を投入します。
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入 / 切断」（P.25）を参照してください。
- 2 操作パネルのファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されているときに ADF を開きます。

ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」（P.26）を参照してください。

- 3 操作パネルの [Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押すと、フィードローラー / 排出ローラーが一定量回転します。



⚠ 注意

[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押すと、フィードローラー / 排出ローラーが同時に回転します。清掃する場合、回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

- 4 少量のクリーナー F1 をしみこませた布やクリーニングワイプをフィードローラー / 排出ローラー表面に押し当てて左右に擦り清掃します。
[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押してローラーを回転させながらローラー全域を清掃します。
特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。
なお、目安として、[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に7回押すと、フィードローラー / 排出ローラーが1回転します。

- 4 ADF を閉じます。
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」（P.26）を参照してください。



ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が読み込まれないおそれがあります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

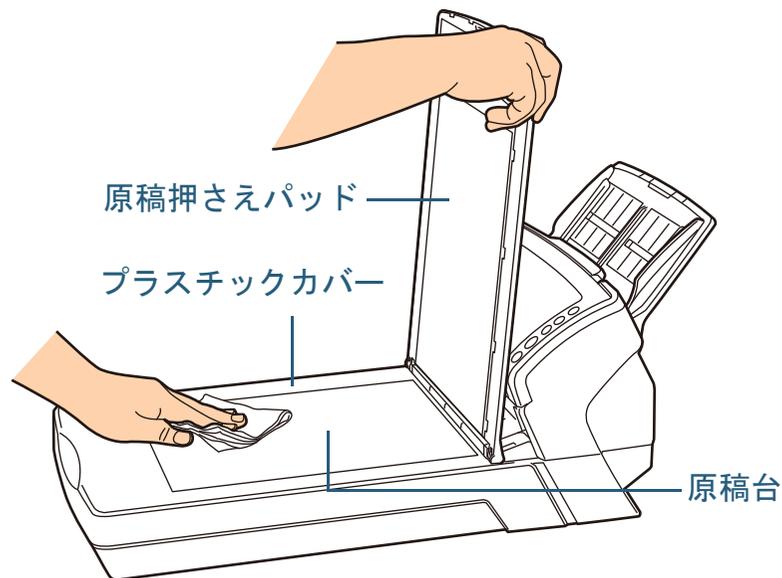
付録

用語集

フラットベッドの清掃 [fi-6230Z/fi-6240Z]

フラットベッドは、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

- 1 ドキュメントカバーを開きます。
ドキュメントカバーを開く方法については、「[1.5 ドキュメントカバーの開閉 \[fi-6230Z/fi-6240Z\]](#)」(P.27)を参照してください。
- 2 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。



原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナー液がしみこまないように注意してください。

- 3 乾くまで待ちます。
- 4 ドキュメントカバーを閉じます。
ドキュメントカバーを閉じる方法については、「[1.5 ドキュメントカバーの開閉 \[fi-6230Z/fi-6240Z\]](#)」(P.27)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6.4 A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となります場合がありますので、定期的に清掃してください。



- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することを推奨します。
A3 キャリアシートのご購入については、「株式会社 PFU [PFU ダイレクト](#)」(P.209) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第7章 消耗品の交換

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。



注意

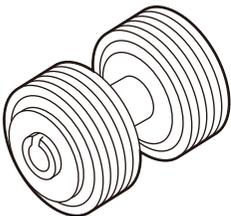
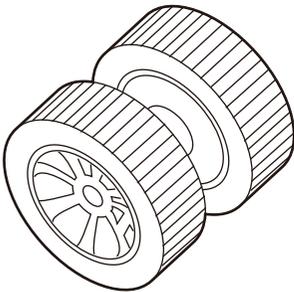


スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスは高温になります。
消耗品の交換を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

7.1 消耗品と交換周期.....	123
7.2 ブレーキローラの交換.....	124
7.3 ピックローラの交換.....	126

7.1 消耗品と交換周期

スキャナに使用される消耗品を次の表に示します。

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C624BR	200,000 枚または1年ごとに交換
ピックローラ 	FI-C624PR	200,000 枚または1年ごとに交換
ScanAid (*1)	FI-624SA	-

*1 : ScanAid の詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」 (P.202) 参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備されることを推奨します。また、スキャナでは、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（ブレーキローラおよびピックアップローラ）をそれぞれ記録していますので、使用状況を確認できます。

確認したい場合は、「[9.4 ページカウンタに関する設定](#)」 (P.172) を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m² (69kg/連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「[株式会社 PFU PFU ダイレクト](#)」 (P.209) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.2 ブレーキローラの交換

ブレーキローラを交換する手順を次に示します。

1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。

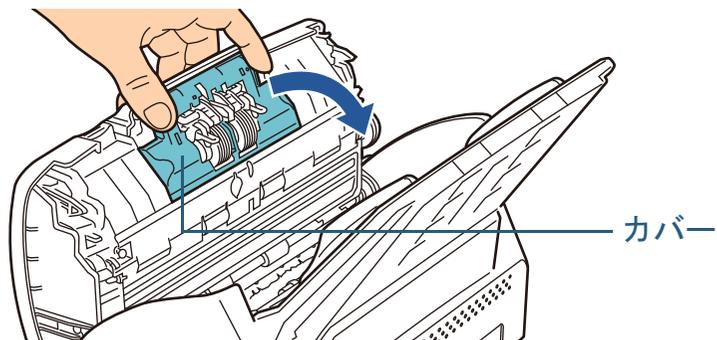
2 ADF を開きます。
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。



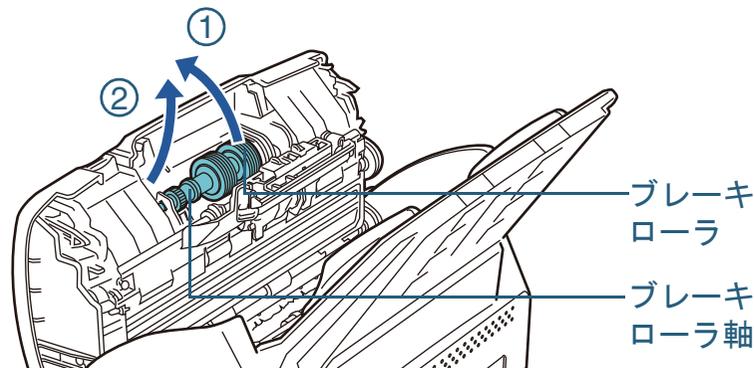
注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

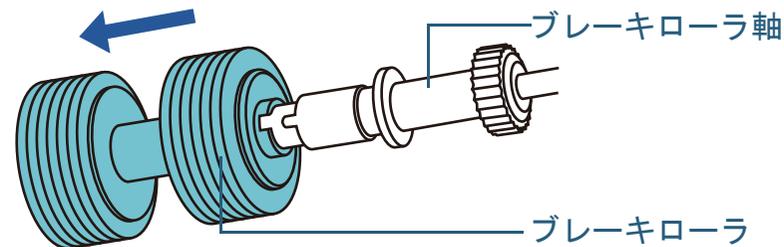
3 ブレーキローラ軸を取り外します。
1 ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開きます。



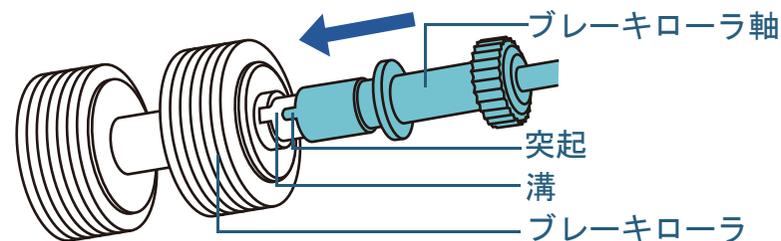
2 ブレーキローラ軸の右側のブレーキローラを持ち上げて軸の右側を外し、軸の左側を穴から抜き取ります。



4 ブレーキローラを、ブレーキローラ軸から取り外します。



5 新しいブレーキローラを、ブレーキローラ軸に取り付けます。
ブレーキローラ軸の突起部分とブレーキローラの溝を合わせて差し込みます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

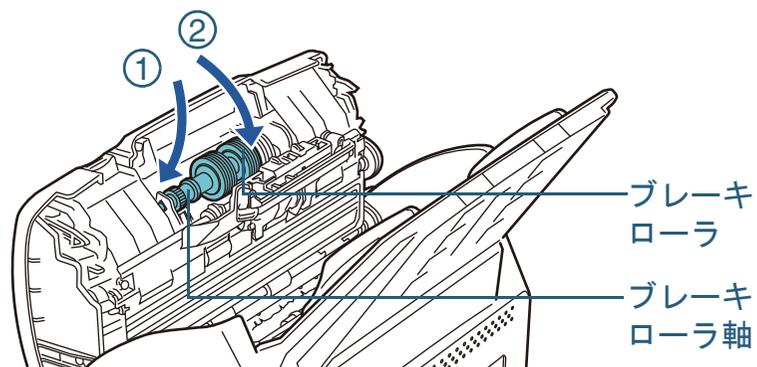
スキャナの動作設定

付録

用語集

6 ブレーキローラを取り付けます。

- 1 ブレーキローラ軸の左側を穴にはめ込んでから、軸の右側を取り付けます。



- 2 ブレーキローラのカバーを閉めます。



ブレーキローラ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

7 ADF を閉じます。

ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。



ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

8 ブレーキローラのカウンターをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細については、「ページカウンタのリセット」(P.173) を参照してください。

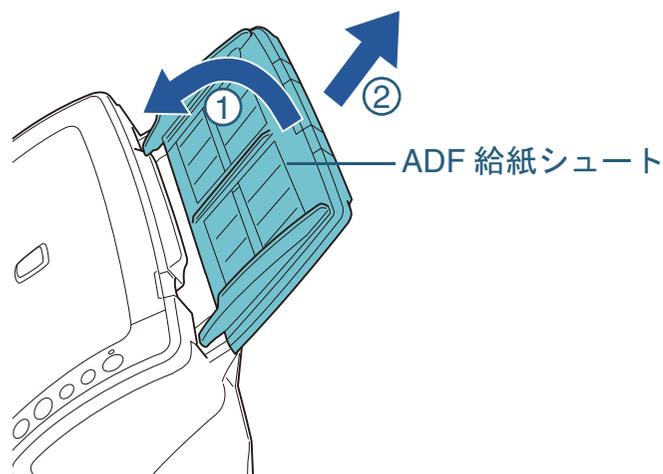
7.3 ピックローラの交換

ピックアップローラを交換する手順を次に示します。

1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。

2 ADF 給紙シュートを取り外します。

ADF 給紙シュートの両端を持って、①のように斜め上方に持ち上げながら、②の方向に引き上げます。



3 ADF を開きます。

ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。

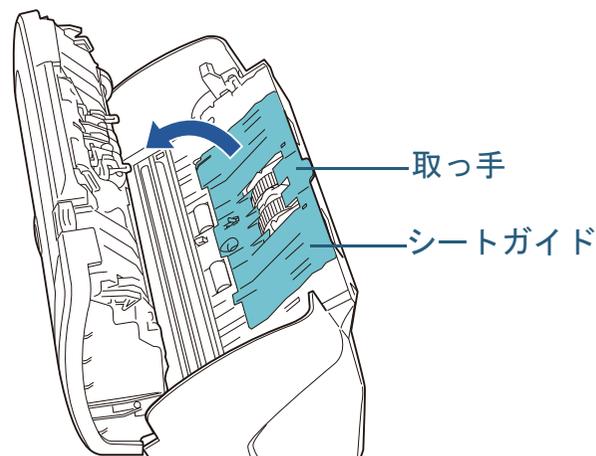


注意

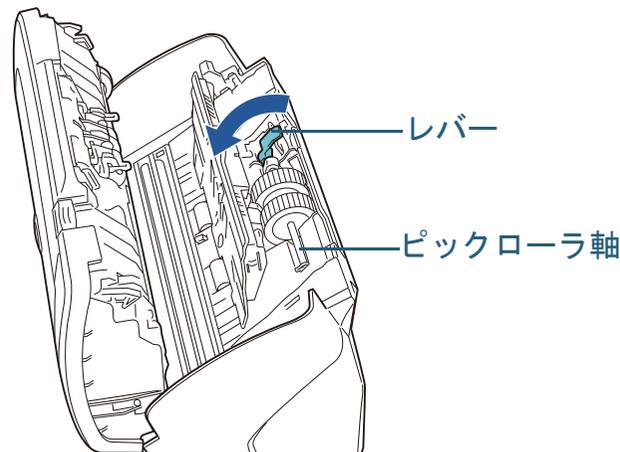
ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

4 ピックローラ軸を取り外します。

1 シートガイドの取っ手を上に持ち上げて、シートガイドを開きます。



2 ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

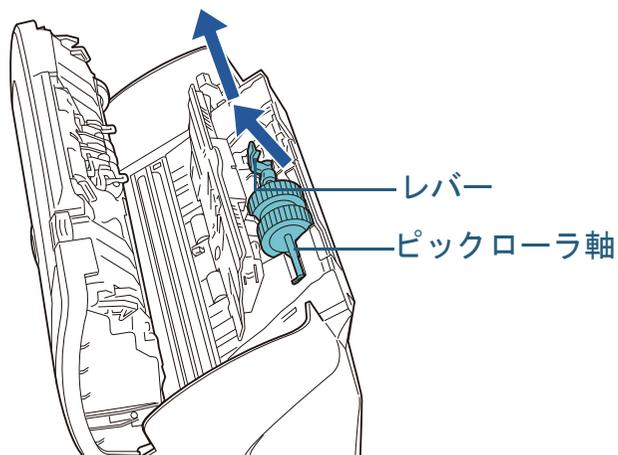
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

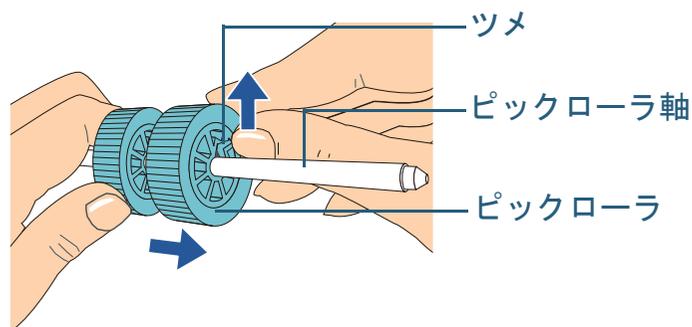
用語集

- 3 ピックローラ軸のレバーを持ち上げてから、軸を穴から抜き取ります。

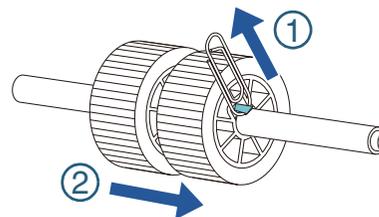


⚠️ ピックローラ軸のレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いていますので、触らないように注意してください。

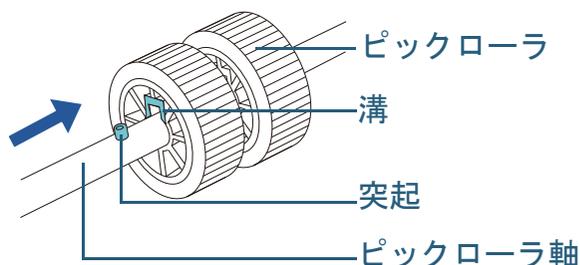
- 5 ピックローラを、ピックアップラ軸から取り外します。ピックアップラ軸のツメを持ち上げながら、ピックアップラ軸を引き抜きます。



⚠️ 指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックアップラのツメを持ち上げてください。



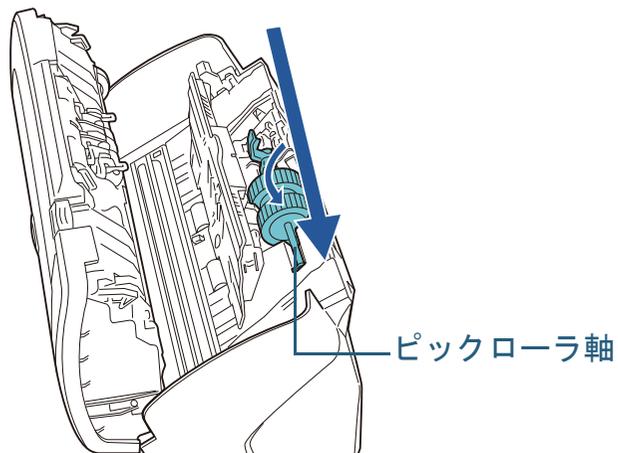
- 6 新しいピックアップラを、ピックアップラ軸に取り付けます。ピックアップラ軸の突起部分とピックアップラの溝を合わせて差し込みます。



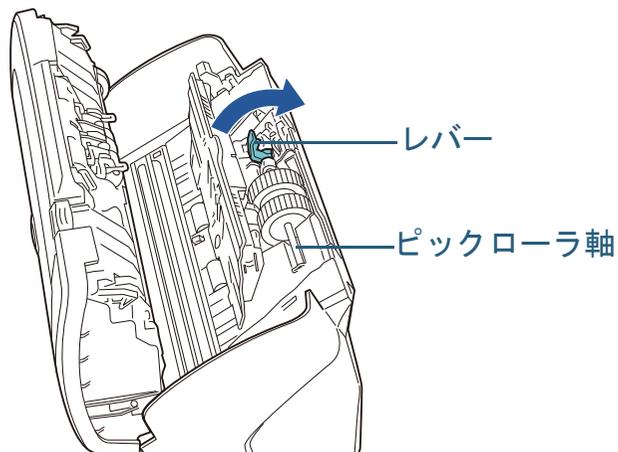
⚠️ ピックローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。なお、ピックアップラは取り付けるとき、「カチッ」という音になります。音が出るまで差し込んでください。

7 ピックローラ軸を取り付けます。

- 1 右側の穴に斜め上方からピックアップ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。



- 2 ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



- 3 シートガイドを閉じます。シートガイドの両側が確実にロックしているか確認してください。



ピックアップ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

8 ADF を閉じます。

ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。

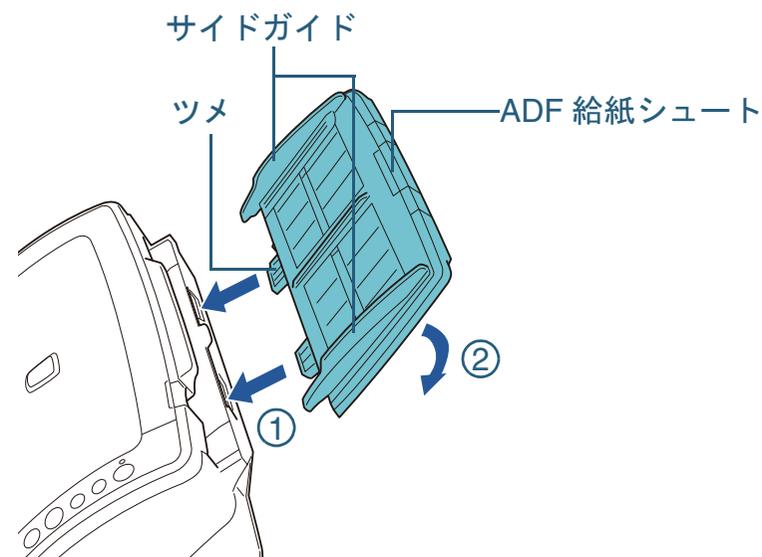


注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

9 ADF 給紙シュートを取り付けます。

ADF 給紙シュートを、スキャナ背面にある穴に ADF 給紙シュートのツメが入るように差し込み、下方に倒してしっかり固定します。サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



10 ピックローラのカウンターをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細については、「ページカウンタのリセット」(P.173) を参照してください。

第8章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。



記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細については、TWAIN ドライバのヘルプ、ISIS ドライバのヘルプ、または Error Recovery Guide を参照してください。

8.1 原稿づまりが発生したときは.....	130
8.2 操作パネルのエラー表示.....	131
8.3 困ったときには.....	136
8.4 サービスセンターに連絡する前に.....	155
8.5 装置ラベルの確認.....	157

8.1 原稿づまりが発生したときは

原稿が詰まった場合は、次の要領で原稿を取り除いてください。

⚠ 注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをすおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、または髪の毛などがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

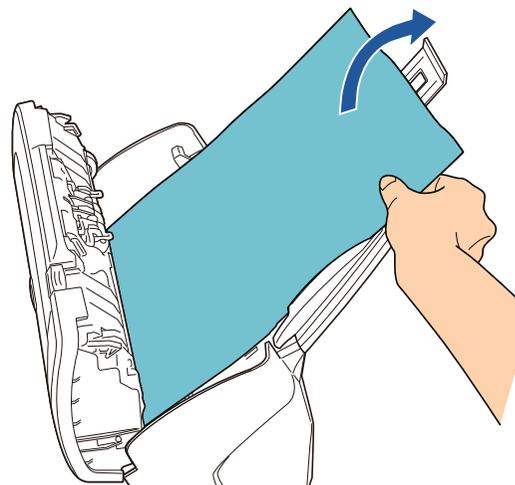
1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開きます。
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。

⚠ 注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



- ステープルやクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがありますので注意してください。

4 ADF を閉じます。
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.26) を参照してください。



- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が読み込まれないおそれがあります。
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF の内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.2 操作パネルのエラー表示

スキャナにトラブルが発生すると、Check ランプ (LED) が橙色に点灯します。一時的エラーの場合は「J」または「U」と「エラー番号」が、装置異常の場合は「E」、「F」、「C」、「H」、「A」、または「L」のうちの1つと「アラーム番号」がそれぞれ交互に、ファンクションナンバーディスプレイに表示されます。一時的エラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となります。なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態 (「1」) に戻ります。原稿づまりエラーの場合は、スキャナ内に原稿がない状態 (読み取り可能な状態) であれば、一定時間経過すると自動的に表示がクリアされます。



お使いのコンピュータに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows の起動と同時に Error Recovery Guide の画面が表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



Error Recovery Guide は、Setup DVD-ROM に収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

一時的エラー

お客様による復旧が可能な一時的なエラーです。
エラーの一覧を次に示します。

■搬送系エラー

「J」と「エラー番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
J0	原稿を保護するために搬送を停止しました。	1 つまった原稿を取り除いてください。 原稿の取り除き方法については、「 8.1 原稿づまりが発生したときは 」(P.130)を参照してください。
J1	原稿づまりが発生しました。	2 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 詳細は、「 2.3 ADF で読み取りできる原稿 」(P.44)を参照してください。
J2	マルチフィードが発生しました。	操作パネルの [Send to] ボタンを押すと、マルチフィードされた原稿が排出されます。

■カバーオープンエラー、印字エラーなど

「U」と「エラー番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
U0	輸送ロックエラーが発生しました。 [fi-6230Z/fi-6240Z]	輸送ロックスイッチを解除してください。 輸送ロックスイッチの解除方法については、スタートアップガイドの「 スキャナを設置します 」を参照してください。
U4	読み取り中に ADF が開けられました。	ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。
U5	読み取り中にインプレッタのインクカバーが開けられました。 (インプレッタ搭載時)	インプレッタのインクカバーを閉じて、原稿をセットし直してください。
U6	インプレッタのプリントカートリッジがセットされていません。 (インプレッタ搭載時)	インプレッタ (別売) 関連の一般的エラーです。 詳細については、fi-614PR インプレッタ オペレーターガイドを参照してください。

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。エラーの一覧を次に示します。

■駆動系異常、光学異常、内部異常

「E」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
E0	フラットベッドの駆動系異常が発生しました。 [fi-6230Z/fi-6240Z]	1 輸送ロックスイッチが解除されているかを確認してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。
E1	光学異常（フラットベッド）が発生しました。 [fi-6230Z/fi-6240Z]	1 ガラスを清掃してください。清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112) を参照してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。
E2	光量異常（ADF 表面）が発生しました。	1 ガラスを清掃してください。清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112) を参照してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。
E3	光量異常（ADF 裏面）が発生しました。	1 ガラスを清掃してください。清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112) を参照してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。

表示	項目	対処法
E6	操作パネル異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。
E7	EEPROM 異常が発生しました。	
E8	SCSI 異常が発生しました。 [fi-6140Z/fi-6240Z]	
E9	メモリ異常が発生しました。	

■オーバラン異常

「F」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
F4	裏当て切り替え異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■チップ系異常

「C」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
C0	LSI異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社/販売店または「 PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.209)にお問い合わせください。

■モーター系異常

「H」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
H0	モーター系異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社/販売店または「 PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.209)にお問い合わせください。
H6	インプリンタの回路異常が発生しました。 (インプリンタ搭載時)	
H7	ランプ系異常が発生しました。	
H8	裏当てモーター系異常発生しました。	

■オプション系異常 (インプリンタ搭載時)

「A」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
A0	インプリンタのコントロールボード異常が発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> インプリンタのEXTケーブルがスキャナ背面のEXTコネクタに正しく接続されているかを確認してください。 詳細については、fi-614PRインプリンタ オペレーターガイドを参照してください。 プリントカートリッジが正しく取り付けられているかを確認してください。 詳細については、fi-614PRインプリンタ オペレーターガイドを参照してください。 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社/販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209)にお問い合わせください。
A1	インプリンタに通信タイムアウトエラーが発生しました。	
A2	インプリンタのインクヘッド異常が発生しました。	
A3	インプリンタのEEPROM異常が発生しました。	
A4	インプリンタのROM異常が発生しました。	

■センサー系異常

「L」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
L6	センサー異常が発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 超音波センサーの周辺にゴミなどが付着している場合は、取り除いてください。 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.155)の各項目を確認して、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージングサービス & サポートセンター」(P.209)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

症状一覧
「電源が投入されない」(P.137)
「ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える」(P.138)
「読み取りが開始されない」(P.139)
「白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる」(P.140)
「文字や線の読み取り結果が良くない」(P.141)
「画像がゆがむまたは鮮明ではない」(P.142)
「読み取った画像に縦線が出る」(P.143)
「スキャナに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常(「E」またはそのほかの数字や文字)が表示されている」(P.144)
「マルチフィードが頻繁に起こる」(P.145)
「原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる」(P.147)
「原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる」(P.148)

症状一覧
「読み取った画像が間延びする」(P.149)
「読み取った画像の先端または後端に影がある」(P.150)
「原稿に黒い跡が残る」(P.151)
「A3 キャリアシートがうまく送られない / つまる」(P.152)
「A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける」(P.154)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

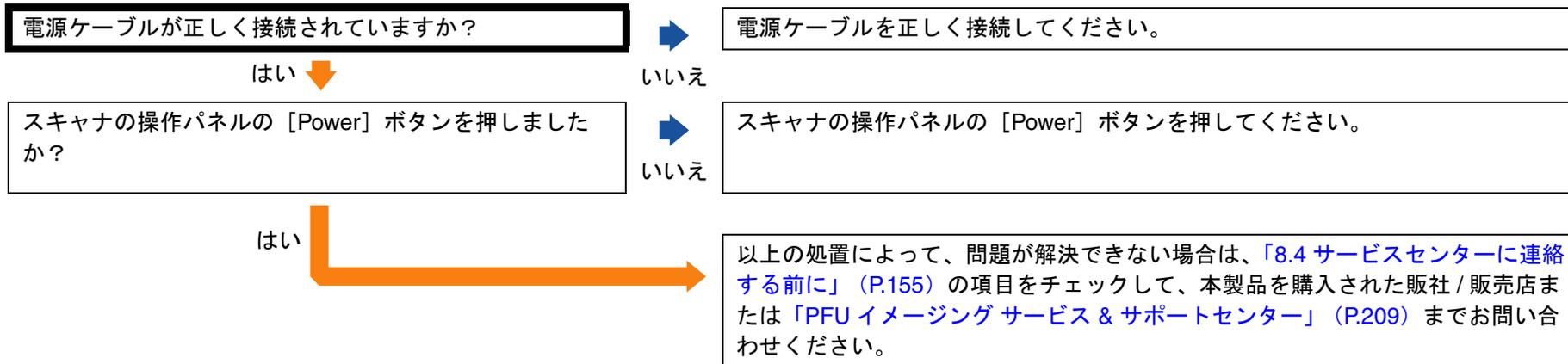
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

電源が投入されない



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

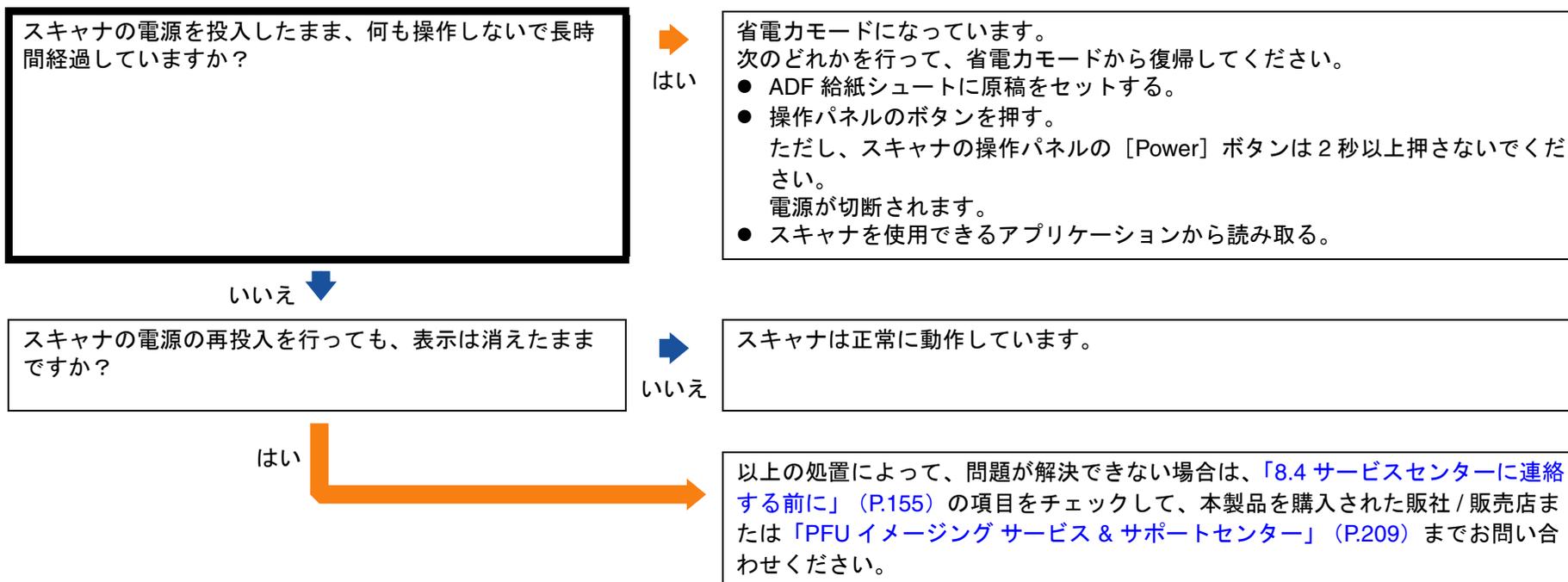
困ったときには

スキャナの動作設定

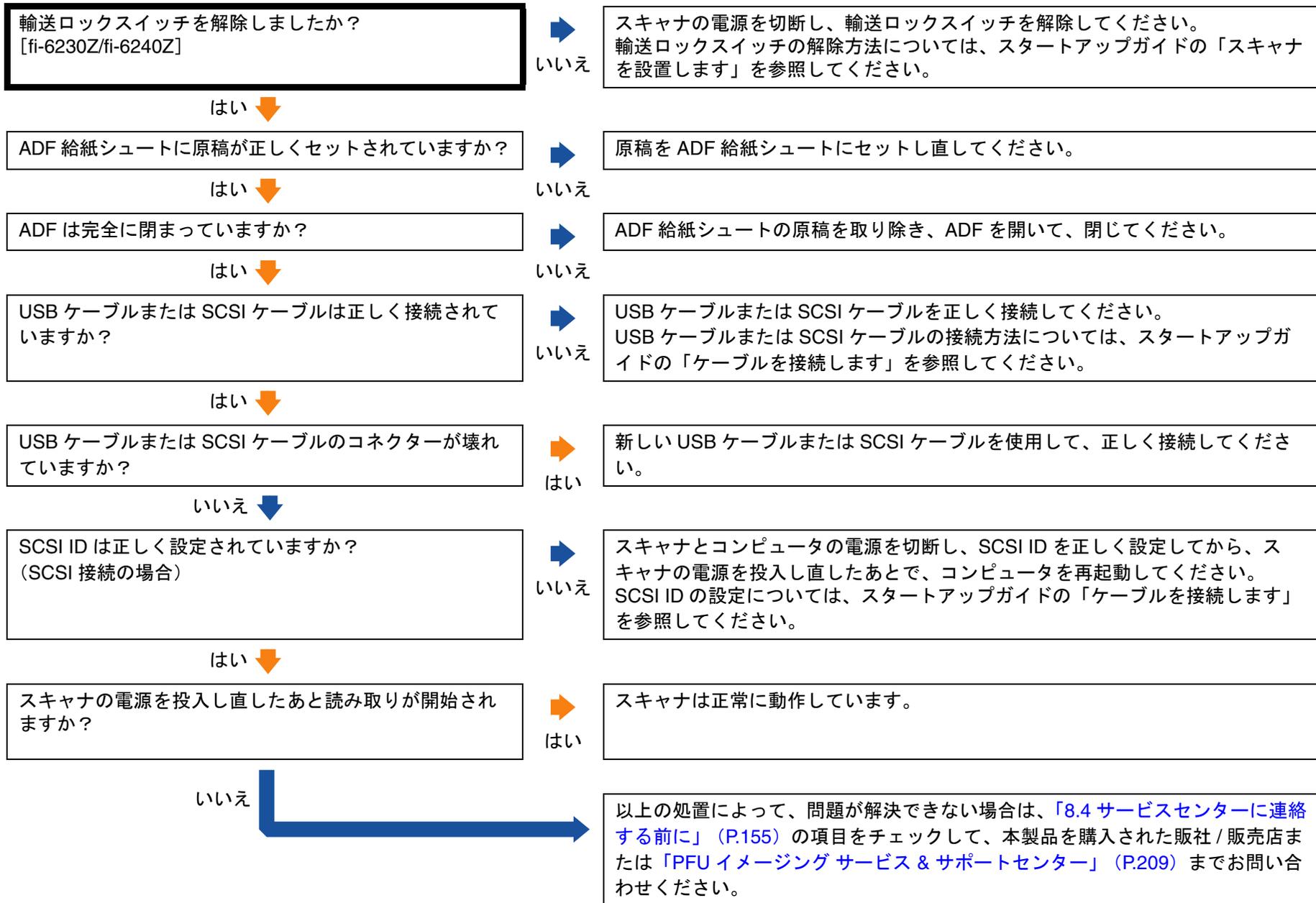
付録

用語集

ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える



読み取りが開始されない



はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

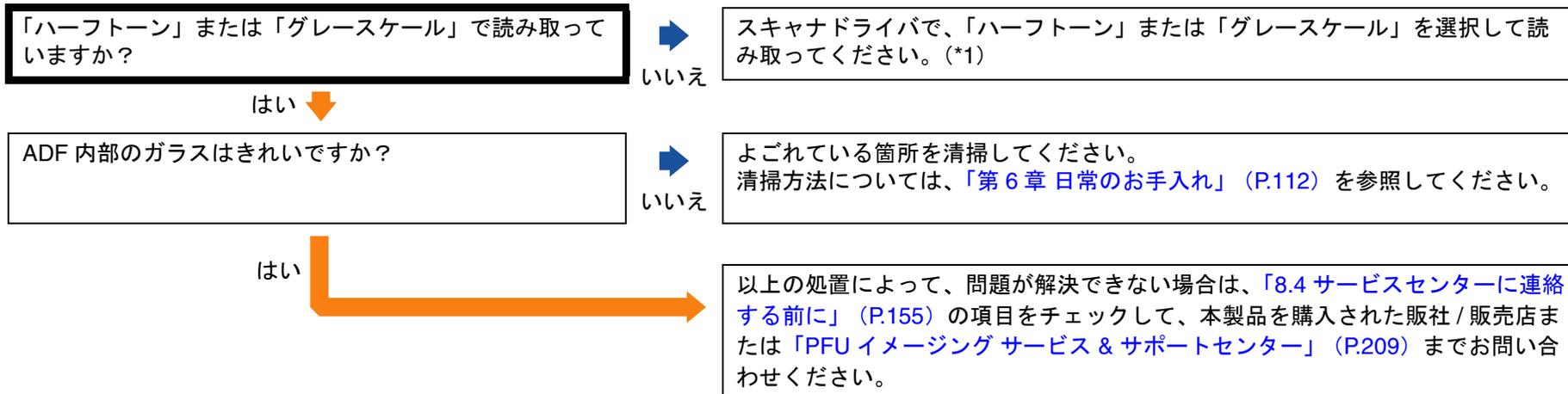
困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

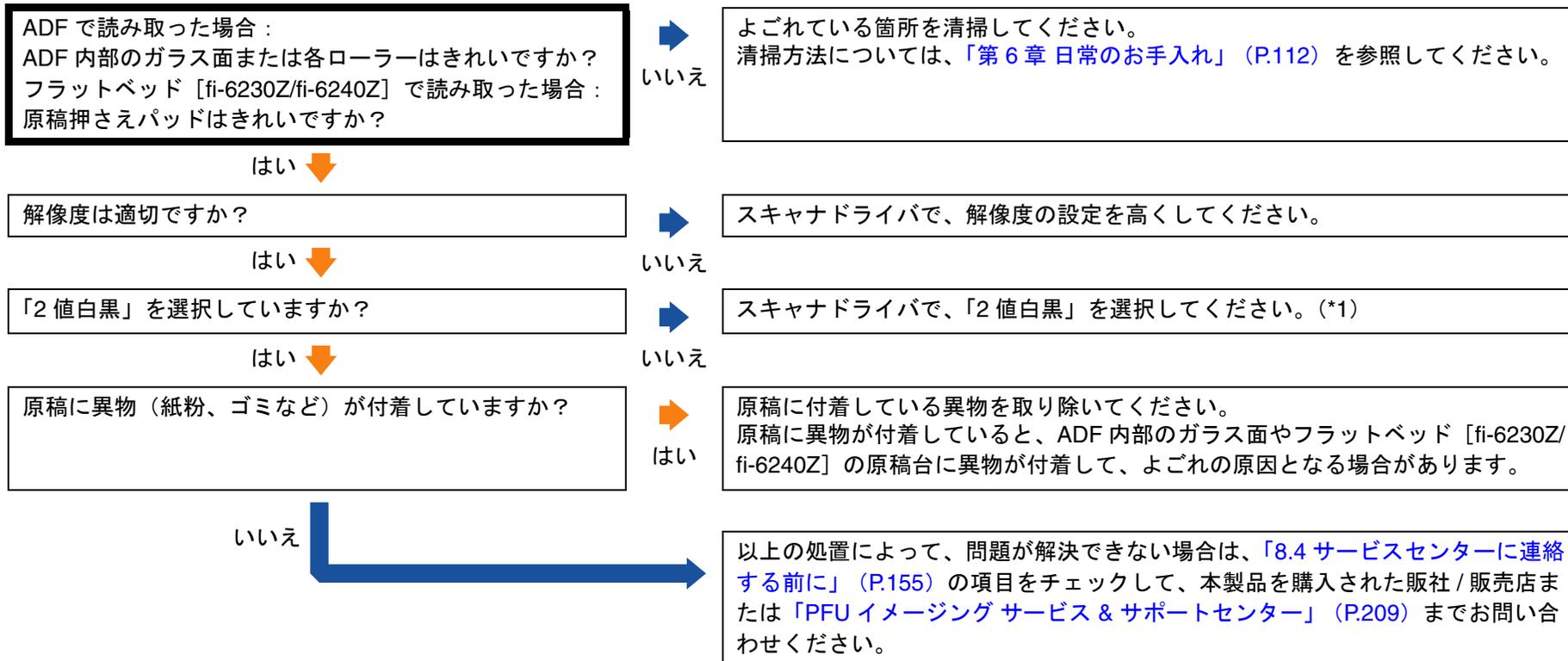
用語集

白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる



*1：絵や写真を単純に2値化（白黒化）すると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。スキャナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「ハーフトーン」、「グレースケール」に設定して読み取ってください。

文字や線の読み取り結果が良くない



*1：ハーフトーン、グレースケール、カラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。スキャナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「2値白黒」に設定してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

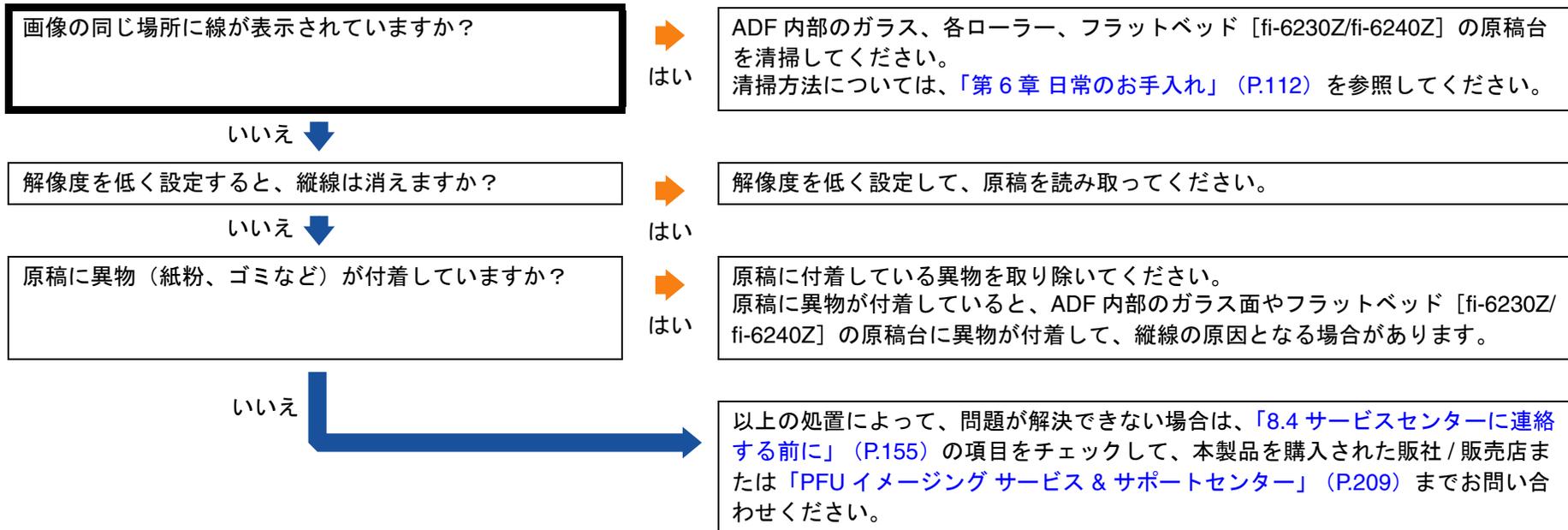
困ったときには

スキャナの動作設定

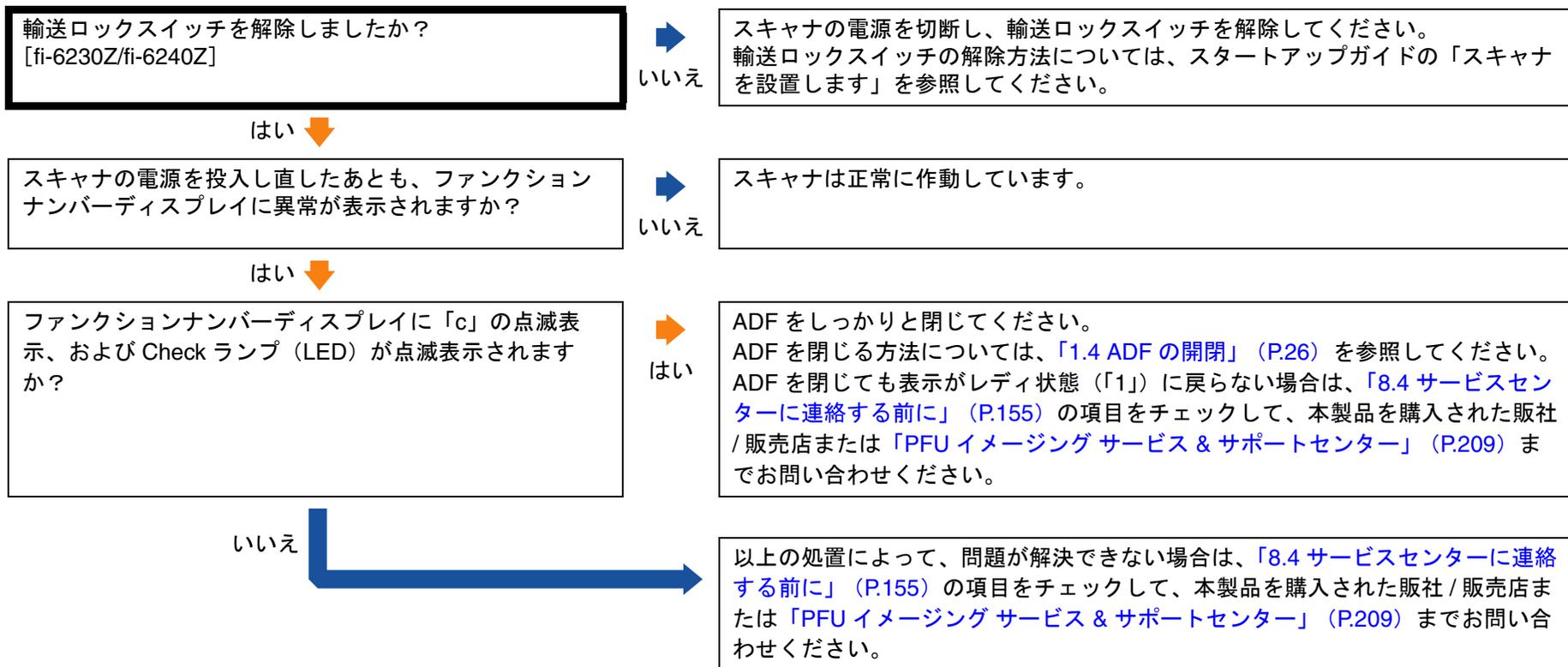
付録

用語集

読み取った画像に縦線が出る



スキャナに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはそのほかの数字や文字）が表示されている



マルチフィードが頻繁に起こる

<p>原稿の状態は、「読み取りできる原稿の条件」(P.44)の「事前の注意」で説明している要件を満たしていますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>要件を満たしている原稿をお使いください。 要件については、「2.3 ADFで読み取りできる原稿」(P.44)を参照してください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>A3キャリアシートを使用して読み取るとき、スキャナドライバの設定画面で「給紙」に「見開き」、「切り出し表面」、または「切り出し両面」を設定していますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>スキャナドライバの設定画面で「給紙」に「見開き」、「切り出し表面」、または「切り出し両面」を設定してください（「A4サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」(P.73)または「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」(P.76)）。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>マルチフィードの検出がオンになっているとき、マルチフィードを正しく検出できない原稿が含まれていませんか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>マルチフィードを正しく検出するための条件を満たしてください。 マルチフィードの検出条件については、「マルチフィードを正しく検出するための条件」(P.48)を参照してください。 必要に応じてマルチフィード検出範囲を指定してください（「マルチフィードを検出したいとき」(P.107)）。</p>
<p>いいえ ↓</p>		
<p>プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。</p>
<p>いいえ ↓</p>		
<p>原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>原稿をセットする前に原稿をさばいてください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>3、4回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。</p>
<p>いいえ ↓</p>		
<p>原稿の束の高さは5mm未満ですか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>原稿の分量を減らしてください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>消耗品(*1)は正しく取り付けられていますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>消耗品(*1)を正しく取り付けてください。 取り付け方法については、「第7章 消耗品の交換」(P.122)を参照してください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>消耗品(*1)がよごれていますか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>消耗品(*1)を清掃してください。 清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112)を参照してください。</p>
<p>いいえ (続く) ↓</p>		

いいえ (続き) ↓

消耗品 (*1) が擦り減っていますか？

はい

消耗品カウンターを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。
消耗品の交換方法については、「第7章 消耗品の交換」(P.122)を参照してください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.155)の項目を
チェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」
(P.209)にお問い合わせください。

*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

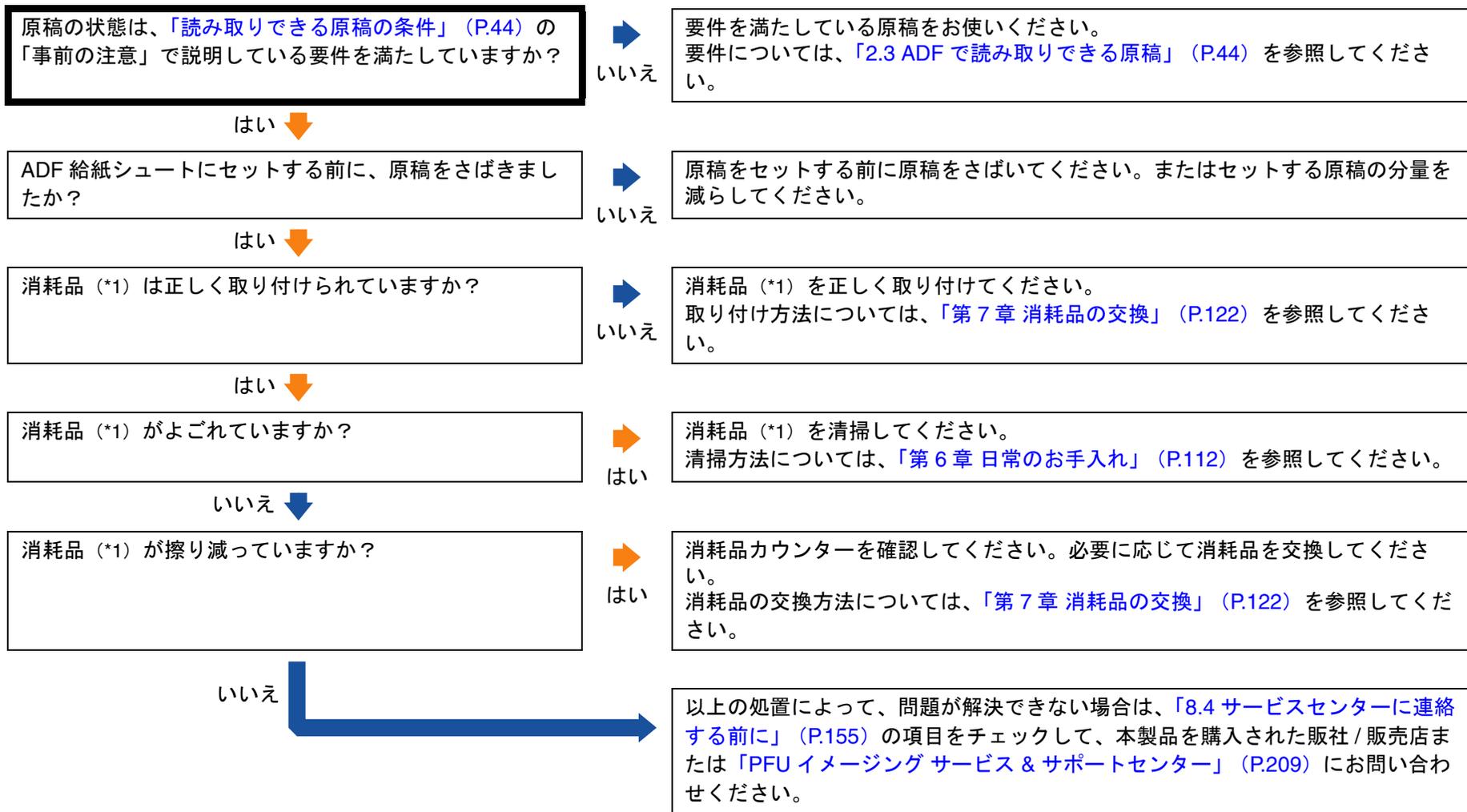
困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

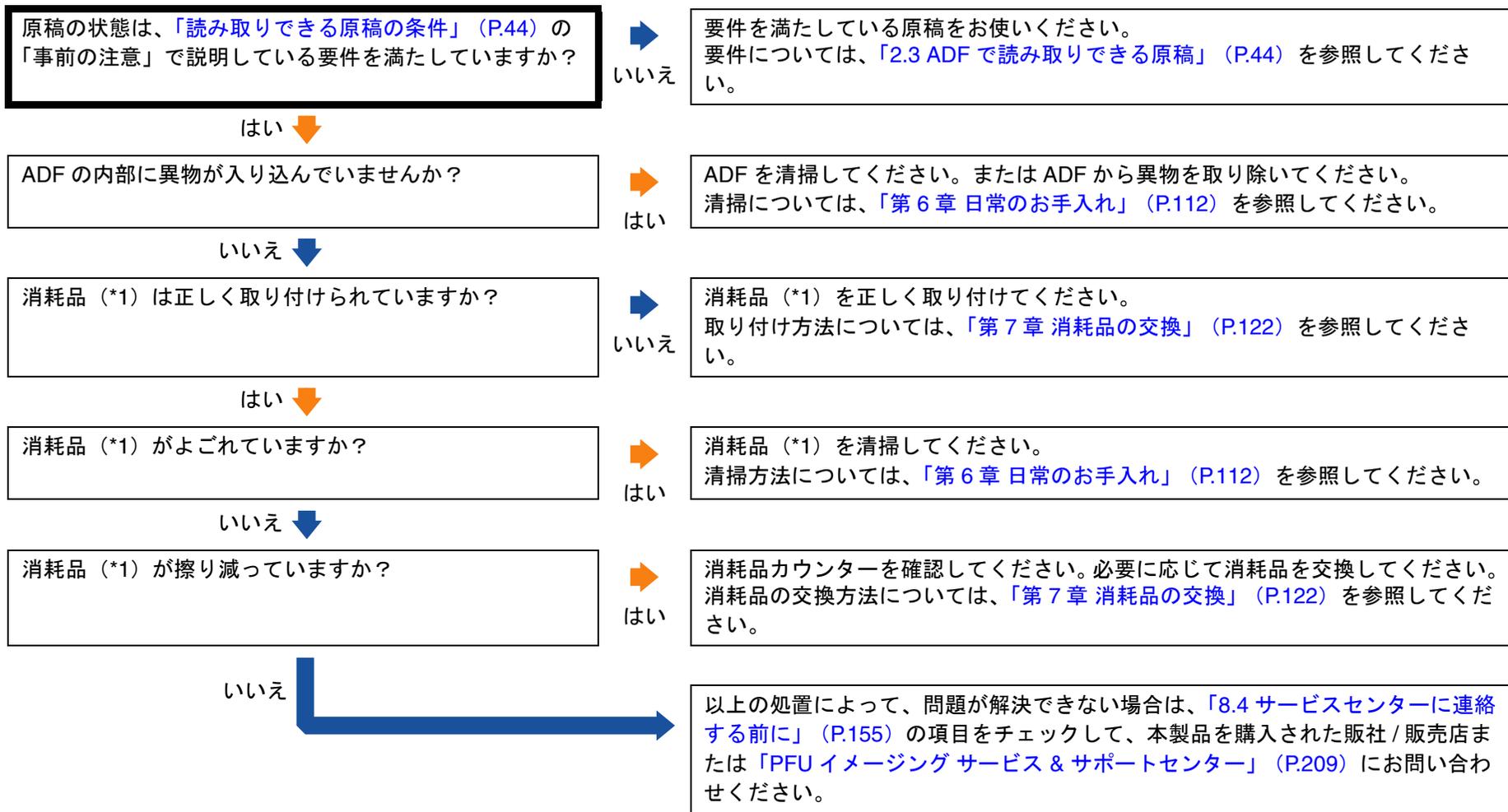
用語集

原稿が ADF に送られない状態が頻繁に起こる



*1: 消耗品とは、ブレーキローラおよびピックアップローラです。

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

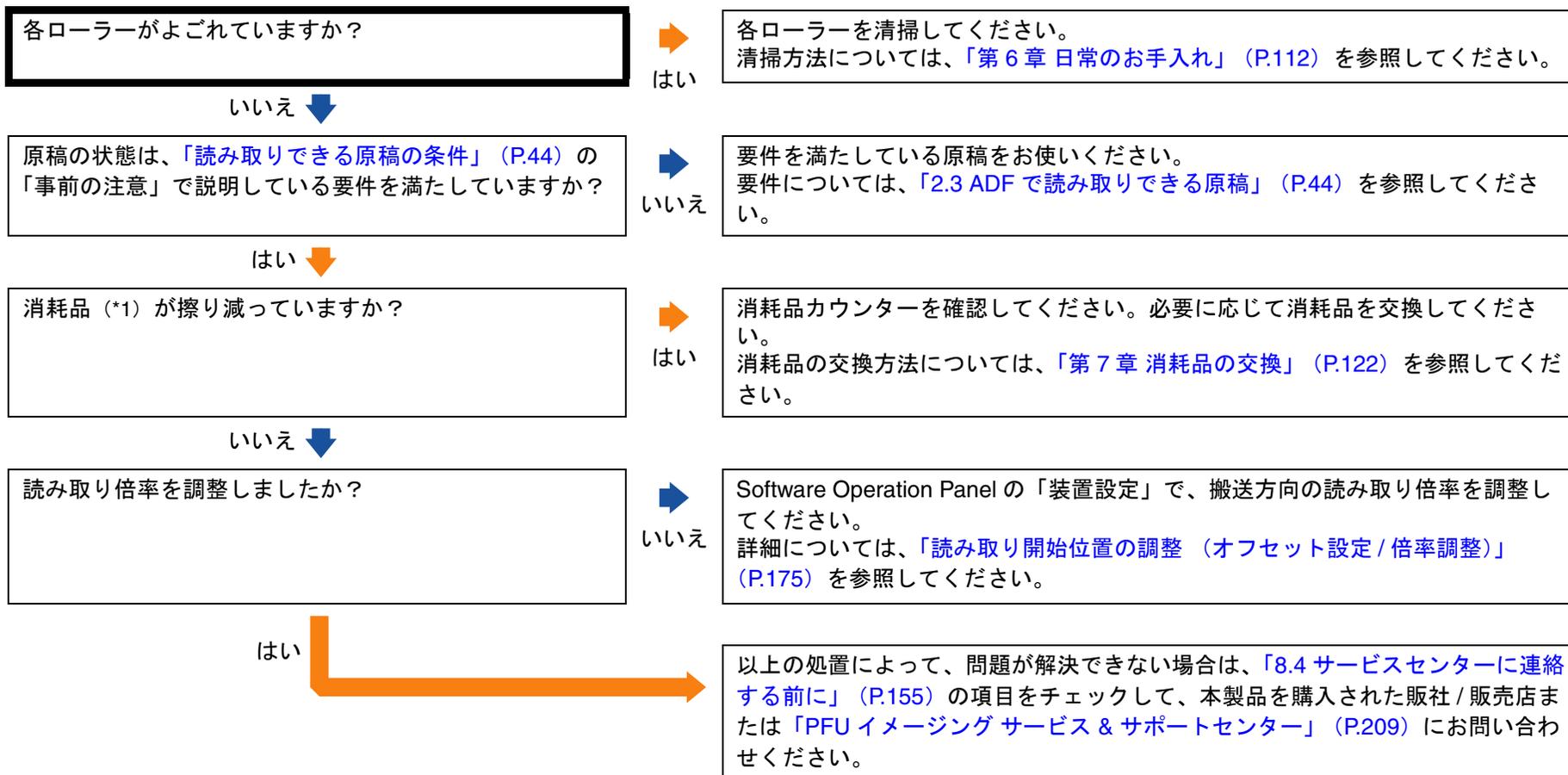
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

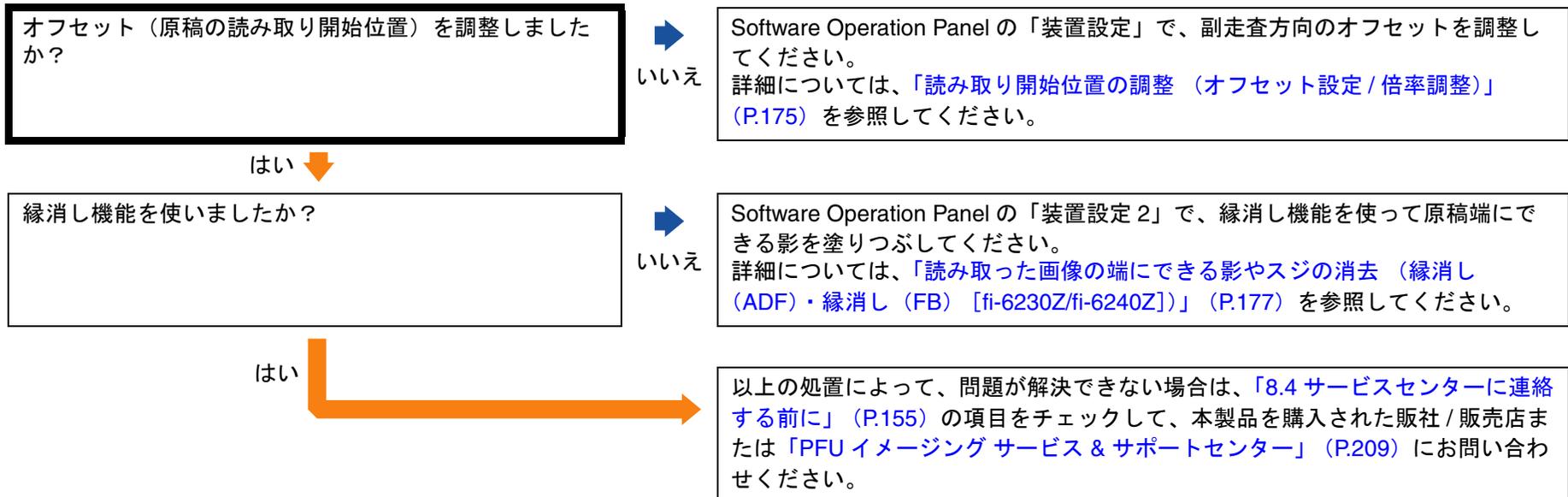
用語集

読み取った画像が間延びする



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

読み取った画像の先端または後端に影がある



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

原稿に黒い跡が残る

鉛筆書きの原稿を読み取っていますか？

はい

鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」(P.112)を参照してください。

いいえ

ADF 内部のガラス面または各ローラーはきれいですか？

いいえ

よごれている箇所を清掃してください。清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」(P.112)を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.155)の項目をチェックして、本製品を購入された弊社/販売店または「[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.209)までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる

A3 キャリアシートだけを連続して読み取りませんでしたか？	はい	PPC 用紙（再生紙）など 50 枚程度を連続給紙したあとに、A3 キャリアシートを読み取ってください。 PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
いいえ ↓		
A3 キャリアシートはきれいですか？	いいえ	次のどちらかを行って、対処してください。 <ul style="list-style-type: none">● A3 キャリアシートを清掃してください。 清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112)を参照してください。● 新しいA3 キャリアシートに交換してください。 A3 キャリアシートのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.209)にお問い合わせください。
はい ↓		
ADF 給紙シュートに A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？	いいえ	ADF 給紙シュートに A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。 A3 キャリアシートのセット方法については、「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」(P.73)または「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」(P.76)を参照してください。
はい ↓		
ADF 内部のガラス面または各ローラーはきれいですか？	いいえ	よごれている箇所を清掃してください。 清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112)を参照してください。
はい ↓		
消耗品 (*1) が擦り減っていますか？	はい	消耗品カウンターを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。 消耗品の交換方法については、「第7章 消耗品の交換」(P.122)を参照してください。
いいえ ↓		
ADF の内部に異物が入り込んでいませんか？	はい	ADF を清掃してください。または ADF から異物を取り除いてください。 清掃については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112)を参照してください。
いいえ (続く) ↓		

いいえ（続き） ↓

厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいませんか？

はい

厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんで読み取れません。A3 キャリアシートにはさんで読み取れる原稿の厚さについては、「[A3 キャリアシートを使用する場合の条件](#)」(P.53)を参照してください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.155)の項目をチェックして、本製品を購入された弊社 / 販売店または「[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.209)までお問い合わせください。

*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りませんでしたか？

はい

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を1枚ずつはさんで読み取ってください。

いいえ ↓

原稿の折り目が、A3 キャリアシートからはみ出ていませんか？

はい

原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分をA3 キャリアシートの端から1mmほど内側にずらしてはさんでください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.155)の項目をチェックして、本製品を購入された弊社/販売店または「[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.209)までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209)）に連絡する前に、次の項目をお調べください。

概要

調べる項目	調査結果
スキャナ名	例：fi-6240Z スキャナ名については「8.5 装置ラベルの確認」(P.157)を参照してください。
製造番号 (シリアルナンバー)	例：000001 製造番号については「8.5 装置ラベルの確認」(P.157)を参照してください。
製造年月	例：2011-06（2011年6月） 製造年月については「8.5 装置ラベルの確認」(P.157)を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：fi-614PR オプションについては「付.4 スキャナのオプション」(P.202)を参照してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

エラーの状況

■コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	例：USB インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	

■搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

■画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
アプリケーションの種類	例：ScandAll PRO
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、2値白黒

■その他

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方をE-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

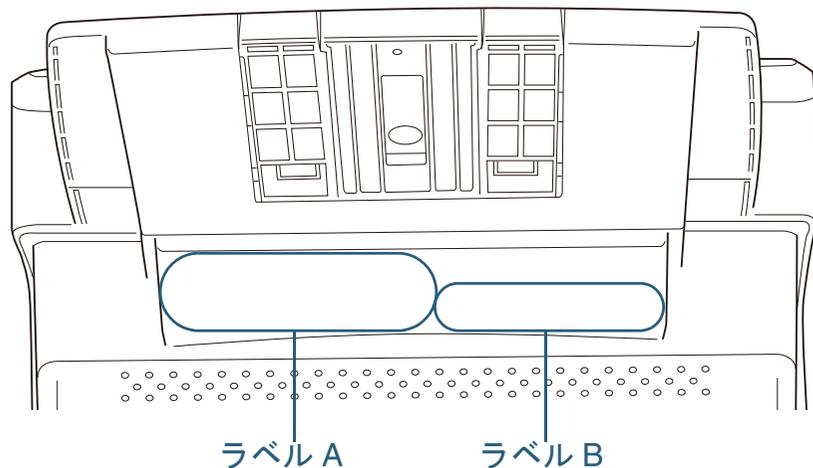
用語集

8.5 装置ラベルの確認

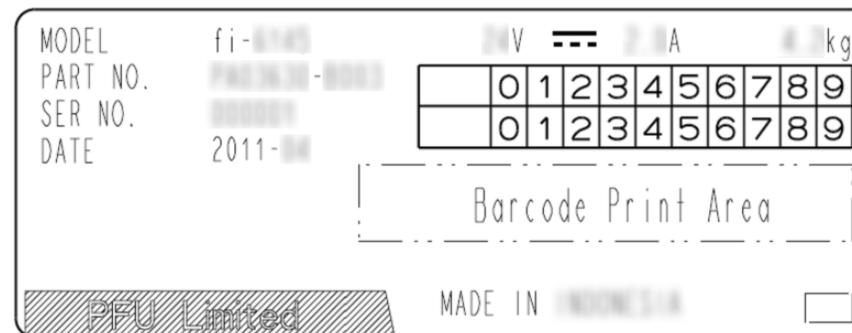
ラベルの確認方法について説明します。

ラベルの位置

2つのラベルの位置を次に示します。



ラベル A 例：スキャナの情報を示しています。



ラベル B 例：スキャナが適合する規格について示しています。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第9章 スキャナの動作設定

この章では、Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明します。

9.1 Software Operation Panel の起動	159
9.2 Software Operation Panel のパスワード設定	160
9.3 設定できる項目	166
9.4 ページカウンタに関する設定	172
9.5 読み取りに関する設定	175
9.6 マルチフィード検出に関する設定	186
9.7 待機時間に関する設定	192
9.8 電源投入 / 切断に関する設定	194

9.1 Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel はスキャナドライバ（TWAIN ドライバ/ISIS ドライバ/Kofax VRS）と同時にインストールされます。

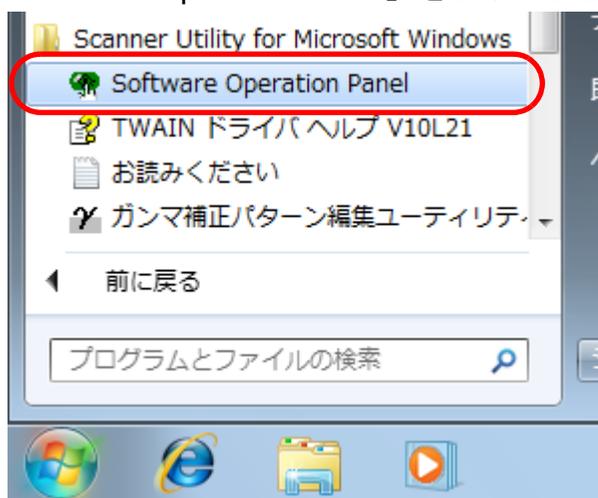
このアプリケーションを利用することで、読み取り時の動作や消耗品の管理などを設定できます。



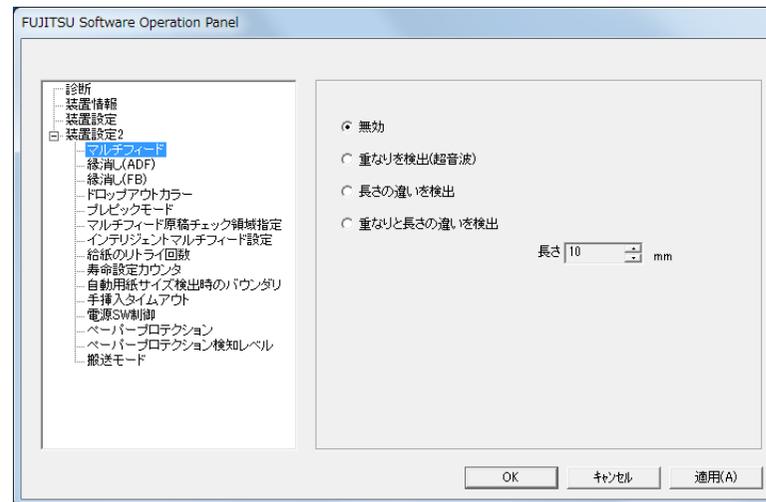
- Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。
- スキャナを複数台接続しても2台目以降のスキャナは認識されません。スキャナは2台以上接続しない状態でお使いください。

1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入/切断」（P.25）を参照してください。

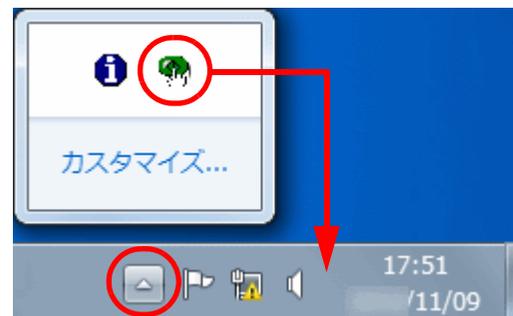
2 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Utility for Microsoft Windows」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。



⇒ 「FUJITSU Software Operation Panel」画面が表示されます。



⇒ タスク バーの をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。タスク バーに Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、Software Operation Panel のアイコンをタスク バーにドラッグ&ドロップしてください。



以降、タスク バーに Software Operation Panel のアイコンを常に表示させた場合を例に説明します。

9.2 Software Operation Panel のパスワード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定することにより、スキャナの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

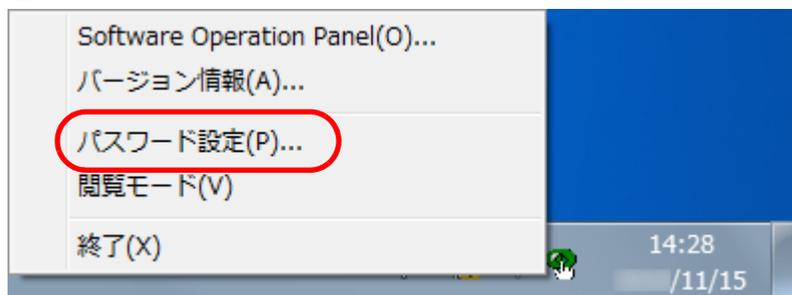
パスワードを設定していない状態では、スキャナの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限することで、不用意な設定変更を防止できます。

パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。

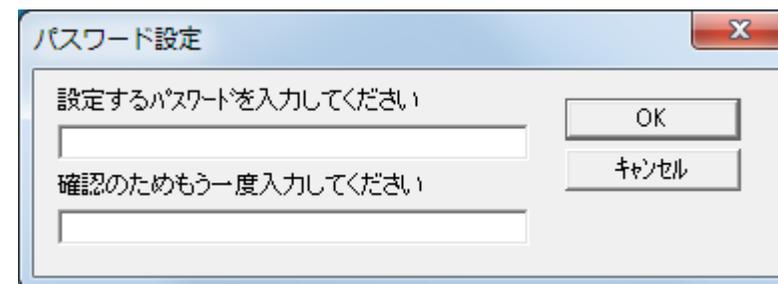


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。

入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

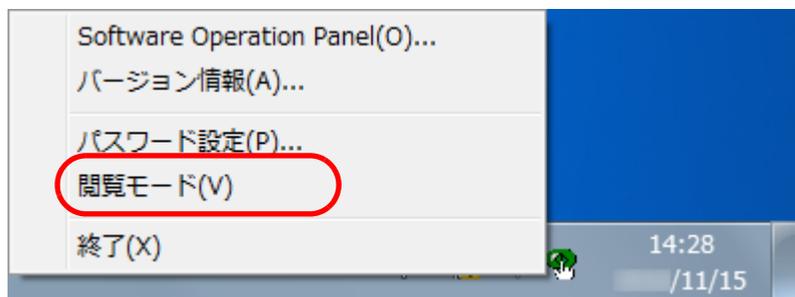
- 3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ パスワードが設定されます。

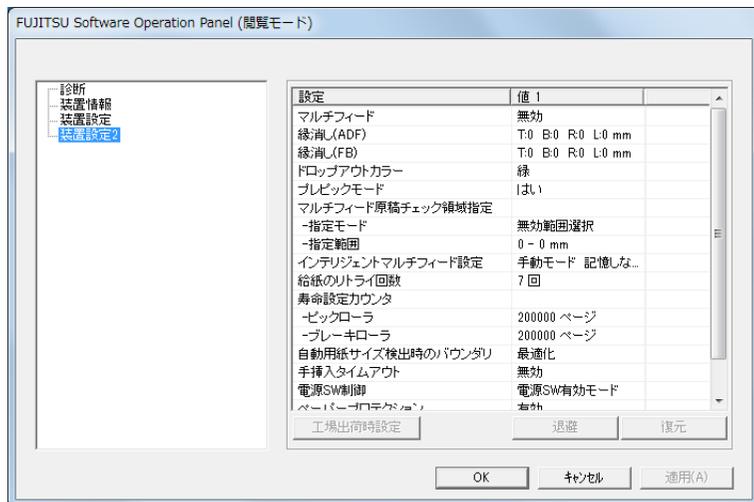
「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

- 1 パスワードを設定します。
「パスワードの設定」(P.160)を参照してください。
- 2 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



⇒ Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



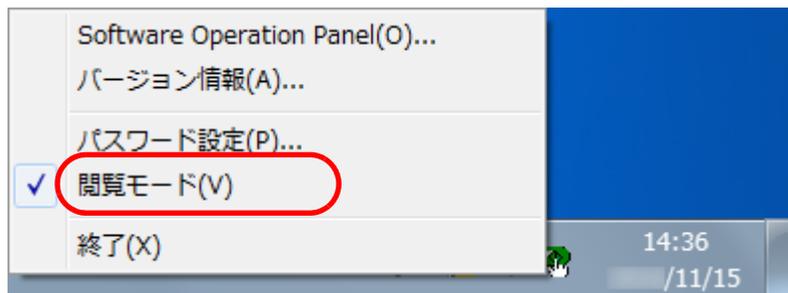
Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



「閲覧モード」の設定解除

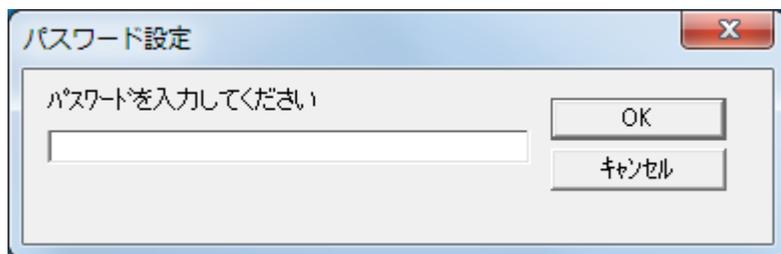
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

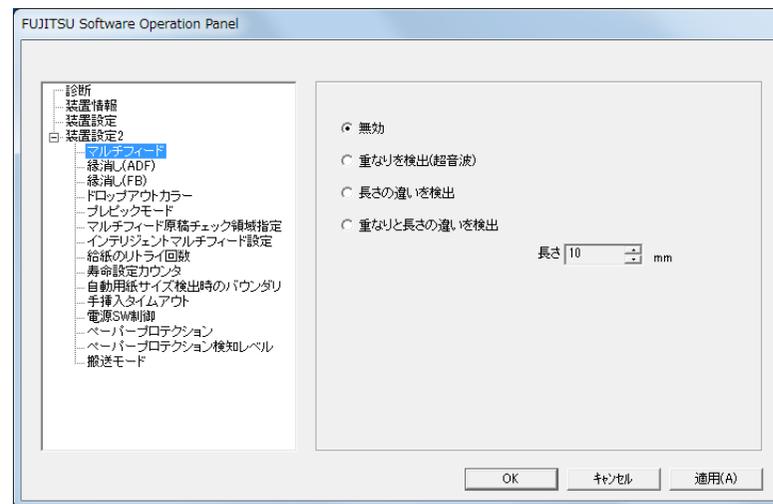


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナ設定可能なモードで起動されます。



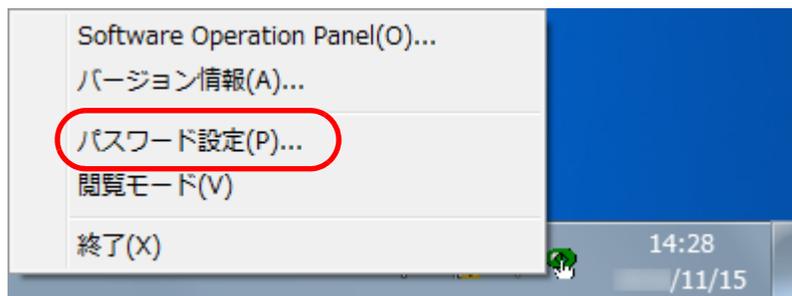
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



パスワードの変更

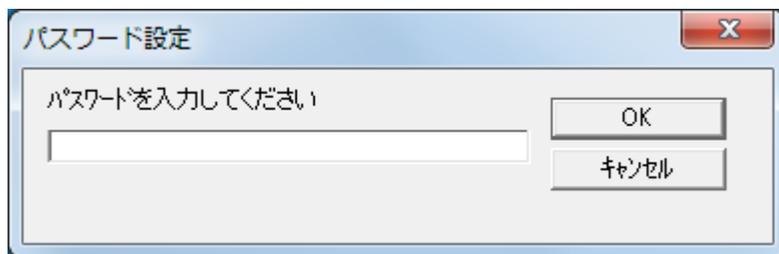
パスワードを変更します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



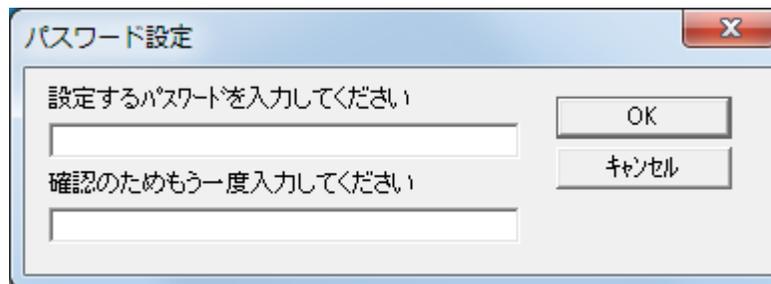
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は32文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



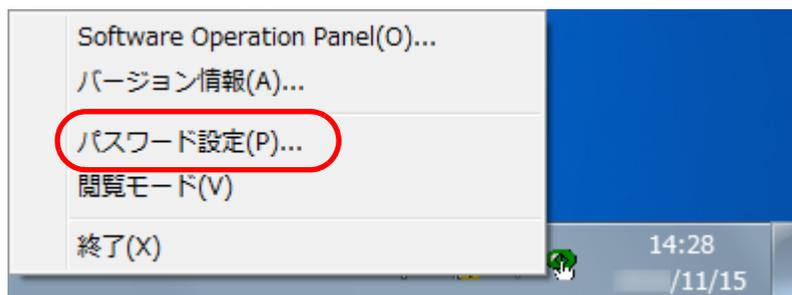
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

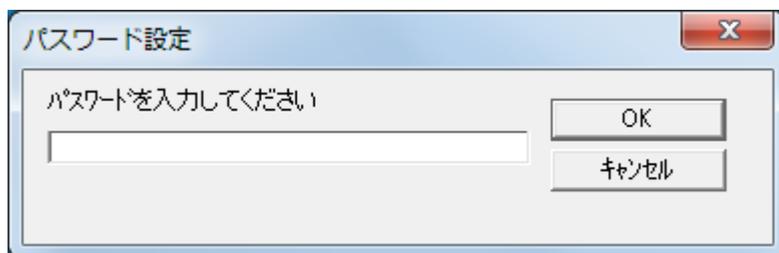
パスワードの設定を解除します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



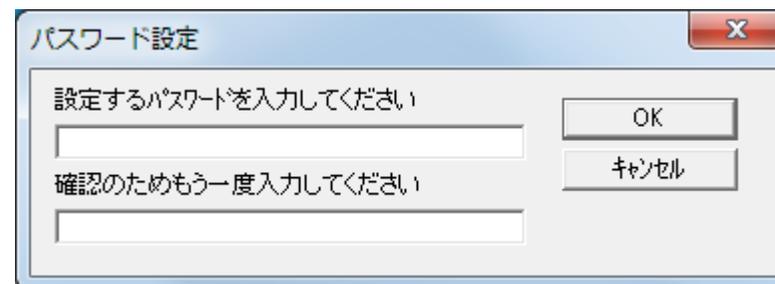
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



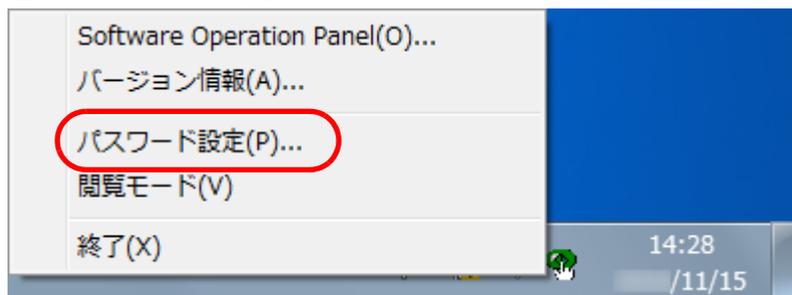
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードの設定が解除されます。

パスワード紛失時の対応

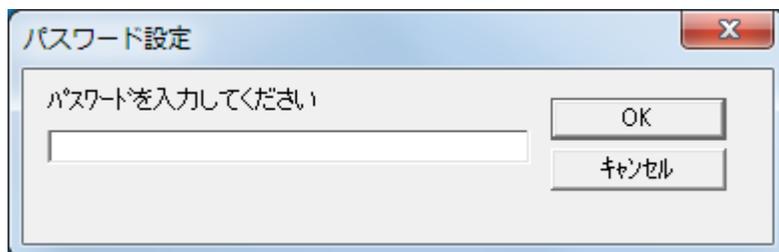
パスワードを紛失した場合、次の手順で、パスワードを再設定します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



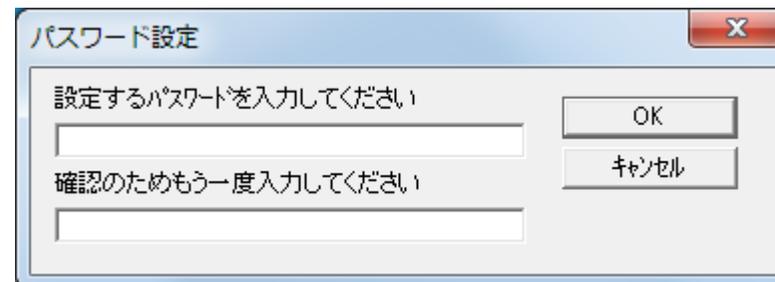
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 デフォルトパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

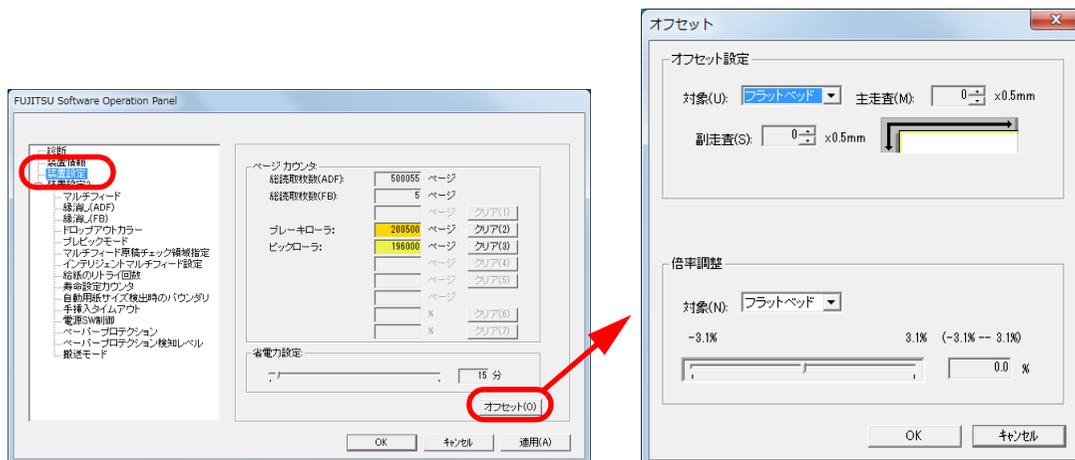
- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが再設定されます。

9.3 設定できる項目

Software Operation Panel では、コンピュータに接続されて
いるスキャナに対して次のような設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
ページカウンタ (P.172)	消耗品の交換時期を確認するために使用します。 また、消耗品を交換したときは、この機能を使ってカウンターをリセットします。	総読取枚数 (ADF) / 総読取枚数 (FB) [fi-6230Z/fi-6240Z] / プレーキローラ / ピックローラ	0
		インク残量 (インプリンタ搭載時)	インプリンタ搭載時だけ表示
省電力設定 (P.193)	省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。	5 ~ 235 分の範囲で設定 (5 分刻みで設定)	15 分
オフセット設定 (P.175)	対象で選択した読み取り面の、原稿の読み取り開始位置のズレを調整します。	対象 : フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z] / ADF (表面) / ADF (裏面) 主走査・副走査 : -2 ~ +2mm の範囲で設定 (0.5mm 刻みで設定)	主走査・副走査 : 0mm
倍率調整 (P.175)	対象で選択した読み取り方法の、搬送方向の読み取り倍率を調整します。	対象 : フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z] / ADF -3.1 ~ 3.1% の範囲で設定 (0.1% 刻みで設定)	0%

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

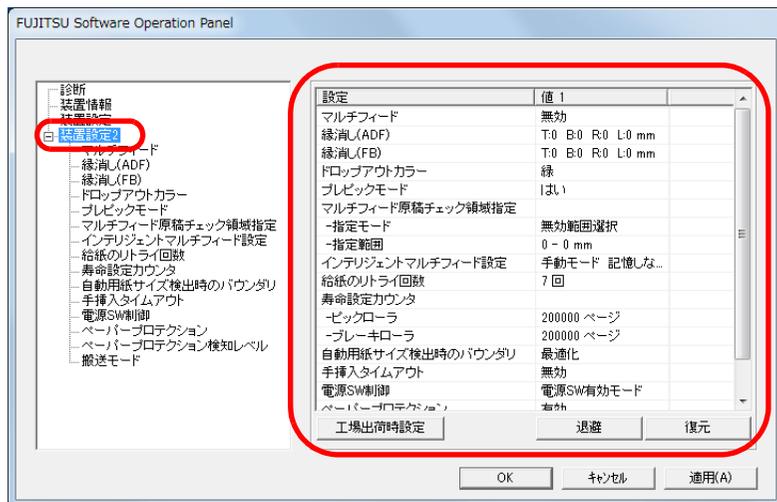
スキャナの動作設定

付録

用語集

装置設定 2

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



画面左のリストから、設定項目をクリックすると、画面の右に設定内容（パラメーター）が表示されます。

[工場出荷時設定] ボタンをクリックすると、工場出荷時の設定に戻せます。

[退避] ボタンをクリックすると、Software Operation Panel で設定している値をファイルに保存できます。

[復元] ボタンをクリックすると、Software Operation Panel で設定している値を保存したファイルを復元できます。

この画面で設定できる項目を次に示します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

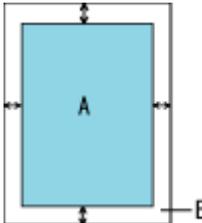
消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
マルチフィード (P.186)	マルチフィードの検出方法を設定します。重なり、原稿の長さ、または両方を監視し、マルチフィードを検出します。 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	無効 / 重なりを検出 (超音波) / 長さの違いを検出 / 重なりと長さの違いを検出 長さ (長さの違い検出時: 10/15/20mm から選択)	無効 長さ: 10mm
縁消し (ADF) 縁消し (FB) [fi-6230Z/fi-6240Z] (P.177)	読み取られた画像の端面を指定された幅だけ白色または黒色で塗りつぶします。 裏当て (背景色) が、白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。 TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、本設定で出力された画像に対して、TWAIN ドライバの「縁消し」処理が行われず。	ADF : 上端 / 左端 / 右端 : 0 ~ 15mm 下端 : -7 ~ 7mm (1mm 刻みで設定可能) FB [fi-6230Z/fi-6240Z] : 上端 / 下端 / 左端 / 右端 : 0 ~ 15mm  (A : 画像領域、B : 縁消し領域、A+B : 出力領域)	上 / 下 / 左 / 右 : 0mm
ドロップアウトカラー (P.179)	指定した色を除いて原稿を読み取ります (2 値白黒 / グレースケールモード時だけ)。 TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。 ISIS ドライバの場合、常にスキャナドライバの設定が有効になります。	赤 / 緑 / 青 / なし	緑
プレピックモード (P.180)	処理速度を優先する場合は「はい」をクリックします。そうでない場合は「いいえ」をクリックします。 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	はい / いいえ	はい

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
マルチフィード原稿チェック領域指定 (P.188)	選択範囲：マルチフィード検出を行う範囲を制限したい場合にチェックします。	選択範囲のチェック	チェックなし
	有効 / 無効（中）：指定した範囲に対してマルチフィードを有効にするか、無効にするかを選択します。	有効 / 無効 (選択範囲をチェックした場合)	無効
	開始位置（中）：範囲の開始位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ～ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm
	終了位置（中）：範囲の終了位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ～ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm
インテリジェントマルチフィード設定 (P.191)	原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置を認識し、マルチフィードとして検出しないようにできます。ただし、スキャナドライバの設定画面または「マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）」（P.186）のマルチフィード設定で、事前に「重なりを検出（超音波）」または「重なりと長さの違いを検出」に設定しておく必要があります。	手動モード / 自動モード 1 / 自動モード 2	手動モード
	自動モードで記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）をクリアしたい場合にチェックします。	重なりパターンのクリアのチェック	チェックなし
	電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するか、記憶しないかを選択します。	記憶する / 記憶しない	記憶しない
給紙のリトライ回数 (P.181)	給紙時（ピックミスした場合）のリトライ回数を変更したい場合に設定します。	1 ～ 12 回	7 回
寿命設定カウンタ (P.174)	消耗品の交換周期を設定します。	ピックローラ / ブレーキローラ： 10,000 ～ 2,550,000 枚 (10,000 枚単位で設定します)	ピックローラ： 200,000 枚 ブレーキローラ： 200,000 枚

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
自動用紙サイズ検出時のバウンダリ (P.182)	自動用紙サイズ検出時の、データの端数を最適化するか切り捨てるかを選択します。	最適化 / 切り捨て	最適化
手挿入タイムアウト (P.192)	手挿入を無効にするか、有効にするかを選択します。	無効 / 有効	無効
	用紙無し検出までの時間設定：手挿入タイムアウトの設定を有効にした場合の、手挿入を解除するまでの待機時間を設定します。	5/10/20/30/40/50/60/70/80/90/100/110 秒	10 秒
電源 SW 制御 (P.194)	スキャナの電源の投入 / 切断方法を設定します。	電源 SW 有効モード / 電源 SW 無効モード / USB- 電源連動モード	電源 SW 有効モード
ペーパープロテクション (P.183)	ペーパープロテクションを有効にするか、無効にするかを選択します。 本機能を有効にすると、搬送異常時に発生する原稿の異常なたわみを検知した時点で読み取りを中止するため、原稿の破損を抑制できます。 手挿入モードでは、ペーパープロテクション設定は無効となります。 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	有効 / 無効	有効
ペーパープロテクション検知レベル (P.184)	ペーパープロテクションを有効にした場合の、原稿の異常搬送に対する検知レベルを設定します。	感度 - 低 / 通常 / 感度 - 高	通常
搬送モード [fi-6140Z/fi-6240Z] (P.185)	fi-6140Z/fi-6240Z の 200dpi 読み取り (60ppm) の場合に、横送りで、最大厚さ 1.4mm のプラスチックカードを読み取りできるように設定します。	通常 / 厚型カード (1.25mm 以上)	通常

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

9.4 ページカウンタに関する設定

ページカウンタの確認およびリセット

■ ページカウンタの確認

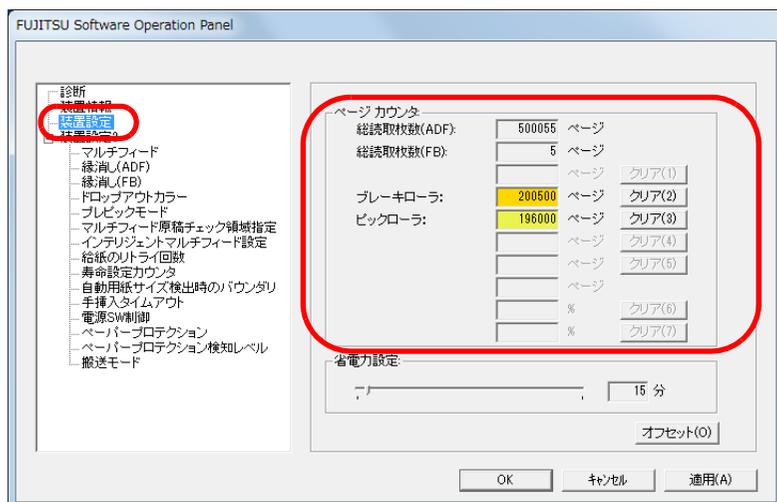
消耗品の交換時期を確認できます。

消耗品の交換が必要なカウンターの地色が変わります。

ブレーキローラおよびピックアップローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の「**消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）**」(P.174) で設定した値の 95% 以上になった場合にカウンターの地色が薄い黄色、100% 以上になった場合に黄色に変わります。インク残量のカウンターの地色は変わりません（インプリンタ搭載時だけ表示）。

1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159) を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

項目	説明
総読取枚数 (ADF)	ADF でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
総読取枚数 (FB) [fi-6230Z/fi-6240Z]	フラットベッド [fi-6230Z/fi-6240Z] でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
ブレーキローラ	ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数
ピックアップローラ	ピックアップローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数
インク残量	インプリンタ（別売）に搭載されたプリントカートリッジのインク残量（インプリンタ搭載時だけ表示）

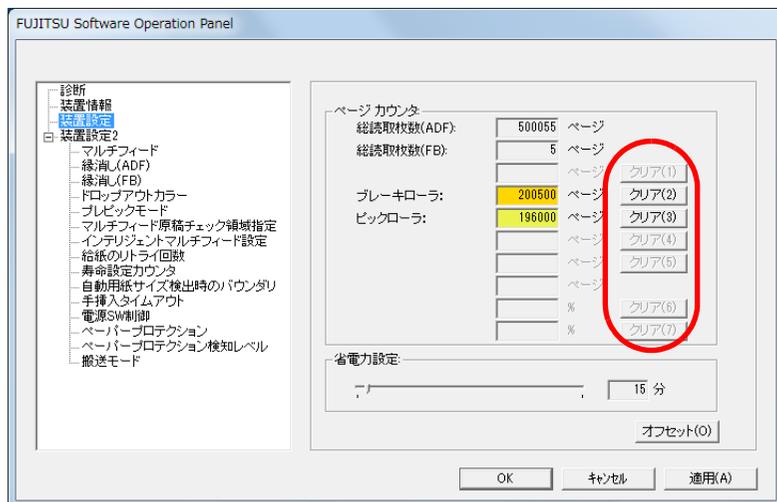


電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合や電源 SW 無効モードを設定している場合には総読取枚数カウンターが最大 9 枚分反映されないことがあります。
電源 SW 無効モードの設定については、「**電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）**」(P.194) を参照してください。

■ページカウンタのリセット

消耗品を交換した場合は、次の手順で、該当する消耗品カウンターをリセットします。

1 交換した消耗品の [クリア] ボタンをクリックします。



⇒ カウンター値が0になります。
インク残量の場合は、100になります。

2 「FUJITSU Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

■消耗品交換メッセージ

スキャナを使用していると、次のようなメッセージが表示されることがあります。

消耗品交換メッセージ



このメッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換してください。

[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。

消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- ブレーキローラ
「7.2 ブレーキローラの交換」(P.124)
- ピックローラ
「7.3 ピックローラの交換」(P.126)

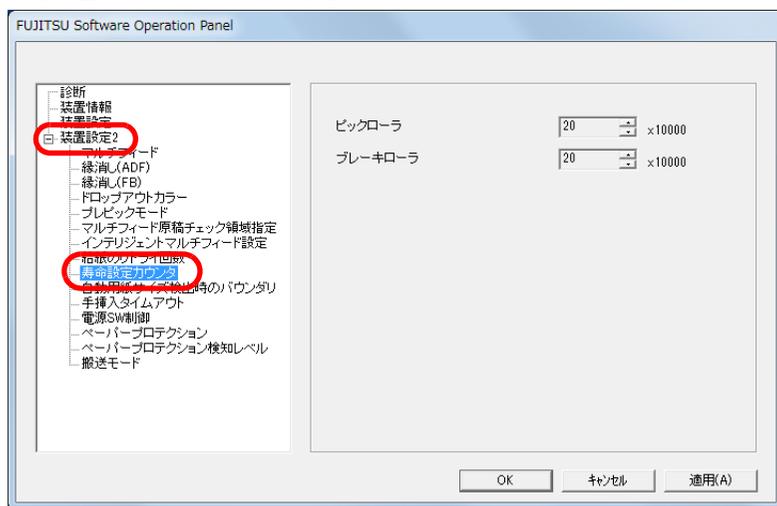
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）

消耗品の交換周期を設定できます。

消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の95%以上になった場合に「装置設定」カウンターの地色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

また、消耗品交換メッセージ（P.173）が表示されます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」（P.159）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。



- 3 各消耗品（ブレーキローラおよびピックアップローラ）の寿命設定カウント値を設定します。
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

9.5 読み取りに関する設定

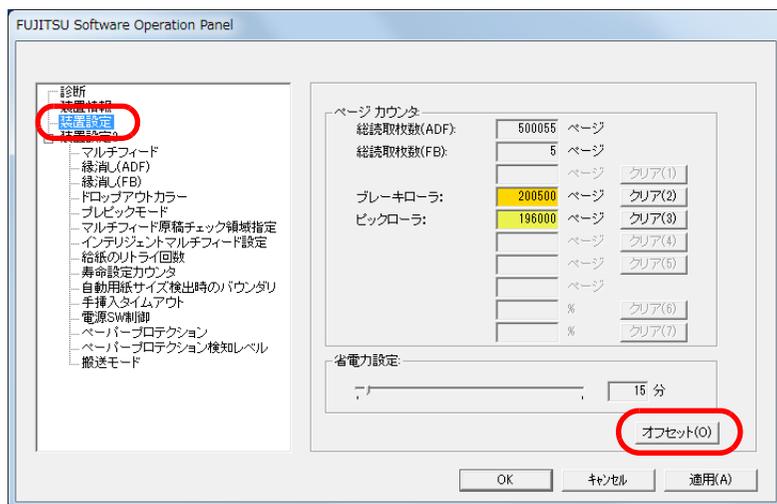
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定 / 倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、次の手順でオフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

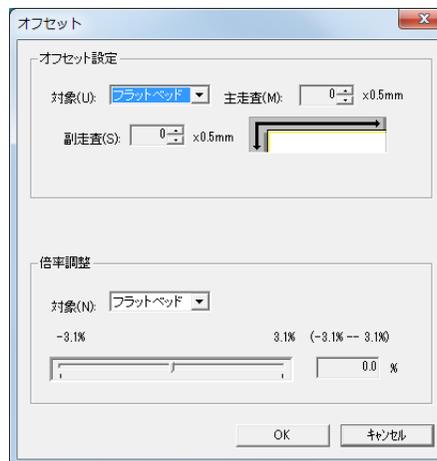


工場出荷時に適切な値に調整されているため、通常は調整していただく必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。



- 3 必要に応じて、オフセット / 副走査方向の倍率調整を行います。



オフセット設定	説明
対象	オフセット調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-6230Z/fi-6240Z]、「ADF（表面）」、「ADF（裏面）」から選択します。
主走査	主走査（幅）方向のオフセットを調整します。 -2 ～ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。
副走査	副走査（長さ）方向のオフセットを調整します。 -2 ～ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

倍率調整	説明
対象	倍率調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-6230Z/fi-6240Z] または「ADF」から選択します。
倍率調整 (副走査：長さ)	副走査（長さ）方向の倍率を調整します。 -3.1 ~ +3.1% の範囲で 0.1% 刻みの調整ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

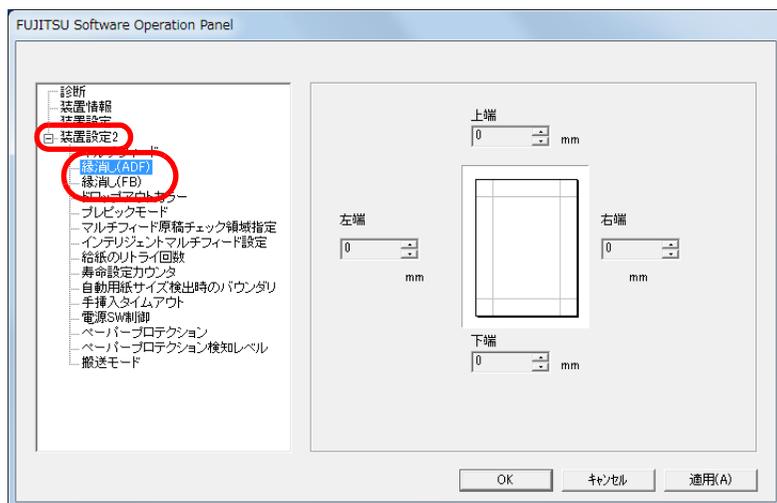
付録

用語集

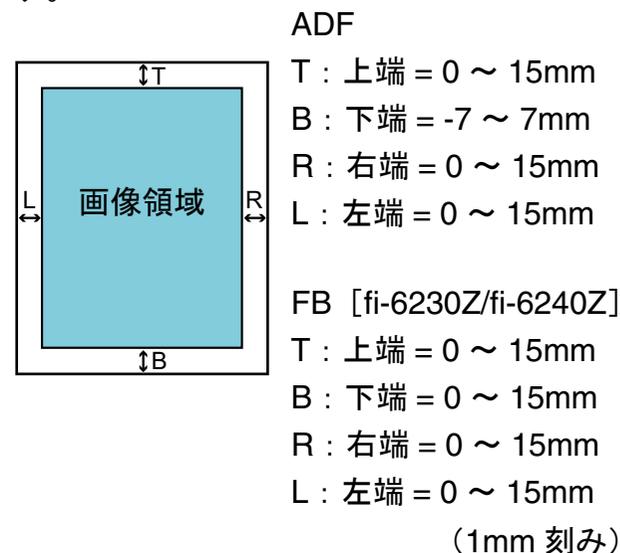
読み取った画像の端にできる影やスジの消去 (縁消し (ADF)・縁消し (FB)) [fi-6230Z/fi-6240Z]

読み取る原稿の状態によっては、出力画像の端に原稿の影が写って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合は、「縁消し」機能を使って原稿の端を塗りつぶすことにより、原稿端部をきれいに処理できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「縁消し (ADF)」または「縁消し (FB)」[fi-6230Z/fi-6240Z] をクリックします。



- 3 上端/下端/右端/左端それぞれの塗りつぶす幅を指定します。



指定した範囲を、裏当て（背景色）が白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。



原稿枠いっぱいに文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の方の文字が消えてしまう場合がありますので注意してください。



- 背景色は、通常白色です。スキャナドライバで「黒背景」に変更できます。TWAINドライバの場合は、[オプション] ボタン → 「回転」 タブの「自動傾き/サイズ検出」で「黒背景」を選択すると裏当てが黒色に切り替わります。
- 下端の設定については、次のように動作します。
 - プラス指定 (1 ~ 7mm) :
原稿下端検出位置より上方に指定した範囲を裏当て(背景色)の白色に塗りつぶします。
 - マイナス指定 (-1 ~ -7mm) :
原稿下端検出位置より下方に指定した範囲を裏当て(背景色)の白色に塗りつぶさずに出力します(後端検出モード時は、指定した範囲分多く画像を出力します)。
原稿下端検出位置とは、実際の読み取り原稿の下端をスキャナが検出した位置です。
- TWAINドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、本設定で出力された画像に対して、TWAINドライバの「縁消し」処理が行われます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

「ドロップアウトカラー」機能を使用すると、赤・緑・青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取りできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取りできます。

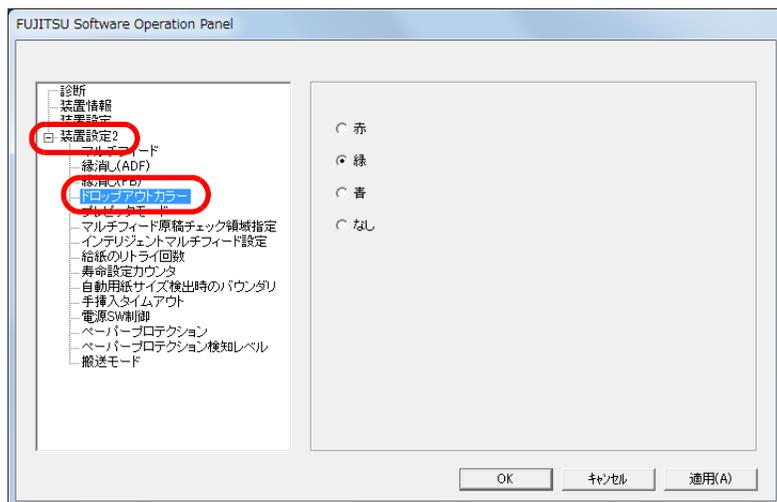


ドロップアウトカラーは、対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。



ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時だけ有効に機能します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。



- 3 ドロップアウトしたい色をクリックします。
赤、緑、青：赤/緑/青色をドロップアウトします。

なし : ドロップアウトをしません。



Software Operation Panel から設定を行う場合は、赤、緑、青以外の任意の色を指定することはできません。任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナドライバから設定してください。スキャナドライバによる設定については、「指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき」(P.85)を参照してください。



TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。ISIS ドライバの場合、常にスキャナドライバの設定が有効になります。

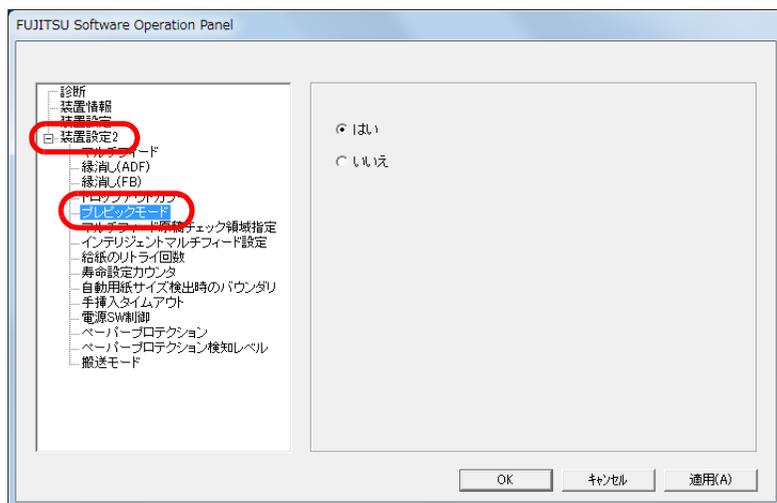
読み取り時間の短縮（プレピックモード）

読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置まで搬送することを、「プレピック」と呼びます。

プレピックを有効にすることにより、読み取り終了後、次の読み取りを行うまでの時間を短縮できます。

1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「プレピックモード」をクリックします。



3 プレピックの設定を行います。
プレピックする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」をクリックします。



- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

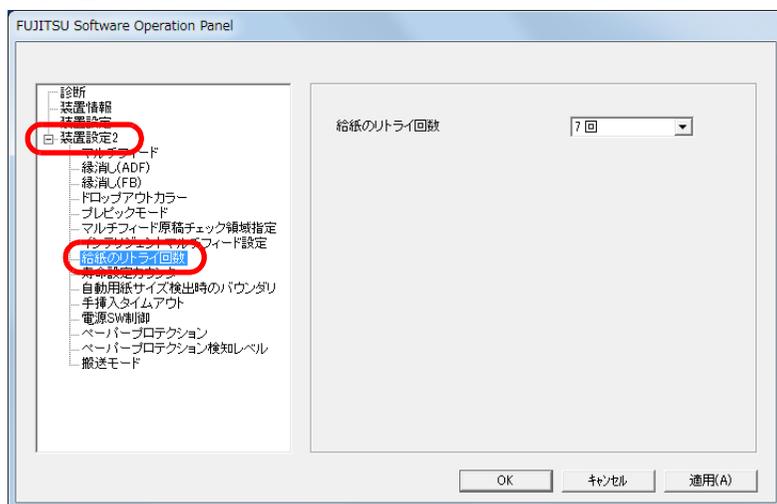
付録

用語集

給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

給紙時（ピックアップした場合）のリトライ回数を変更したい場合に設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。



- 3 給紙のリトライ回数を選択します。
1～12回の範囲で選択できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

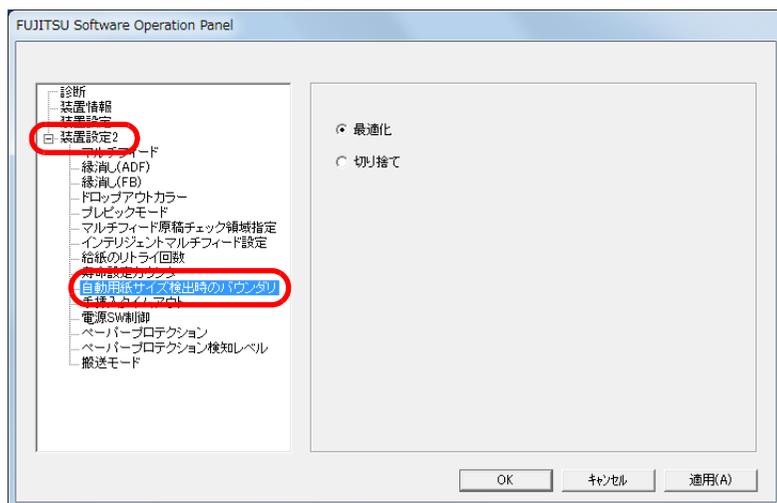
付録

用語集

読み取った画像の端数の設定 (自動用紙サイズ検出時のバウンダリ)

原稿の読み取り処理の過程でデータに端数が発生する場合があります。「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」機能を使用すると、発生した端数をデータに取り込むか、切り捨てるかを設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」をクリックします。



- 3 端数が発生した場合の処理をクリックします。
データの欠落を防ぎたい場合は「最適化」をクリックします。



- 「最適化」をクリックした場合、データの欠落を防げますが、右端部分に黒い線がはいることがあります。
- 「切り捨て」をクリックした場合、右端部分ぎりぎりに文字などが書かれているような原稿を読み取ると、右端部分の情報が欠落することがあります。
- 自動用紙サイズ検出の設定方法については、「[原稿の傾きを自動で補正したいとき](#)」(P.95)を参照してください。



本設定は2値白黒読み取り時だけ反映されます。

原稿を保護する機能の設定 (ペーパープロテクション)

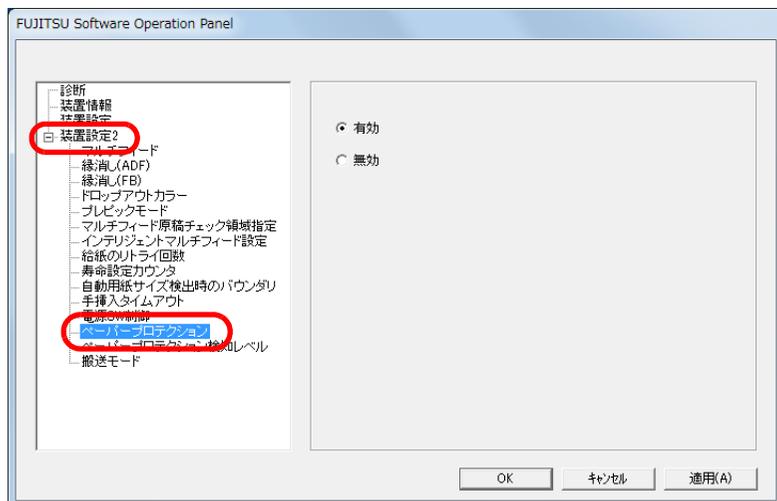
ペーパープロテクションを有効にするか、無効にするかを選択します。

原稿の読み取り中に搬送異常発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。

本機能を有効にすると、搬送異常時に発生する原稿の異常なたわみを検知した時点で読み取りを中止するため、原稿の破損を抑制できます。

本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取る際に有効です。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション」をクリックします。



- 3 「ペーパープロテクション」を有効にするか、無効にするかを選択します。
「有効」をクリックすると、通常の原因搬送時には起こらない異常なたわみ量を検出したときに、読み取りが中止されます。



- ペーパープロテクション機能は、原稿の破損を抑制する機能であり、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。
- ペーパープロテクション機能を有効にする場合、原稿の先端を確実にそろえてセットしてください（特に長さの異なる原稿を混載する場合）。
先端がそろっていないまま読み取った場合、正常に原稿を搬送しているときでも、ペーパープロテクション機能が働き、読み取りが中止されることがあります。



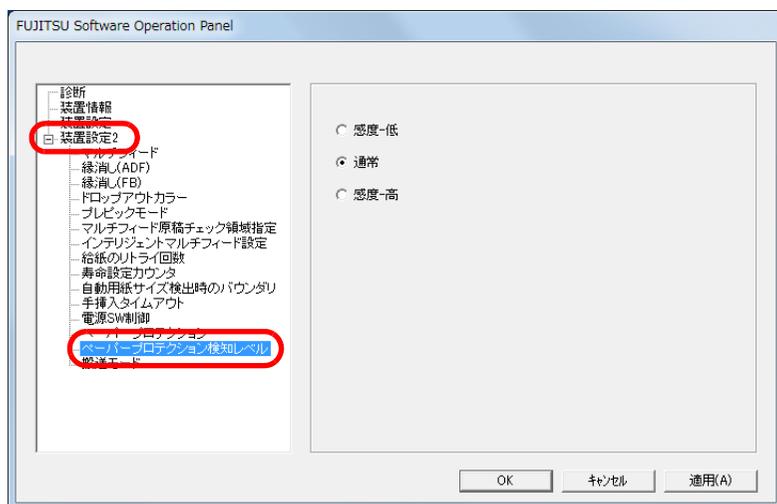
- 手挿入モードでは、ペーパープロテクション設定は無効となります。
- 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

原稿を保護する機能の感度設定 (ペーパープロテクション検知レベル)

ペーパープロテクション機能を有効にした場合の、原稿の異常搬送に対する検知レベルを設定します。

原稿がローラーで正常に搬送できない場合に原稿がたわむなど変形しますが、その変形量が大きいものだけ検知して中止させたいときは「感度 - 低」、変形量が小さくても検知して中止させたいときは「感度 - 高」を選択します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション検知レベル」をクリックします。



- 3 ペーパープロテクションの検知レベルを設定します。
感度 - 低 : 原稿のたわみを検知する感度を低くします。
通常 : 通常の感度で原稿のたわみを監視します。
通常はこの設定で使用してください。
感度 - 高 : 原稿のたわみを検知する感度を高くします。



給紙部で原稿づまりが多発する場合は、「感度 - 低」をクリックしてください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

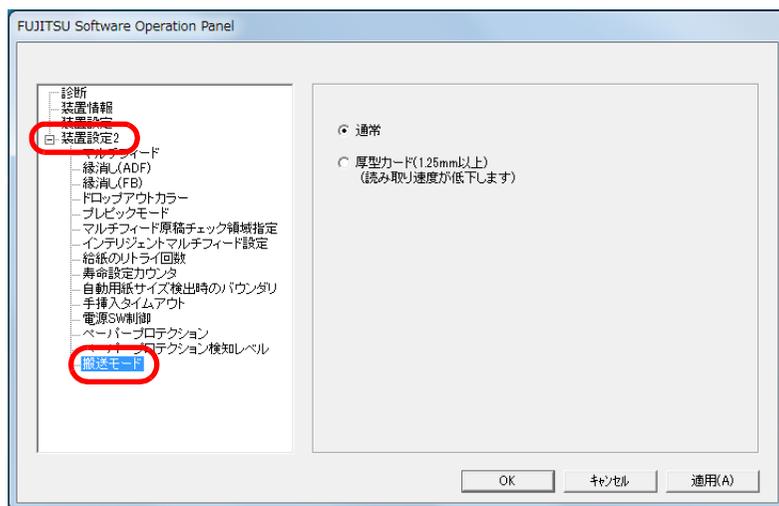
付録

用語集

厚いプラスチックカードを読み取る機能の設定 (搬送モード) [fi-6140Z/fi-6240Z]

fi-6140Z/fi-6240Z の 200dpi 読み取り (60ppm) の場合に、横送りで、最大厚さ 1.4mm のプラスチックカードを読み取りできるように設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「搬送モード」をクリックします。



- 3 搬送モードをクリックします。
最大厚さ 1.4mm のプラスチックカードを読み取りたい場合は「厚型カード (1.25mm 以上)」をクリックします。



「厚型カード (1.25mm 以上)」をクリックした場合、読み取り速度が低下します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

9.6 マルチフィード検出に関する設定

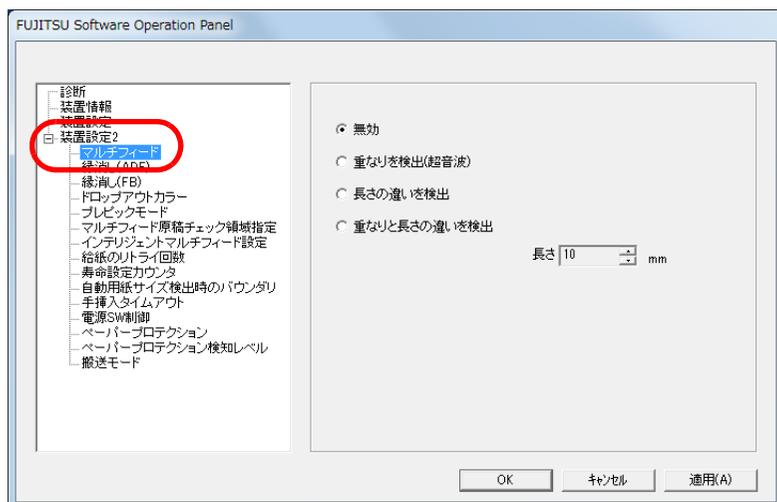
マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

気づかずに読み取っていると、あとで重要なデータが抜けていたという事態が発生するかもしれません。

これを防止するために、本製品には、マルチフィード検出機能があります。この機能を有効にしておくと、マルチフィードを検出した時点で、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、原稿の先端から約30mmは、マルチフィードとして検出されません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード」をクリックします。



- 3 検出方法をクリックします。

検出方法	説明
無効	マルチフィードを検出しません。
重なりを検出(超音波)	原稿の重なりからマルチフィードを検出します。この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）」(P.188)に進みます。 ● 原稿の決まった位置に、同じ大きさの紙が貼られている場合、その部分のマルチフィードを無視できます。 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたとき」(P.109)に進みます。
長さの違いを検出	原稿の長さの違いから、マルチフィードを検出します。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。

検出方法	説明
重なりと長さの違いを検出	<p>「重なりを検出（超音波）」と「長さの違いを検出」によりマルチフィードを検出します。</p> <p>ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。</p> <p>この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）」（P.188）に進みます。 ● 原稿の決まった位置に、同じ大きさの紙が貼られている場合、その部分のマルチフィードを無視できます。 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたとき」（P.109）に進みます。
長さ	<p>長さの違いを検出する場合に、マルチフィードとみなすための長さの違いを、10/15/20mm から選択します。選択された長さ以下は、誤差とみなされて、マルチフィードとして検出されません。</p>

 ● 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用してください。

● 原稿の上に写真や紙などが貼られている場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用すると、貼り付け部分を重なりと誤検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を使用してください。ただし、検出範囲を制限することによって、「重なりを検出（超音波）」を使用することもできます。

● A3 キャリアシートはマルチフィードを検出できません。

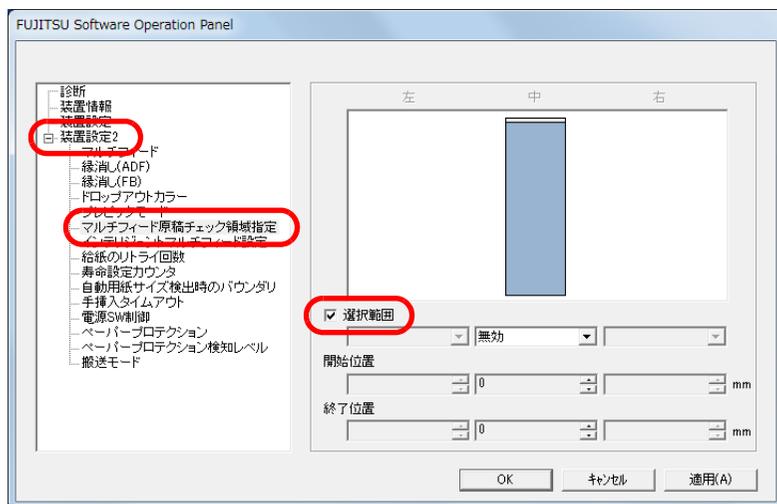
 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

- TOP
- 目次
- 索引
- はじめに
- スキャナをお使いになる前に
- 原稿のセット方法
- 読み取り条件の設定
- 操作パネルの操作方法
- いろいろな読み取り方
- 日常のお手入れ
- 消耗品の交換
- 困ったときには
- スキャナの動作設定
- 付録
- 用語集

マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)

「重なりを検出（超音波）」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合だけ次の設定があります。

- 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。画面内の「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



2 検出範囲を指定します。

検出範囲	説明
選択範囲	<p>次の図にある水色の検出範囲を指定するために、チェックします。</p> <p>この画面で設定する内容を有効にする場合はチェックします。有効にしない場合はチェックを外します。チェックを外すと、開始位置 = 0 終了位置 = 0 となり、全範囲についてマルチフィード検出が行われません。</p> <p>この条件は、原稿がピックアップ幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。</p>
無効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行いません。
有効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行います。
開始位置 (中)	範囲指定の開始位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置

検出範囲	説明
終了位置 (中)	範囲指定の終了位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置



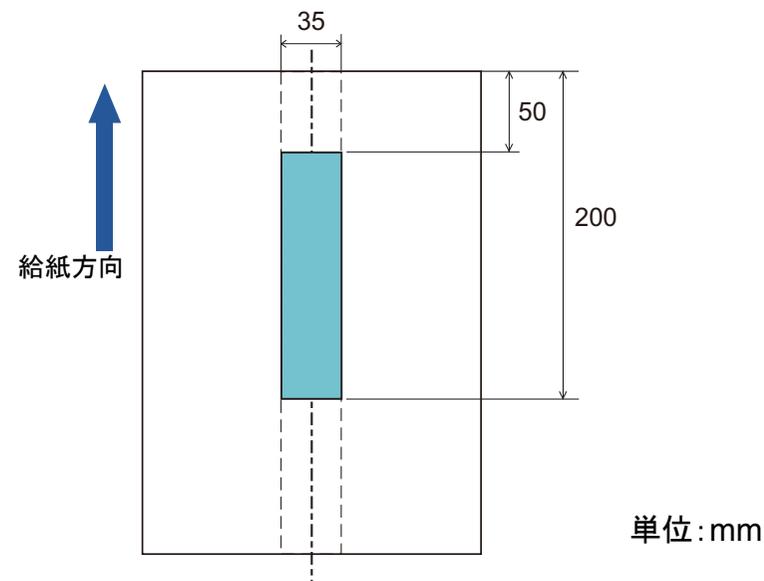
- 開始位置 = 0、終了位置 = 0 に設定した場合、無効 / 有効にかかわらず、全範囲についてマルチフィード検出を行います。
- 原稿の全範囲でマルチフィード検出を無効にしたい場合は、指定モードで「無効」をクリックし、開始位置 = 0、終了位置 ≥ 原稿長さ に設定してください。
- 開始位置が、原稿長さよりも大きな値に設定されると、「無効」の場合は、原稿長さ全域が検出範囲となり、「有効」の場合は、マルチフィードが無効になります。
- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要になります。
有効範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 ≥ 6mm になるように設定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
 - 設定領域を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
 - 設定領域を示す画面上で、開始位置 / 終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。

設定例 1 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置：中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 50mm、終了位置 = 200mm



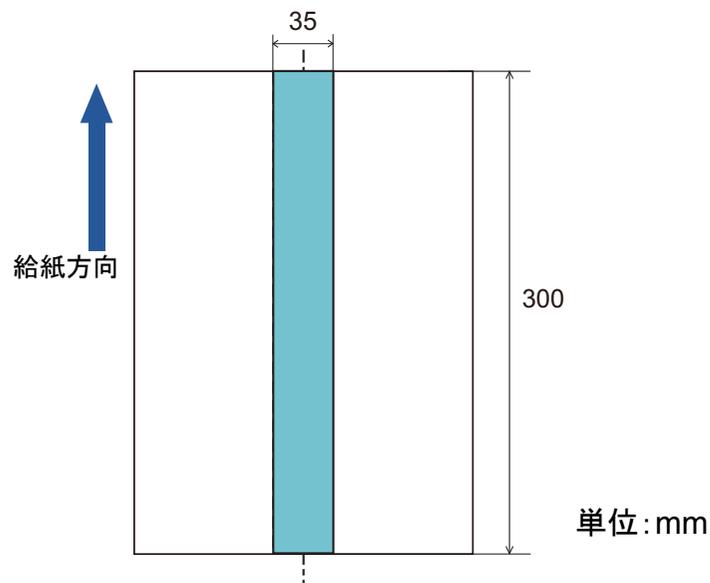
水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。

設定例 2 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 0mm、終了位置 = 0mm



水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。



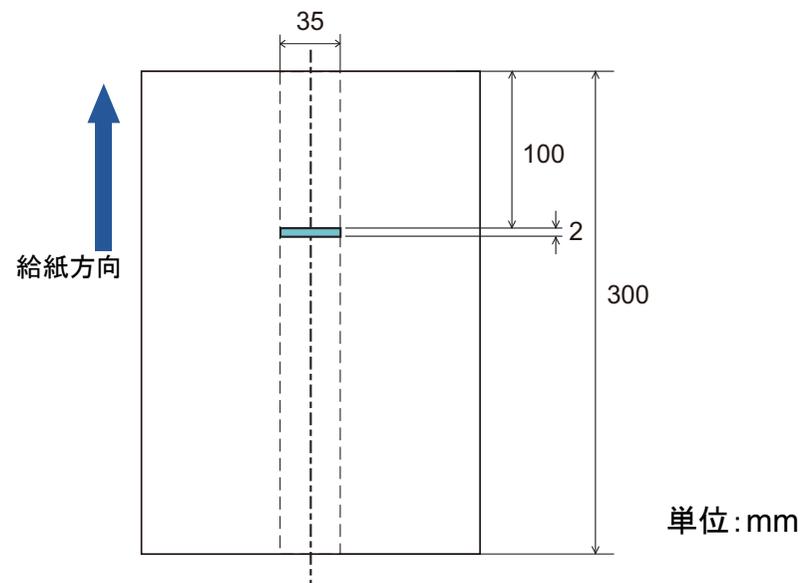
原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（のり付け、静電気による貼り付き）では、マルチフィード検出率が落ちる場合もあります。

設定例 3 : (悪い例)

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 100mm、終了位置 = 102mm

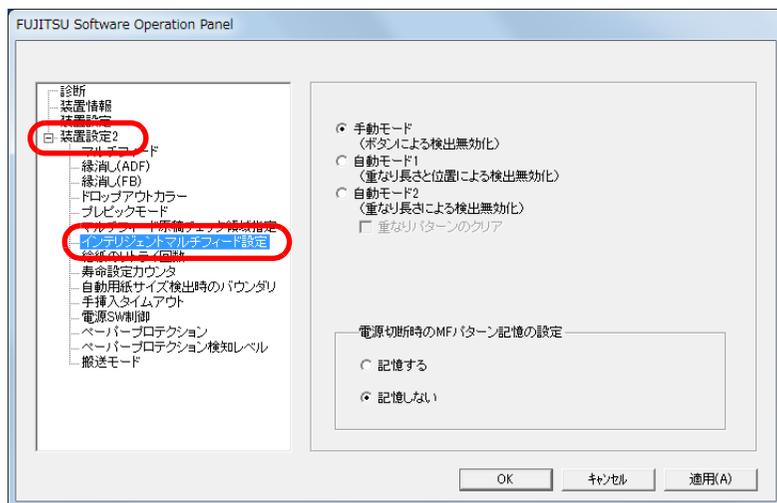


検出範囲（長さ）が5mmに満たないため、正しくマルチフィードを検出できません。

マルチフィード検出しない範囲の設定 (インテリジェントマルチフィード設定)

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置をスキャナに認識させ、その部分のマルチフィード検出をしないように設定できます。この設定を行うには、スキャナドライバの設定画面または「マルチフィード検出方法の設定 (マルチフィード)」(P.186) のマルチフィード設定で、事前に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」に設定しておく必要があります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。



3 動作モードを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

動作モード	説明
手動モード	マルチフィード検出された原稿を ADF 給紙シュートに戻し、再読み取りしたときにマルチフィード検出されないモードです。原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
自動モード1	マルチフィード検出された原稿に貼ってある紙片の位置と大きさを記憶します。次の読み取りから、記憶した同様の重なりパターンの原稿については、マルチフィード検出されません。
自動モード2	マルチフィード検出された原稿に貼ってある紙片の大きさを記憶します。次の読み取りから、記憶した長さと同様か短い重なりパターンの原稿については、マルチフィード検出されません。



- 「重なりパターンのクリア」チェックボックスをチェックすると、自動モードで記憶した原稿の重なりパターン (長さや位置) をクリアできます。
- 「電源切断時の MF パターン記憶の設定」で電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するか、記憶しないかを選択できます。「記憶する」をクリックすると、電源切断時に記憶された最新のマルチフィードパターン 8 ページ分を、次に電源を投入したときに使用できます。

以降の操作については、「決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき」(P.109) を参照してください。

9.7 待機時間に関する設定

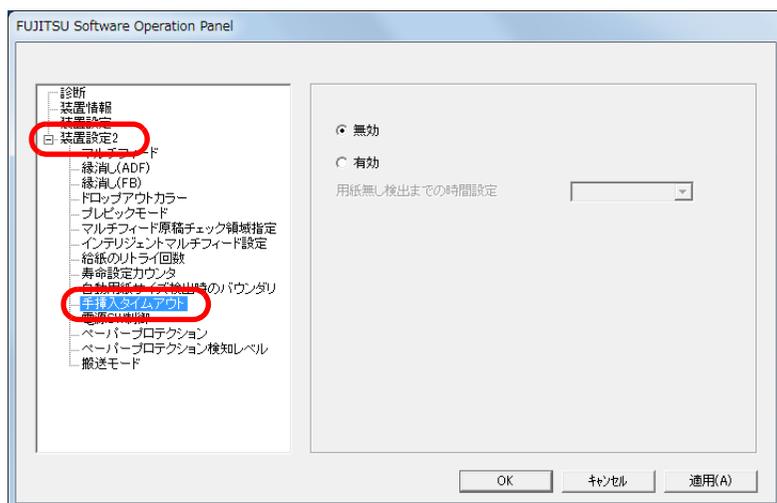
手挿入モードの待機時間の設定 (手挿入タイムアウト)

手で1枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手挿入）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておくことで、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔があいても、連続して読み取りできます。

設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了して、手挿入が解除されます。

設定した時間待っている状態で、[Send to] ボタンを押すことで、すぐに手挿入を解除できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「手挿入タイムアウト」をクリックします。



- 3 「手挿入タイムアウト」を有効にするか、無効にするかを選択します。
有効にする場合は、「用紙無し検出までの時間設定」で、ADF 給紙シュートに原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）を選択します。



手挿入タイムアウトの設定が有効になっていると、ADF 給紙シュートに原稿がない状態で読み取りを開始しても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

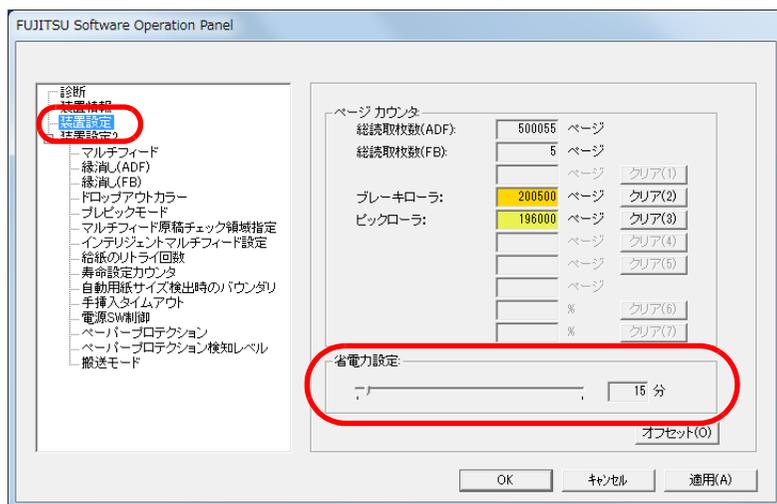
付録

用語集

省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

省電力モードに入るまでの待機時間を設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。
5 ～ 235 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

9.8 電源投入 / 切断に関する設定

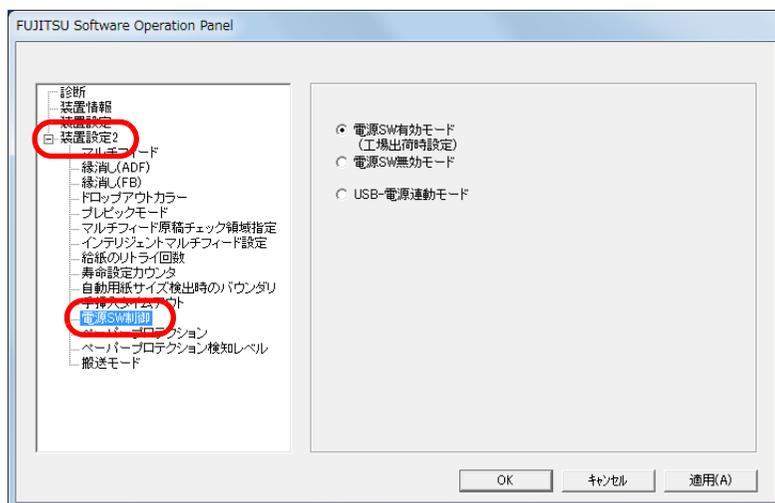
電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）

スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

1 Software Operation Panel を起動します。
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.159) を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「電源 SW 制御」をクリックします。



3 電源の投入 / 切断方法をクリックします。

電源 SW 有効モード : スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断します。

電源 SW 無効モード : 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断します。

USB- 電源連動モード : コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断します。



コンピュータや USB ハブの種類によって、コンピュータの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。
そのような環境では、「USB- 電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。

付録

付録では、次の情報について説明します。

付 .1 スキャナ基本仕様	196
付 .2 設置諸元.....	199
付 .3 外形寸法.....	201
付 .4 スキャナのオプション	202
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順	204
付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成	205

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .1 スキャナ基本仕様

項目		仕様				備考
		fi-6130Z	fi-6230Z	fi-6140Z	fi-6240Z	
スキャナタイプ		ADF（自動給紙機構）	ADF（自動給紙機構）+フラットベッド	ADF（自動給紙機構）	ADF（自動給紙機構）+フラットベッド	-
イメージセンサー		カラー CCD × 2 （表、裏）	カラー CCD × 3 （表、裏、フラットベッド）	カラー CCD × 2 （表、裏）	カラー CCD × 3 （表、裏、フラットベッド）	-
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 2 （表、裏）	白色冷陰極蛍光放電管 × 3 （表、裏、フラットベッド）	白色冷陰極蛍光放電管 × 2 （表、裏）	白色冷陰極蛍光放電管 × 3 （表、裏、フラットベッド）	-
読み取り範囲	最小	ADF	52 × 74mm（縦 / 横）			(*1)
	最大	ADF	216 × 355.6mm			(*2)
		フラットベッド	-	216 × 297mm	-	216 × 297mm
原稿の厚さ		41 ~ 209g/m ² （35 ~ 180kg/連） A8 サイズは 127 ~ 209g/m ² （110 ~ 180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下 (*3)				(*4)

項目		仕様				備考
		fi-6130Z	fi-6230Z	fi-6140Z	fi-6240Z	
読み取り速度 (A4、横) (*5)	バイナリ (2 値白黒)	片面 40 枚 / 分、両面 80 面 / 分		片面 60 枚 / 分、両面 120 面 / 分		200dpi
	グレースケール					
	カラー					
	バイナリ (2 値白黒)	片面 30 枚 / 分、両面 60 面 / 分		片面 40 枚 / 分、両面 80 面 / 分		300dpi
	グレースケール					
	カラー					
原稿搭載容量 (*6)		50 枚				厚さ 80g/m ² (69kg/ 連) の原稿 原稿の総厚みが 5mm 以下
光学解像度		600dpi				-
出力解像度	バイナリ (2 値白黒)	50 ~ 600dpi、1200dpi				50 ~ 600dpi は 1dpi ごとに設定可 1200dpi はスキャナドライバで設 定可
	グレースケール					
	カラー					
読み取り階調		各色 8 ビット				内部処理時は各色 10 ビット
出力モード (中間調)		ディザ / 誤差拡散				-
インターフェース (*7) (*8)		USB2.0/1.1 (*9)				B タイプ
		-		Ultra SCSI		シールド型 50 ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ
その他の機能		ハードリアルタイム JPEG 圧縮				-

*1: 読み取り範囲の最小 A8 は、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の読み取り範囲には、事実上制限はありません。

*2: 長尺帳票読み取り時は、給紙方向 (長さ方向) 最大 3048mm (120 インチ) まで読み取り可能です。
長さが 864mm を超える指定は、解像度を 200dpi 以下に指定する必要があります。

はじめに

スキャナをお使
いになる前に原稿のセット
方法読み取り条件
の設定操作パネルの
操作方法いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

*3 : fi-6140Z/fi-6240Z の 200dpi 読み取り (60ppm) の場合、横送りでは、厚さ 1.25mm 以下となります。

厚さ 1.4mm 以下のプラスチックカードを読み取りできるように Software Operation Panel で設定できます。詳細については、「[厚いプラスチックカードを読み取る機能の設定 \(搬送モード\) \[fi-6140Z/fi-6240Z\]](#)」(P.185) を参照してください。

*4 : 記載している原稿の厚さは、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の原稿の厚さには、制限はありません。

*5 : 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

*6 : 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。「[2.3 ADF で読み取りできる原稿](#)」(P.44) を参照してください。

*7 : USB 2.0/1.1 と Ultra SCSI のインターフェースを同時に使用できません

*8 : 各インターフェースを同時に使用して、複数のコンピュータを接続できません。

*9 : USB 2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .2 設置諸元

項目		仕様				
		fi-6130Z	fi-6230Z	fi-6140Z	fi-6240Z	
外形寸法（幅×奥行き×高さ）(*1)		301 × 160 × 158mm	301 × 567 × 229mm	301 × 160 × 158mm	301 × 567 × 229mm	
設置スペース（幅×奥行き×高さ）(*2)		400 × 700 × 380mm	400 × 800 × 450mm	400 × 700 × 380mm	400 × 800 × 450mm	
質量		4.2kg	8.8kg	4.2kg	8.8kg	
入力電源	電圧範囲	AC100V、± 10%				
	相	単相				
	周波数範囲	50/60、± 3Hz				
消費電力	動作時	ADF	38W 以下		42W 以下	
		フラットベッド	-	45W 以下	-	50W 以下
	省エネ時	5.36W 以下		5.70W 以下		
	電源オフ時	1.0W 以下				
操作環境	温度	動作時：5～35°C、非使用時：-20～60°C				
	湿度	動作時：20～80%、非使用時：8～95%				
発熱量	動作時	ADF	32.7Kcal/Hr 以下		36.2Kcal/Hr 以下	
		フラットベッド	-	38.7Kcal/Hr 以下	-	43.0Kcal/Hr 以下
	省エネ時	5.2Kcal/Hr 以下				
	電源オフ時	0.86Kcal/Hr 以下				
出荷時質量 (*3)		6.5kg	13.0kg	6.5kg	13.0kg	

項目	仕様			
	fi-6130Z	fi-6230Z	fi-6140Z	fi-6240Z
サポート期間	5年			

*1：奥行きは、ADF 給紙シュートおよびスタッカーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

*3：梱包品などを含めた質量です。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

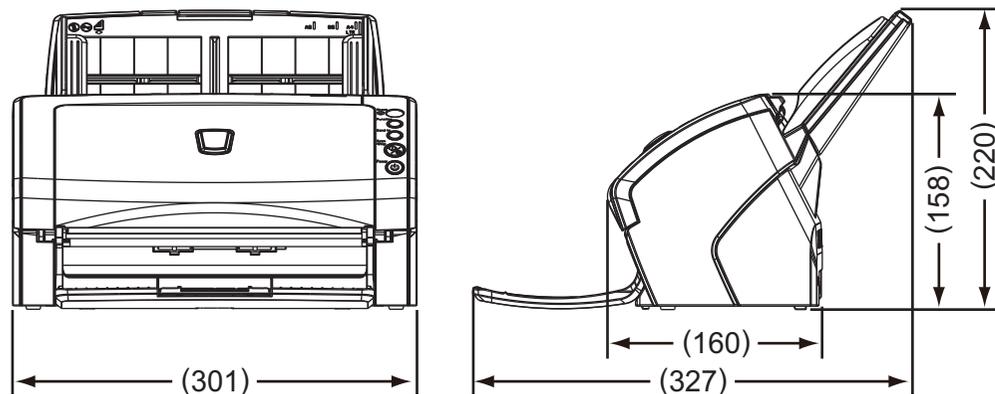
付録

用語集

付 .3 外形寸法

外形寸法は次のとおりです。

fi-6130Z/fi-6140Z の場合



(単位 : mm)

fi-6230Z/fi-6240Z の場合



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

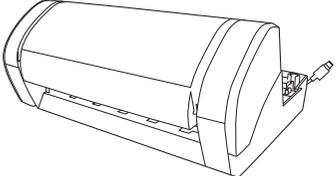
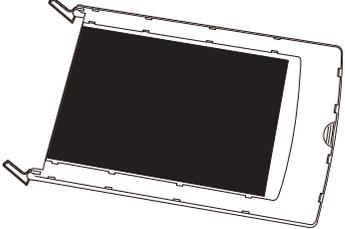
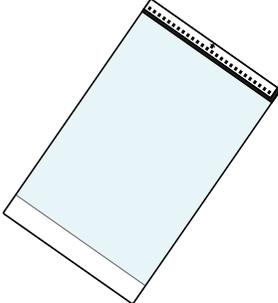
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

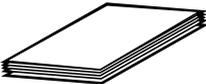
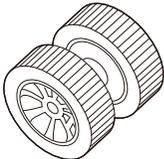
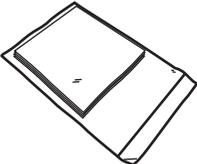
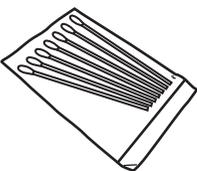
用語集

付 .4 スキャナのオプション

品名	型名	対応機種	説明
インプリンタ 	FI-614PR	fi-6130Z fi-6140Z	読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷するためのオプションです。 原稿の裏面に、画像読み取り後に文字を印刷します。 インプリンタを使用すると、読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理できます。 詳細については、fi-614PR インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。
黒色原稿押さえパッド 	FI-624BK	fi-6230Z fi-6240Z	フラットベッドで黒背景読み取りを行うためのオプションです。 原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーで、標準添付のドキュメントカバー（白色）と交換して使用します。 黒色原稿押さえパッドを使用すると、フラットベッドで読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりできます。
ScanSnap A3 キャリアシート 	FI-511ES	fi-6130Z fi-6230Z fi-6140Z fi-6240Z	A4 サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿を読み取るためのオプションです。 A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿、傷つけない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取りできます。 本製品に添付されている A3 キャリアシート（1 枚）が、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシート（5 枚）を別途ご購入していただけます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-624SA	fi-6130Z fi-6230Z fi-6140Z fi-6240Z	スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、「ScanAid の梱包品」（P.203）を参照してください。

スキャナのオプションのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.209) にお問い合わせください。
 スキャナのオプションの詳細については、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) にお問い合わせください。

ScanAid の梱包品

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1 本) 	容量 : 50ml	ブレーキローラ (1 個) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換
クリーニングペーパー (1 パック) 	10 枚入り / 1 パック	ピックローラ (1 個) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換
クリーニングクロス (1 パック) 	20 枚入り / 1 パック		
綿棒 (2 パック) 	50 本入り / 1 パック		

付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順

1 コンピュータを起動します。



Administrator の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

3 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。

⇒ 「コントロールパネル」画面が表示されます。

4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

⇒ 「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

5 削除するソフトウェアをクリックします。

- TWAIN ドライバを削除する場合
「Scanner Utility for Microsoft Windows」をクリックしてください。
- ISIS ドライバを削除する場合
「ISIS Driver - Fujitsu fi-6x30Z/fi-6x40Z」をクリックしてください。
- Kofax VRS を削除する場合
「Kofax VRS」をクリックしてください。
- Software Operation Panel を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください
(Software Operation Panel は、TWAIN ドライバ/ISIS ドライバ/Kofax VRS をインストールすると一緒にインストールされます)。
- Error Recovery Guide を削除する場合
「Error Recovery Guide for fi-6x30Z/fi-6x40Z」をクリックしてください。
- 画像処理ソフトウェアオプション（体験版）を削除する場合
画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイドを参照してアンインストールしてください。
- ScandAll PRO を削除する場合
「Fujitsu ScandAll PRO」をクリックしてください。
ScandAll PRO および ScanSnap mode の削除に続いて、

Scan to Microsoft SharePoint および ABBYY FineReader for ScanSnap™ を削除できます。

- ScanSnap mode を削除する場合
「Fujitsu ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in」をクリックしてください。
- Scan to Microsoft SharePoint を削除する場合
「Scan to Microsoft SharePoint」をクリックしてください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap™ を削除する場合
「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)」をクリックしてください。
- QuickScan Pro を削除する場合
「QuickScan」をクリックしてください。
- 取扱説明書を削除する場合
「fi-Scanner manuals for fi-6x30Z/fi-6x40Z」をクリックしてください。
- Scanner Central Admin Agent を削除する場合
Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイドを参照してアンインストールしてください。
- Adobe® Reader® を削除する場合
「Adobe Reader」をクリックしてください。
- FUJITSU Scanner USB HotFix を削除する場合
「FUJITSU Scanner USB HotFix」をクリックしてください。

6 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンをクリックします。

7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックします。

⇒ アンインストールが実行されます。



お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e- 文書法(*1)の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e- 文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。



- 読み取った画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- A3 キャリアシートを使用して読み取った画像は、e- 文書法に適合した電子文書として扱えません。本製品で e- 文書に適合した電子文書を作成する場合、A3 キャリアシートを使用して読み取らないでください。

*1：e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。

スキャナドライバの読み取り設定について

本製品で e- 文書に適合した電子文書を作成する場合、適用を受ける各府省令および原本のタイプに従い、次の設定で読み取りを行うことを推奨します。

適用を受ける府省令 またはガイドライン		経済産業省通達			財務省令（国税関係） 総務省令（地方税関係）			厚生労働省通達		
原本タイプ		カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画
推奨読み取り設定 (*1)	画像タイプ	24bitカラー	多値（グレースケール）	2値白黒	24bit カラー					
	ガンマ補正	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0		指定なし	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0					
	色補正	シャドウ：0 ハイライト：255		-	シャドウ：0 ハイライト：255					
	解像度	150dpi 以上 (*2)		200dpi 以上 (*2)	200dpi 以上 (*2)			300dpi 以上 (*2)		
画像の完全性		原稿の全領域が読み取られていること (*3)								

圧縮	JPEG 圧縮が使用可能 (*4)
----	-------------------

- *1：これら設定は、2005年5月現在の各府省令およびガイドラインを参照しています。実運用にあたってはお客様の責任に基づいて最新の府省令およびガイドラインをご確認ください。設定方法は「第3章 読み取り条件の設定」(P.54)を参照してください。読み取ったあとは、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- *2：細かな文字が含まれる文章が判読できない場合は、解像度を上げて読み取ってください。
- *3：読み取る原稿の情報をすべて画像に収めるためには、「自動用紙サイズ検出」機能があるスキャナについては、設定のうえ、読み取することを推奨します。「自動用紙サイズ検出」機能がないスキャナで読み取る場合や、割印などがある原稿の情報をすべて画像に収める場合は、「用紙サイズ」の設定を、読み取る原稿のサイズよりもひとまわり大きなサイズで読み取することを推奨します。読み取ったあとは、読み取り原稿の必要な情報が画像に収まっていることを確認し、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- *4：JPEG 圧縮機能を使用する場合は、「高品質」設定で読み取することを推奨します。読み取り後に、出力されたデータが各府省令に準拠した画像であることを確認したうえで使用してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿つまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 「第8章 困ったときには」(P.129)
- サポート & サービスのホームページ
(<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>)

それでも解決しない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.209) まで連絡してください。

連絡する際は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.155) を参考に必要事項を確認してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

サポート&サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用イメージスキャナfiシリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

● 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

● 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

● 訪問修理（有償）(*1)

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

● 持込/センドバック修理（有償）(*2)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

● 付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

(1) 引き取り修理サービス（有償）(*1)

(2) 代替機サービス（有償）(*1)

*1：保証期間中の場合も有償となります。

*2：保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

詳細はホームページをご覧ください

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/maintenance-service/index.html>

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

サービスセンター窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナ fi シリーズ全般に関する操作や故障のお問い合わせに迅速に対応いたします。

PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

E-mail : scanners@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-37-9089

携帯電話からおかけの場合 : 042-788-7746

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>

受付時間 : 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)



保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

保証期間は、本製品ご購入日から6か月です。

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。詳細については、当社ホームページでご確認いただくか、PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

上記窓口では、ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせについては、次を参照してください。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ ユーザーズガイド (*1) の「技術サポート」の「ABBYY 支店」

*1 : 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)」 → 「ユーザーズガイド」をクリック

すると表示されます。

なお、ABBYY FineReader for ScanSnap™ のバージョンによってメニューが異なります。

Kofax VRS に関するお問い合わせについては、次を参照してください。

http://www.kofax.com/support/Notices/TS_Services/Kofax_Support-Detailed_Contact_Information.asp



- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後5年間です。

サプライ用品の購入先

スキャナの清掃方法と消耗品の交換方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.112) および「第7章 消耗品の交換」(P.122) を参照してください。

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

用語集

あ行

明るさ
インターフェース
インプリンタ
オーバースキャン

か行

解像度
画像処理
画像反転
片面読み取りモード
カラーバランス
ガンマ
グレースケール
原稿づまり
光学センサー
国際エネルギースター
誤差拡散

さ行

しきい値
自動傾き / サイズ検出
ジョブセパレータ
白基準
スムージング
操作環境
操作パネル
装置異常
ゾーン OCR

た行

縦向き
ダブルレターサイズ
超音波センサー
ディザ
デフォルト設定
テンポラリエラー
ドライバ
ドロップアウトカラー

な行

ノイズ検出
濃度

は行

ハーフトーン
排出ローラー
パッチコード
ピクセル
ピック開始時間
ピックローラ
フィードローラー
フィルター
フラットベッド
ブランクページスキップ
ブレーキローラ
プレピック
ペーパープロテクション

ま行

マルチイメージ
マルチフィード
モアレ

や行

横向き

ら行

両面読み取りモード
輪郭処理
輪郭抽出
レターサイズ

英字

A3 キャリアシート
A4 サイズ
A5 サイズ
A6 サイズ
A7 サイズ
A8 サイズ
ADF（自動給紙機構）
Canadian DOC
CCD（電荷結合素子）センサー
dpi（dots per inch）
FCC
iMFF（intelligent Multi Feed Function）
ISIS
OCR（光学式文字認識）
SCSI
SCSI ID
TÜV
TWAIN
USB

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[読み取り条件の設定](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

あ行

明るさ

読み取った画像の明るさを指します。

インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に使用される接続規格です。

インプリンタ

読み取った原稿の裏面に、アルファベットや数字などの文字列を印刷するプリンターです。読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理する場合に使用します。

オーバースキャン

指定された原稿サイズより大きめに読み取りを行う機能です。

か行

解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像は、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現できます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

画像処理

設定したパラメーターを使用して、読み取った画像に処理を加えて出力します。

画像反転

画像の白と黒を入れ替える読み取り方式です。

片面読み取りモード

原稿の指定した面（表面または裏面）だけを読み取るモードです。（⇔両面読み取りモード）

カラーバランス

画像中の色のバランスです。

ガンマ

画像の明るさの変化を示す単位です。機器（スキャナ、ディスプレイなど）への入力電圧と画像の明るさの関数として与えられます。ガンマレイトが1以上に設定されている場合、画像は明るくなり、1以下の場合は逆に暗くなります。原稿そのものの明るさを再現する場合は、通常ガンマレイトを1に設定します。

グレースケール

白黒を256階調（濃淡）で表現します。写真などの画像を読み取るのに適しています。

原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合または紙滑りにより給紙が中断された場合に表示されるエラーです。

光学センサー

光の透過量の変化を検知するセンサーです。原稿の通過を監視することにより、マルチフィード、原稿づまりなどの搬送異常を検知します。

国際エネルギースター

米国環境保護庁（US Environmental Protection Agency (EPA)）が1992年に制定した、省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。現在世界各国で採用されています。

誤差拡散

白黒2値を使用した、ハーフトーン（擬似グレースケール）画像処理です。あるピクセル（注目画素）と隣接したピクセルの濃度を合計し、隣接ピクセルへの関係に基づいて高濃度順に黒いピクセルを再配置し、読み取り画像と出力画像間の格差を最小限にできます。注目画素のエラーを周辺画素に分散させることで、隣接ピクセルの濃度データを決定し2値化します。新聞の写真など点により構成される画像のモアレを抑え、グレースケールのグラデーションを再現します。

さ行

しきい値

ある色を黒または白と判定するために使用される値です。グレースケールのグラデーションを持つ画像を読み取る際は、設定が必要となります。設定したしきい値に従って、各ピクセルは黒または白に変換されます。

自動傾き / サイズ検出

後端検出：

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

自動用紙サイズ検出：

原稿の形状を検出し、読み取った原稿を同じサイズで出力します。

黒背景：

原稿読み取り時に使用する背景部に黒を使用して読み取りを行います。

ジョブセパレータ

原稿の間に挿入し、ジョブの区切りとして認識させる場合に使用するシートです。

ジョブセパレータには次のようなものがあります。

パッチコードを使用したジョブセパレータ：

パッチコードが印刷された用紙です。

バーコードを使用したジョブセパレータ：

任意の位置にバーコードが印刷された用紙です。

白基準

白色の基準となるシートです。

スキャナは、このシートの色を白として、そのほかの部分の明るさを調整します。

スムージング

斜めの線やカーブ上の凹凸を一定にし、ギザギザを除去する処理。OCR アプリケーションなどに使用します。

操作環境

スキャナを正常に動作 / 保管するために必要な条件（温度、湿度など）です。

操作パネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。

ゾーン OCR

読み取った原稿の指定した領域に対して、文字認識を行う機能です。

た行

縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。
原稿 / 画像が縦にセット / 表示されます。

ダブルレターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。11 × 17 インチです。

超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

ディザ

グレースケールの濃度を再現するよう点を配置する処理です。事前に点の配置パターンを設定しておき、グレースケールの濃度を再現します。グレースケールを多値で再現する方式に比べ、必要とするメモリ容量が少量となります。

デフォルト設定

(ハードウェアの場合)
工場出荷時に設定されている各種設定値です。

(ソフトウェアの場合)
インストール直後に設定されている各種設定値です。

テンポラリエラー

ユーザーによる修復が可能なエラーです。

ドライバ

コンピュータに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

ドロップアウトカラー

指定した色成分を、読み取った画像から取り除いて出力します。

な行

ノイズ検出

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点を除去し、画像の質を向上させる機能です。

濃度

表示色の深さを指します。

は行

ハーフトーン

ドットパターンによって、濃淡を2値白黒で再現します。写真などの画像を2値白黒で読み取る際に有効です。

排出ローラー

ADFからスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。

パッチコード

スキャナで読み取って、ジョブや画像タイプの区切りとして認識させるための、専用コードです。

ピクセル

読み取った画像を構成する点です。

ピック開始時間

原稿をセットしてから、ホッパエンプティセンサー上を通過してピックが開始されるまでの時間です。

ピックローラ

ADF給紙シュートの原稿から1ページだけ分離させ、ADF内に搬送するローラーです。

フィードローラー

ADF内で原稿を搬送するローラーです。

フィルター

読み取った画像に対して、フィルター処理を実行する機能です。
フィルターには次のようなものがあります。

デジタルエンドーサ：

読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加する機能です。

縁消し：

読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶす機能です。

フラットベッド

スキャナの入力装置です。

原稿を、1枚ずつ原稿台（ガラス板）の上にのせて読み取ります。

本・冊子など、ADFで読み取りできないような原稿も読み取りできます。

ブランクページスキップ

原稿に含まれるブランクページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取る機能です。

ブレーキローラ

ADF内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。

プレピック

読み取りを開始する前に、原稿を事前に読み取り位置手前まで搬送しておくことです。

原稿をセットした位置から読み取り位置に送るまでの時間を短縮できます。

ペーパープロテクション

通常の原稿搬送時には起こらない異常なたわみ量を検出したときに、読み取りを中止させる機能です。

ま行

マルチイメージ

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）する機能です。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

マルチフィード

一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

モアレ

原稿の角度設定が不適切なために生じる、画像上の干渉縞です。

や行

横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

ら行

両面読み取りモード

原稿の両面を一度に読み取るモードです。(⇔片面読み取りモード)

輪郭処理

黒い部分に隣接した、白以外の明るい色の濃度を減少させる機能です。この機能の値を高く設定すると、点状のノイズの除去や、画像をソフトにできます。

輪郭抽出

白と黒の各領域の境界線をトレースし、輪郭として抽出する機能です。

レターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。8.5×11インチです。

英字

A3 キャリアシート

A4 サイズより大きい原稿を読み取る際に使用するクリアファイルです。

A4 サイズ

210 × 297mm の定型原稿サイズです。

A5 サイズ

148 × 210mm の定型原稿サイズです。

A6 サイズ

105 × 148mm の定型原稿サイズです。

A7 サイズ

74 × 105mm の定型原稿サイズです。

A8 サイズ

52 × 74mm の定型原稿サイズです。

ADF（自動給紙機構）

ADF（=Automatic Document Feeder）

複数枚の原稿を、自動的に1枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

Canadian DOC

カナダ産業省（Industry Canada, a department of the Canadian government）の制定する規格です。デジタル機器が発生する電波・ノイズに対して技術水準を定めています。

CCD（電荷結合素子）センサー

原稿からの反射光を感知し、デジタル化（電子化）するセンサーです。スキャナ、カメラなどのデバイスで、目の役割を果たします。

dpi（dots per inch）

1インチあたりのドット数です。スキャナやプリンターの解像度の単位として使用されます。dpiの値が高いほど、解像度は高くなります。

FCC

独立行政委員会（Independent United States government agency）の1つである連邦通信委員会（Federal Communications Commission）の略称です。ラジオ、テレビ、無線、有線、衛星などによる通信を管理しています。FCC 規格第 15 章の規格は、通信機器が発生する有害な電磁波の干渉を防ぐもので、こうした機器の認定条件を定めています。また低電力送信機器の認定条件を定めると同時に、ライセンスなしでの認定機器の操作を認証します。

iMFF（intelligent Multi Feed Function）

マルチフィードを検出する際に、一度検出した重なりパターンをスキャナに記憶させ、マルチフィード対象から除外する機能です。
例えば、原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼り付け位置をスキャナに認識させ、その部分のマルチフィード検出をしないように設定できます。

ISIS

1990年に米国 Pixel Translations（現：Captiva, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

OCR（光学式文字認識）

原稿の文字を認識し、操作可能なテキストデータに変換する機器および技術です。原稿に投光し、反射光の差異を文字の形として認識します。

SCSI

ハードディスク、スキャナなどの機器の接続に使用されるインターフェースの規格です。最大7機までの機器の接続が可能です（デージーチェーン）。データ転送速度は Fast SCSI で最大 10M バイト / 秒、Wide SCSI では最大 20M バイト / 秒となっています。

SCSI ID

SCSI 機器の特定に使用される値です。イニシエータがターゲットを指定する場合、またターゲットがイニシエータに接続する場合に必要となります。

TÜV

セキュリティ、ユーザービリティ、環境問題関連の規格に対する製品の適合性を管理する機関です。

[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[読み取り条件の設定](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

USB

Universal Serial Bus の略称です。キーボード、スキャナなどの接続に使用されるインターフェースの規格です。最大 127 機までの機器の接続が可能です。また機器の電源を切断せずに、接続・取り外しが可能となっています。

USB 2.0 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで 12Mbps、ハイスピードモードで最大 480Mbps となっています。

USB 1.1 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで最大 12Mbps となっています。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

索引

A

A3 キャリアシート	202
A3 キャリアシートの清掃	121
ADF 給紙シュートの設定	28
ADF での原稿のセット	41
ADF で読み取りできる原稿	44
ADF の開け方	26
ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）	116
ADF の清掃（布による場合）	117
ADF の閉じ方	26

E

e- 文書法に適合した電子文書の作成	205
--------------------------	-----

I

ISIS ドライバ	59
-----------------	----

S

[Scan/Stop] ボタン	105
ScanAid	202
[Send to] ボタン	105
Software Operation Panel の起動	159
Software Operation Panel のパスワード設定	160

T

TWAIN ドライバ	55
------------------	----

あ

アンインストール手順	204
------------------	-----

い

いろいろな読み取り方	69
インプリンタ	202

お

オプション	202
-------------	-----

か

外形寸法	201
各部の名称と働き	18
画像読み取り用アプリケーションの紹介	38

き

基本仕様	196
------------	-----

く

黒色原稿押さえパッド	202
------------------	-----

け

原稿づまりが発生したときは	130
原稿のセット方法	40, 42
原稿のセット（ADF の場合）	41
原稿のセット（フラットベッドの場合）	43

こ

困ったときには	129, 136
混載条件	50

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

さ

サービスセンターに連絡する前に..... 155

し

修理・お問い合わせ..... 207
種類やサイズが異なる原稿の読み取り..... 71
省電力モード..... 33
消耗品..... 123
消耗品の交換..... 122
消耗品の交換周期..... 123

す

スキャナ外部の清掃..... 115
スキャナ集中管理機能の紹介..... 39
スキャナ内部の清掃..... 116
スキャナの動作設定..... 158
スキャナの特長..... 16
スキャナをお使いになる前に..... 15
スタッカーの設定..... 29

せ

清掃が必要な場所..... 113
清掃用品..... 113
清掃 (A3 キャリアシート)..... 121
清掃 (ADF (クリーニングペーパーによる場合))..... 116
清掃 (ADF (布による場合))..... 117
清掃 (スキャナ外部)..... 115
清掃 (スキャナ内部)..... 116
清掃 (フラットベッド)..... 120
設置諸元..... 199
設定できる項目..... 166

そ

操作パネルのエラー表示..... 131
操作パネルの操作方法..... 66
操作パネルをお使いになる前に..... 67
装置ラベル..... 157

た

待機時間に関する設定..... 192

て

手挿入..... 94
電源 SW 制御..... 194
電源投入 / 切断に関する設定..... 194
電源の切断..... 25
電源の投入..... 25

と

ドキュメントカバーの開け方..... 27
ドキュメントカバーの閉じ方..... 27
特長..... 16

に

日常のお手入れ..... 112

は

はじめに..... 3

ひ

ピックアップローラの交換..... 126

ふ

縁消し.....	177
フラットベッドでの原稿のセット.....	43
フラットベッドの清掃.....	120
ブレーキローラの交換.....	124

へ

ページカウンタに関する設定.....	172
--------------------	-----

ほ

本書の使い方.....	2
本書をお読みになる前に.....	5

ま

マルチフィード検出に関する設定.....	186
----------------------	-----

よ

読み取り方一覧.....	70
読み取り方の変更.....	85
読み取り後の動作や処理の設定.....	95
読み取り時のスキャナ動作の変更.....	105
読み取り条件の設定.....	54
読み取り操作の流れ.....	34
読み取りに関する設定.....	175

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z イメージスキャナ

オペレーターガイド

P3PC-3342-01Z0

発行日 2011年6月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。